

科目名 (英)	ミュージックセオリー I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	森山 陽介
	Music Theory I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜日 1 限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。							

授業計画・内容	
1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	<スコアラーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	<確認テスト> 確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組み
9回目	<メジャースケール> 5度圏、b系のメジャースケールの仕組み
10回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	<テンポ、強弱記号> 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	<スコアラーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	<期末テスト> 期末テスト
14回目	前期復習
15回目	後期内容の確認と予習
準備学習 時間外学 習	宿題はほぼありませんが、毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック	

科目名 (英)	イヤートレーニング I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	森山 陽介
	Ear Training I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜日 2 限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 音程 1 ～ 8 度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞き分け。四分音符から 1 6 分音符まで。							

授業計画・内容	
1回目	<音名> リズムは四分音符と四分休符、2 線紙を使って音の高低を判定。
2回目	<音符、休符> 5 線紙を使っての書きとり、八分音符が入ったリズム打ち、3 線紙を使って音の高低判定。
3回目	<拍子記号> リズム八分休符の書きとり、5 線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	<反復記号> リズム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	<スコアリーディング> リズム復習、1 6 分音符の導入、メロディー暗記問題、音程 1, 2, 3, 8 度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	<中間テスト>
7回目	<メジャースケール#系> リズム復習、1 6 分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は 1 ～ 5, 8 トライトーン
8回目	<メジャースケールb系> リズム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は 1 ～ 5, 8 トライトーン②
9回目	<記譜法、臨時記号> リズム 8 分と 1 6 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程 1 ～ 6 と 8 度
10回目	<テンポ、強弱記号> リズム 1 6 分と 8 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程 1 ～ 8 度
11回目	<スコアリーディング> リズム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
12回目	<予備テスト>
13回目	<期末テスト>
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	デジタルファンデーション I Digital Foundation I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	渡邊 綾香
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】 社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。 実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。							
【到達目標】 Macを自由に扱えるようになる。履修者全員がデジタルポートフォリオを所持できるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジェ曲線操作、デザイン中心) STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ (web) の運営ができるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション Keynote (自己紹介PPT) を使用して資料を作成しプレゼンする						
2回目	ワードエクセル基本操作理解。ワード (ビジネス文章) /エクセル(タイムテーブル)提出 優秀資料のプレゼン発表する						
3回目	PhotoshopとIllustratorの違いを文字入力で理解、基本操作 (ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡縮、新規作成、保存) 【Ai】図形						
4回目	【Ai】基本操作 選択、図形、パウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、スタイライズ、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化、ベジェ曲線、スウォッチ、模様、グラデーション						
5回目	【Ps】レタッチと保存方法。画像変形、写真補正、カラーモード、解像度、フォーマット						
6回目	【Ai】配置画像を用いたフライヤーデザイン、クリッピングマスク、目を引くデザインとは何か。(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案～レイアウトデザイン～ブラッシュアップ)						
7回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成。イベントのロゴマーク						
8回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成 (レイアウトデザイン～ブラッシュアップ) よいデザイン、正確なデータ作成とは何かを考えて仕上げる						
9回目	【Ps】【Ai】オリジナルのLINEスタンプ作成、Psでの描画表現、Aiのブラシツール、アートボード、保存形式を指定して書き出し						
10回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイト作成の基礎。SNSアイコン等に使用できるデータ作成。リサイズ、フォーマット、商用利用可能素材。						
11回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。TOP画像と初回授業で作成した自己紹介Keynoteの更新、素材を集める。						
12回目	【STUDIO】サイトの構成を考え、用意した素材を利用して作成し、完成させる。						
13回目	ポートフォリオサイトの提出 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学 習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品 (ポートフォリオ) を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】 Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅡ Digital Foundation II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	渡邊 綾香
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。 実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。							
【到達目標】 履修者全員が動画制作ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用・実写合成中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) Youtubeに動画投稿し、自身が制作した動画を他社に共有できるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	【Ae】AfterEffectsの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成、素材読み込み。最終課題説明。						
2回目	【Ae】キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。						
3回目	【Ae】トランジションの作成。 キーフレームアニメーションを用いてトランジション映像を作成し、発表をする。						
4回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。						
5回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。 エフェクトやテキストアニメーションプリセットを利用し、短いリリックビデオを作成、発表する。						
6回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、エフェクトの機能を学ぶ。						
7回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、動画を作成、発表する。						
8回目	【Ae】自動トラッキング機能について理解し、実写合成に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材と入力したテキストを合成する。						
9回目	【Pr】Premiereの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、色調補正、動画書き出し。Youtubeに動画を投稿しURLを共有する。						
10回目	最終課題選定。リリックビデオ・ダンスビデオ、実写合成から最終課題のジャンルを選択し、映像の構成を考える。 アイデア出し～絵コンテ制作について理解し、完成させる。						
11回目	個人制作						
12回目	個人制作						
13回目	個人制作と最終課題の提出(Youtubeに投稿しリンクを提出する) 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学 習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】 Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション Global Communication	必修 選択	選択	年次	1.2.3.4	担当教員	ILC
学科・コース	スーパーエリタートイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	240 (16)	開講区分	受講者のレベルにより異なる
						曜日・時限	受講者のレベルにより異なる
【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師1 実務者経験：2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師2 実務者経験：2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト（EVOLVE1.2.3）は受講者レベルにより異なる						
2回目	EVOLVE UNIT 02						
3回目	EVOLVE UNIT 03						
4回目	EVOLVE UNIT 04						
5回目	EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト						
6回目	EVOLVE UNIT 06						
7回目	中間試験						
8回目	EVOLVE UNIT 07						
9回目	EVOLVE UNIT 08						
10回目	EVOLVE UNIT 09						
11回目	EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト						
12回目	EVOLVE UNIT 11						
13回目	EVOLVE UNIT 12						
14回目	試験前対策						
15回目	期末試験						
準備学習 時間外学 習	事前に教科書を読んでおきましょう。						
評価方法	TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業内小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20%						
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE1.2.3 ※受講者のレベルにより異なる							

科目名 (英)	韓国語講座 I Korean	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>文字を読める書ける。 簡単な挨拶が出来る。 平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる</p>							

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字（1）平音
3回目	子音字（2）激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム（一文字パッチム、二文字パッチム）
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方、発音上手になるコツ、小テスト（単語の正しい表記、発音通りの表記）
7回目	自己紹介：私は日本人です（～は、～です、～と申します、～といいます）
8回目	趣味は何ですか？（～が、～は、～ですか）語彙 単語
9回目	韓国人ではありません（～でいらしゃいますか、～ではありません）
10回目	今、日本にいます（あります・います/ありません・いません）、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？（します、しています、～です、～ですか）
12回目	演劇を見ます（です、ますのかしこまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌）
13回目	何料理が好きですか（です、ますの打ち解けた丁寧語）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	テキストを見て学習した内容の復習をしましょう
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPももっと楽しめます 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。
【使用教科書・教材・参考書】	
楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 II Korean	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦 彩季
学科・コース	スーパーエインターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 値段を尋ねる {買い物}。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。							
いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。 電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文するなど簡単な会話ができる。							
授業計画・内容							
1回目	とても素敵でよかったです 用言の過去形 (～した、～かった、～だった) 形容詞の反対語						
2回目	この靴いくらですか? 漢数詞いち、に、さん,,,,, けれど～ですね						
3回目	夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ,,,,,						
4回目	運転できますか 可能、不可能の表現						
5回目	食事はされましたか 敬語 (現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった)						
6回目	旅行はどこへ行きますか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ						
7回目	映画を見たいです ～がしたい/～したがる						
8回目	写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止						
9回目	報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりません						
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので						
11回目	何をなさいますか ～します意志や推測の表現						
12回目	冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために						
13回目	<期末テスト>						
14回目	9月特別授業						
15回目	9月特別授業						
準備学習 時間外学 習	特にありません。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト 50% 						
受講生への メッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。 いたいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。 ぼ同じなので単語はたくさん覚えましょう。						これからは自分で言 日本語の語順とほ
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語							

科目名 (英)	韓国語講座Ⅲ Korean	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーエリタメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。							
(講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	お名前は何かとおっしゃいますか (インタビューする) 会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 ～でいらっしゃいますか/条件、仮定 ～たら /意図、計画 ～しよと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する
3回目	朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介) 会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 ～なので/ 以来、期間～してから/動作の順序～した後で、～する前に 1) メールを読む
5回目	魚は焼かないでください (決まりを言う) 会話 単語 表現
6回目	義務～しなければなりません 2) メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する
7回目	丁寧な命令、許可、禁止～ください/～でもいいですか/～してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました (約束をする) 会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形～な、～い/理由～で、～なので/決心～することになりました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する
10回目	道を渡って左にずっと行ってください (道案内をする) 会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段～で/動作の順序～してから 3) メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみてください… (感想を言う) 会話 単語 表現
13回目	動作、存在の現在連体形 ～している、～する～/試行、経験 ～してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 IV Korean	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーエリタメメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>最近のマイブームや経験したことを話すことができる。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「朝子さん的一天」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください(勧誘/アドバイス) /～させていただきますか(より丁寧な依頼)
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由)
5回目	～ですね(感嘆) /～そうです、～だろうと思います(推測)
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう)
7回目	～出来ない(不可能) /～時、するとき(時間、場合)
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方話す)
9回目	～する方です(傾向) /～しながら(同時、並行動作) /～するのが(事柄)
10回目	「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法)
11回目	～だそうです、～だったそうです(間接話法過去)
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す)
13回目	<期末テスト>
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応出来るようになります。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ちよこつとチャレンジ！韓国語</p>	

科目名 (英語表記)	キャリア教育 I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパー・エリタレント・音楽プロデューサー・パフォーマンスアート	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク：音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
10回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返り
13回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標を設定する
14回目	CSU検定試験対策
15回目	CSU検定試験

準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
10回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ②
13回目	卒業進級制作展 We are FSM
14回目	卒業進級制作展 We are FSM
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【セルフマネジメント（自己理解）】学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける 							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	グループワーク ① チームワーク力
9回目	グループワーク ② プレゼンテーション力
10回目	グループワーク ③ イノベーション力
11回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ①
12回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ②
13回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③
14回目	就職・デビュー対策講座① ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15回目	就職・デビュー対策講座② ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学 習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気付き」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. スピーチ能力を高める 2. 自分自身をしっかり表現できる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける 							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人面談（面接練習）
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人面談（面接練習）
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人面談（面接練習）
4回目	SNSについて学ぶ
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	スピーチ練習 スピーカーとは
9回目	スピーチ練習 表現力を高める
10回目	スピーチ練習 相手に伝えるには
11回目	自己プロフィールを書く 将来の夢
12回目	自己プロフィールを書く 一番得意な事
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授業計画・内容	
1回目	個人面談① 卒業後の目標を設定する
2回目	個人面談② 卒業後の目標を設定する
3回目	個人面談③ 卒業後の目標を設定する
4回目	プロフィールシート、履歴書の書き方① 書式の説明
5回目	プロフィールシート、履歴書の書き方② 記入
6回目	プロフィールシート、履歴書の書き方③ チェック～フィードバック
7回目	プロフィールシート、履歴書の書き方④ 修正～完成
8回目	面接練習①
9回目	面接練習②
10回目	面接練習③
11回目	面接練習 フィードバックと今後の対策
12回目	前期のまとめ
13回目	就職・デビュー対策講座③ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
14回目	就職・デビュー対策講座④ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15回目	就職・デビュー対策講座⑤ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OBOGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅵ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授業計画・内容	
1回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」① 第1章01-10
2回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」② 第1章11-20
3回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
4回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
5回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」①第3章40-47
6回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」②第3章48-58
7回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
8回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
9回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
10回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
11回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」①第6章96-102
12回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」②第6章103-109
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
1.進路先の決定							

授業計画・内容	
1回目	プロフィールシート、履歴書のチェック～フィードバック
2回目	プロフィールシート、履歴書のチェック～フィードバック
3回目	個人面談 進路活動状況の確認
4回目	個人面談 進路活動状況の確認
5回目	企業説明会
6回目	企業説明会
7回目	企業説明会
8回目	企業説明会
9回目	個人面談 進路活動状況の確認とフィードバック
10回目	個人面談 進路活動状況の確認とフィードバック
11回目	実務研修
12回目	実務研修
13回目	実務研修
14回目	実務研修
15回目	実務研修
準備学習 時間外学習	魅力あるプロフィール・履歴書作成の為、自身のステージ出演・作品制作・関心事をメモやポートフォリオにまとめておく
評価方法	1.【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2.【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<p>1.進路先の決定 2.社会人の基礎力の再確認と理解</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	実務研修
2回目	実務研修
3回目	実務研修
4回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
5回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
6回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」の再考
7回目	マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
8回目	社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
9回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
10回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
11回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
12回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
13回目	卒業進級制作展 We are FSM
14回目	卒業進級制作展 We are FSM
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	魅力あるプロフィール・履歴書作成の為、自身のステージ出演・作品制作・関心事をメモやポートフォリオにまとめておく
評価方法	<p>1.【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%)</p> <p>2.【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 I Basic Instrumental Technique	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	田中 華愛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ヒット曲にも多い基本のコード進行を使い、アレンジリズムパターンのレパートリーも増やしていきます。 Logicを使いながら、作曲やアレンジに必要なコードの基礎やピアノの役割をしっかりと学びます。 この1年間で作曲、アレンジに必要な引き出しを増やします。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。							
【到達目標】 曲やメロディーをより引き立てるヴォイスングを使うことが出来る 基本のコード進行の中でも更にオリジナリティーのコードアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 サンプリングフレーズを作ることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックスケールと3和音のダイアトニックコードを習得できる。メジャーコードとマイナーコードを理解できる。
2回目	key=Cの3コードを転回形で演奏できる。音符の長さや拍子を理解しリズム伴奏できる。
3回目	3コードを使って楽曲に伴奏スタイルを打ち込むことができる。また楽譜を読み書きすることができる。
4回目	【3コード+1】の進行で流行りの曲を演奏できる。4156進行key=C
5回目	【3コード+1】4156進行を使い、key=Fとkey=Gで伴奏を作ることができる。
6回目	【3コード+1】1564進行と162(4)5進行をkey=B♭とkey=Dで転回形を取り入れて8ビートで伴奏できる。
7回目	【3コード+1】※課題→6451進行を使い決められたサイズの楽曲を作ることができる。及び提出。
8回目	【6254進行】あらゆるヒット曲に多用される6254進行を理解し、key=E♭の第一転回形スタートで8ビートの両手伴奏ができる。
9回目	【6254進行】6254進行をkey=Aの第二転回形スタートで16ビートのバックアップができる。
10回目	【6254進行】6254進行をkey=Eの3連符のハネのリズムで伴奏し、課題曲に合ったヴォイスングを作ることができる。
11回目	4和音のダイアトニックコードで7thコードを習得することができる。
12回目	【4321進行】4和音のヴォイスングの作り方と両手でのハーモニーを習得することができる
13回目	テスト→筆記&実技
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	ヒットランキング上位に入った楽曲のコードを使いながら学んでいきます。 また、好きなジャンルだけでなく、ジャンルは問わず幅広く音楽を聴いてください。 学んだことは自分で使うこと！
評価方法	筆記と実技とアレンジ音源提出
受講生への メッセージ	ピアノの授業は1年間しかありません。作曲をする上で鍵盤は必須となりますので、頑張って1年間続けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logicが入ったPCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	田中 華愛
	Basic Instrumental Technique	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 後期は引き続きヒット曲の参考曲を使用し、ピアノ以外の音色も取り入れながら、さらに自分らしいアレンジができるような伴奏スタイルとハーモニーアレンジを身につけます。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。							
【到達目標】 曲やメロディーをより引き立てる伴奏パターンやアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 ピアノ以外の鍵盤の音色やその楽器に合ったフレーズを作ることが出来る。 テンションノートも取り入れることができる。							

授業計画・内容	
1回目	【456進行】add、sus、dimなどを理解できる。また指定曲にaddやsusを使いシンクォーションで演奏することができる
2回目	【456進行】オルガンの音色で音を繋ぐ奏法や、グリスなどの様々な奏法を習得できる
3回目	【カノンコード】key-Cでカノンコードを習得することができる
4回目	【カノンコード】分数コードを理解できる。トニックベダルやクリシェを理解し演奏することができる
5回目	【カノンコード課題】stringsで伸ばした音やピッチカートのフレーズを作ることが出来る→課題提出
6回目	ペンタトニックやマイナーペンタトニックスケールを使いシンセでリフを作ることが出来る
7回目	【Just the two of us進行】key=Cで基本的な進行とヴォイシングを身に付けることができる
8回目	【Just the two of us進行】key=E♭で課題曲に合ったヴォイシングとバックアップができる
9回目	【Just the two of us進行】同じ曲サイズで違うアレンジを作ることが出来る
10回目	独立した旋律でカルテットのハーモニーを作ることが出来る
11回目	テストと楽曲提出
12回目	授業振り返り
13回目	卒業進級制作準備
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	音楽の聴き方が変わって来たと思います。 後期はピアノ以外の音色も取り入れて、その楽器に合う伴奏パターンやハーモニーのアレンジなども扱っていきますので、普段から音楽を聴く際に耳を鍛えておいて下さい。
評価方法	アレンジ音源提出
受講生への メッセージ	いよいよ後期になりました。他人と比べる前にしっかり【自分】を活かして、自分にしかできない楽曲を世界に届けていけるよう、後期も学ぶことの楽しさを忘れずに！！ 曲を作るのは0から物を作る事。いつでも多様な材料を出せるように引き出しを沢山準備しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	DTM I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	向野 友規
	DTM I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科					曜日・時限	月1限

【授業の学習内容】

楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。

<実務者経験>

「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。

【到達目標】

- 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。
- 編集ウィンドウを理解出来るようになる
- コピー & ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる
- オーディオインターフェイスを使用、レコーディングができるようになる
- MIDIでのレコーディングができるようになる

授業計画・内容

1回目	■プロジェクトの立ち上げ、保存 ■ バウンス
2回目	■ MIDIとオーディオについて ■ オーディオインターフェース、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (1/2)
4回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (2/2)
5回目	■ データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■ バラアウト
6回目	■ Logicの詳細なウィンドウなど ■ コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■ トラックスタック
7回目	■ キーコマンドの変更方法 ■ ソロツール、ミュートツールなど
8回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方
9回目	■ エフェクト初級① イコライザー
10回目	■ エフェクト初級② リバーブ、ディレイ
11回目	■ エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる (1/2) ■ 基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	■ サンプリング (Sampler & Quick Sampler) や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	■ サイドチェーン (サイドチェーンコンプ、ボコーダー) を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んでください。また、DAW = 楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度 (主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook.Logic Pro X

科目名 (英)	DTM II	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	向野 友規
	DTM II	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月1限

【授業の学習内容】

楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。

<実務者経験>

「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。

【到達目標】

- 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。
- 編集ウィンドウを理解出来るようになる
- コピー & ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる
- オーディオインターフェイスを使用、レコーディングができるようになる
- MIDIでのレコーディングができるようになる

授業計画・内容

1回目	■プロジェクトの立ち上げ、保存 ■ バウンス
2回目	■ MIDIとオーディオについて ■ オーディオインターフェース、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (1/2)
4回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (2/2)
5回目	■ データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■ バラアウト
6回目	■ Logicの詳細なウィンドウなど ■ コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■ トラックスタック
7回目	■ キーコマンドの変更方法 ■ ソロツール、ミュートツールなど
8回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方
9回目	■ エフェクト初級① イコライザー
10回目	■ エフェクト初級② リバース、ディレイ
11回目	■ エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる (1/2) ■ 基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	■ サンプリング (Sampler & Quick Sampler) や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	■ サイドチェーン (サイドチェーンコンプ、ボコーダー) を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んできて下さい。また、DAW = 楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度 (主に欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook.Logic Pro X

科目名 (英)	DTMⅢ	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	向野 友規
	DTMⅢ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用し、トレンド感のある音色作りの手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 ■リリースカットピアノの音色を作れるようになる ■ボーカルチョップを作れるようになる ■トレンド感のある音色作りの手法の習得							

授業計画・内容	
1回目	■シラバス及び到達目標の確認
2回目	■ボリュームフェーダー、パンのみを使用したミキシング①
3回目	■ボリュームフェーダー、パンのみを使用したミキシング②
4回目	■リリースカットピアノを使用したトラック制作①
5回目	■リリースカットピアノを使用したトラック制作②
6回目	■ボーカルチョップの作り方①
7回目	■ボーカルチョップの作り方②
8回目	■レイヤー、音の高さ①
9回目	■レイヤー、音の高さ②
10回目	■サンプルを使ったフィルインや展開の制作①
11回目	■サンプルを使ったフィルインや展開の制作②
12回目	■作曲スピードを高めるための効率の上げ方
13回目	■MIDIエフェクトを用いたトラック制作
14回目	■独自性のある音色の制作（グラニュラーシンセシス）
15回目	■総括
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	DTMIV	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	向野 友規
	DTMIV	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。</p> <p><実務者経験></p> <p>「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>■近年よく使われているダンスミュージックのジャンルを理解し、作れるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	■シラバス及び到達目標の確認
2回目	■Houseのトラックを制作
3回目	■Houseのトラックを制作
4回目	■Hiphop / Trapのトラックを制作
5回目	■Hiphop / Trapのトラックを制作
6回目	■Future Bassのトラックを制作
7回目	■Future Bassのトラックを制作
8回目	■Drum'n'Bassのトラックを制作
9回目	■Drum'n'Bassのトラックを制作
10回目	■Garageのトラックを制作
11回目	■Garageのトラックを制作
12回目	■Lo-Fi Hip Hopのトラックを制作
13回目	■Lo-Fi Hip Hopのトラックを制作
14回目	■Ambientのトラックを制作
15回目	■総括
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	2年生は初めての後輩を引っ張る立場として各々のスキルを磨いていきましょう。またダンスミュージックの知識を身につけたらいいなと思っています。

科目名 (英)	メロディーメイキング I Melody Making I	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	小山 哲平
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日 3限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。各ジャンルでの違いや、コードやスケールとの兼ね合いも合わせて学習します。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
コードやスケールとの兼ね合いを理解し、ディスコードなくメロディが作れる。又、そのジャンルにおけるメロディの特徴を作品に組み込むことができる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、音楽の三大要素を理解し、作ったメロディをボイスメモを使って残すことができる。
2回目	調とメロディの役割を理解し、調にあったメロディを作れるようになる
3回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(メジャーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
4回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(マイナーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
5回目	コードとメロディの関係を理解し、コードに沿ったメロディが作れるようになる(メジャー・マイナー) ※コードプレイヤーを使用
6回目	一曲を通しての構成を理解し、聴き取ることができるようになる。
7回目	一曲を通しての構成を理解し、メロディが作れるようになる ※シンセサイザーVを使用
8回目	歌物とinst物の違いを理解し、音域通りのメロディが作れるようになる(歌物)
9回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する①
10回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する②
11回目	分析をふまえ、耳に残るメロディの動きと構成を考える
12回目	作詞について 実技テスト
13回目	テストを終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	メロディは作曲をするにあたって最も大切な要素と言っても過言ではありません。耳に残るメロディを目指し、作れるように学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅡ Melody Making II	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	小山 哲平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日 3限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。後期では各楽器についての知識を得て、より高度で演奏する楽器や声に沿ったメロディを作れるように学習します。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
各楽器や声の音域や可能な動きに沿ったメロディを作れるようになる。又、裏メロディを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、楽器知識①(その他) 移調楽器、奏法など
2回目	楽器知識②(弦楽器)
3回目	楽器知識③(木管)
4回目	楽器知識④(打楽器)
5回目	楽器知識⑤(金管)
6回目	楽器知識⑥(スコア読解) ※打ち込み
7回目	楽器知識⑦(まとめテスト)
8回目	裏メロディの作り方①(あかとんぼ)
9回目	裏メロディの作り方②(ふるさと)
10回目	メロディ・コードの聴き取り、調の性格について 実技テスト
11回目	BGM制作について①(ゲーム音楽の試聴会)
12回目	BGM制作について②(楽器の特性を生かしたメロディ作り) プレストイミング アーティキレーションについて
13回目	卒業進級制作準備
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外学 習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	様々な楽器について知り、触れることはかけがえのない経験と知識となります。積極的に取り組んでください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅢ	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	小山 哲平
	Melody MakingⅢ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】							
<p>自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事に必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。譜面についての基本的な知識の確認。
2回目	POP'sの楽曲の進行を聴き取り、曲の尺通りに進行譜を書けるようになる。
3回目	POP'sの楽曲のコードを聴き取り、コード譜を書けるようになる。
4回目	コード譜にリズムの指示を書き込めるようになる。※提出課題
5回目	POP'sの楽曲を音符や休符を使ったメロディ譜で写譜できるようになる。
6回目	自分で制作したメロディを譜面に書くことができる。
7回目	奏法記号や曲想記号の意味を理解し、譜面に書けるようになる。又、前講義で自身が制作したメロディをDAW上で同じように表現できるようになる。
8回目	ドラム譜の基礎を理解し、写譜できるようになる。
9回目	8ビート・16ビートのリズムを聴き取り、ドラム譜を書けるようになる。
10回目	自分で制作したメロディに8ビートもしくは16ビートのドラムを入れてDAW上で表現できるようになる。
11回目	前講義で制作した曲をメロディ譜、コード譜(進行譜)、ドラム譜を書けるようになる。
12回目	まとめ試験。当日指定するメロディ譜を制限時間内に写譜する。又、クライアントとのやりとりを想定したやり方で納品(提出)できるようになる。※実習課題
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に行う作品の完成度 ■ 受講態度 (主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングIV	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	小山 哲平
	Melody Making IV	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】							
<p>自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事に必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。弦楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
2回目	自分で弦楽器パートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
3回目	前講義でDAW上で作った弦楽器のパートを譜面におこすことができるようになる。
4回目	ピアノの譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
5回目	自分でピアノパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
6回目	前講義でDAW上で作ったピアノのパートを譜面におこすことができるようになる。
7回目	金管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
8回目	自分でブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
9回目	前講義でDAW上で作ったブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
10回目	木管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
11回目	自分でウインドブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
12回目	前講義でDAW上で作ったウインドブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
13回目	卒業進級制作準備
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に行う作品の完成度 ■ 受講態度（主に出席・遅刻など）
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングV	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	小山 哲平
	Melody Making V	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	水曜日4限
【授業の学習内容】							
<p>作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。通年通して当講義で扱っていくメロディを制作する。
2回目	①-1 アレンジの方向性(BPM含む)を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
3回目	①-2 右手と左手の役割を理解し、ピアノパートを制作できるようになる。(DAW打ち込み)
4回目	①-3 メロディとピアノを合わせ、その動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。
5回目	①-4 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
6回目	②-1 パートをまたいでメロディの移り変わりや、弦楽器4本での音の重ね方を理解し、適切なコードの選択とアレンジの方向性を決めることができる。
7回目	②-2 コード(進行)譜を制作する。又、パート間をまたいでメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
8回目	②-3 パート間をまたいでベースラインの移動を行うことができるようになる。弦楽アンサンブルにおける転回形を理解できるようになる。(全伸ばしの音)
9回目	②-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。(全伸ばしの音)
10回目	②-5 弦楽器4本のみで成立するアレンジになるようにメロディ以外のパートを動かせるようになる。又、奏法の選択も行う。
11回目	②-6 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを進めることができるようになる。
12回目	②-7 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。又、オートメーションの処理も行う。
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングVI Melody MakingVI	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	小山 哲平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日4限
【授業の学習内容】							
<p>作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。③-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
2回目	③-2 管楽器4本での音の重ね方を理解し、パート間をまたいでのメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
3回目	③-3 パート間をまたいでのベースラインの移動を行うことができるようになる。プラスアンサンブルにおいての転回形を理解できるようになる。
4回目	③-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。又、奏法を選択でき、オートメーションの処理も行う。
5回目	③-5 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを完成させることができる。
6回目	④-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
7回目	④-2 決定したアレンジの方向性に沿ったリズムパターンを選択できるようになる。メロディ・コード・ドラムを打ち込む。
8回目	④-3 ピアノ又はギター、ベースを動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。又パートを打ち込むもしくは録音する。
9回目	④-4 前講義までのアレンジに加えて弦楽器4本を打ち込めるようになる。
10回目	④-5 前講義までのアレンジに加えて必要となる管楽器を選択し、打ち込めるようになる。
11回目	④-6 前講義までのアレンジに加えて必要となるシンセサイザーやパーカッションを選択し、打ち込めるようになる。
12回目	④-7 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
13回目	卒業進級制作準備
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	Pro Tools I . II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	金子 秀樹
	Pro Tools I . II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> 世界屈指のライブハウス「ブルーノート」にて音響のチーフエンジニアとして活躍。またコンポーザー、ドラマーでもあり、「天晴ニッポン」は全国のよさこいイベントで使用される。							
【到達目標】 自作楽曲の音源制作やインターネットを活用したプロモーションツールの作成を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	実習室のシステム、取り扱い等の説明。DTM、ProToolsについての説明
2回目	ProTools基本操作① 立ち上げ方から周辺機器、基本操作の説明。音素材を使用してバランスのみの調整
3回目	ProTools基本操作② 音素材を使用してバランスのみの調整～バウンスで2mix作成
4回目	ProTools基本操作③ トラック作成（オーディオ、インスト、クリップトラック等）、In/Outの設定
5回目	プラグイン①-① インサートによるEQの使用手法と説明
6回目	プラグイン①-② EQ（ドラム周りの音作りの基本）
7回目	プラグイン①-③ EQ（ベース・ギター周りの音作りの基本）
8回目	プラグイン①-④ EQ（キーボード・声周りの音作りの基本）
9回目	プラグイン② インサートによるコンプレッサー・ゲートの使用手法と説明（ドラム、ベース、声の素材で音作り）
10回目	プラグイン③-① Send/Returnによるリバーブ（Returnチャンネルの作成とリバーブの種類と特徴）
11回目	プラグイン③-② Send/Returnによるディレイ（ディレイの種類と特徴）、リバーブとディレイを使用して音作り
12回目	プラグイン④-① Instトラックへの音源ソフトのアサイン。リアルタイム録音と打ち込みの説明
13回目	プラグイン④-② Instトラックで打ち込み曲を作成し、バウンスによる2mixを作成
14回目	期末テスト
15回目	イベント実習
準備学習 時間外 学習	いろいろな音楽を聴き、いろいろな芸術作品を鑑賞することで、オリジナル作品の幅が広がります。
評価方法	実技テスト 課題提出
受講生への メッセージ	現代の作品発表の場は様々です。いろいろな媒体に対応出来る人になりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ProTools.各種プラグイン	

科目名 (英)	ProToolsⅢ.Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	ProToolsⅢ.Ⅳ スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜3限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> イナズマ戦隊、ばってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 録音やミックスダウンなどのスタジオワークや、MAがある程度できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次の復習
2回目	Wavesプラグインについて。 <目標>Waves Goldに入っているプラグインの使用方法を理解する。
3回目	Mixdown。その1 <目標>ProToolsの使い方を思い出し、ミックスしよう。(ポップス)
4回目	Mixdown。その2 <目標>ProToolsの使い方を思い出し、ミックスしよう。周りの友達の作品と比べてみて発表しよう。(ポップス)
5回目	ケーブル作成。半田ごて。 <目標>ケーブルを作れるようになるう。
6回目	立体音響。 <目標>VRやバイノーラル・サラウンドなど立体音響について理解を深めよう。
7回目	MA、音響効果について。その1、収録 <目標>映像に合うように自分自身でアテレコを行い、作品を作ろう。
8回目	MA、音響効果について。その2、音響効果 <目標>映像に合う効果音やBGMを選曲しよう。
9回目	MA、音響効果について。その3、ラウドネス <目標>テレビでO.A出来る音についてしっかり理解しミックスしよう。
10回目	様々なインターフェース接続方法について <目標>スタジオ以外での多チャンネル録音やマニピュレーターシステムを組めるようになるう。
11回目	総復習
12回目	We are FSM 卒業進級制作
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席日数。授業態度。作品の完成度。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ProTools V . VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	金子 秀樹
	ProTools V . VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> 世界屈指のライブハウス「ブルーノート」にて音響のチーフエンジニアとして活躍。またコンポーザー、ドラマーでもあり、「天晴ニッポン」は全国のよさこいイベントで使用される。							
【到達目標】 自作楽曲の音源制作やインターネットを活用したプロモーションツールの作成を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	オーディオトラックの録音① マイクを使用して録音（マイクの種類や特徴、リージョンの編集）
2回目	オーディオトラックの録音② プラグインのアンプシミュレーターの使用方法和録音。 ※翌週の為の楽曲選定を宿題として告知
3回目	音源作成① 先週の宿題で選定した楽曲のベースとなる部分を打ち込みで作成
4回目	音源作成② 打ち込み、オーディオトラックの録音、修正等
5回目	音源作成③ 打ち込み、オーディオトラックの録音、修正等
6回目	音源作成④ EQ、エフェクト処理を含むトータルミックス、2mixまで作成
7回目	音源作成⑤ 先週作成した2mixをマスタリングして書き出し作業
8回目	インターネットを使用したプロモーションツールの作成方法
9回目	演習課題制作① ※ 4週で完成出来るようスケジュールも考慮する。作成する曲数は複数でも可
10回目	演習課題制作②
11回目	演習課題制作③
12回目	期末試験 演習課題制作④
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	いろいろな音楽を聴き、いろいろな芸術作品を鑑賞することで作品の幅が広がります。
評価方法	実技テスト 課題提出
受講生への メッセージ	現代の作品発表の場は様々です。いろいろな媒体に対応出来る人になりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ProTools.各種プラグイン	

科目名 (英)	レコーディングセオリー I Recording Theory I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。							
＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】 レコーディングスタジオで使用される機材（SSLコンソール、マイクロフォン、アウトボード類）に慣れ、使用出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	スタジオワークについて
2回目	コンソールの知識①
3回目	コンソールの知識②
4回目	マイク知識①
5回目	マイク知識②
6回目	ステレオマイキング
7回目	エフェクター（EQ）
8回目	エフェクター（Comp）
9回目	エフェクター（Gate）
10回目	エフェクター（リバーブ）
11回目	エフェクター（ディレイ）
12回目	エフェクター（モジュレーション）
13回目	エフェクター（モジュレーション）
14回目	9月特別講義
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識。
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディングを行うための基礎知識から学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーⅡ Recording TheoryⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限
【授業の学習内容】 あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。							
＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】 レコーディングスタジオで使用される機材（SSLコンソール、マイクロフォン、アウトボード類）に慣れ、使用出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	Protools基本① Protoolsとコンソール等のつながり
2回目	Protools基本② レコーディング1
3回目	Protools基本③ レコーディング2
4回目	Protools基本④ エディット1
5回目	Protools基本⑤ エディット2
6回目	Protools基本⑥ Plug-In Effect1
7回目	Protools基本⑦ Plug-In Effect2
8回目	Protools基本⑧ ミックス1
9回目	Protools基本⑨ ミックス2
10回目	素材を使つてのミックス①
11回目	素材を使つてのミックス②
12回目	年間まとめ 実技テスト
13回目	総復習
14回目	卒業進級制作展準備
15回目	卒業進級制作展本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools 知識。
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディングを行うための基礎知識から学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーⅢ Recording TheoryⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇 正太郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 レコーディング技術を学ぶとともに、音や楽器に関する様々な知識を知り、より良い音を再現できる技術を学びます。							
<講師プロフィール> イナズマ戦隊、ぼってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 様々な音響機器の使用方法を理解した上で、ミュージシャン自身で楽曲を録音・編集出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	レコーディングスタジオの使用方法について その1 (電源の入れ方やミキサーの使い方など)
2回目	レコーディングスタジオの使用方法について その2 (実際にマイクを立てて録音)
3回目	レコーディングスタジオの使用方法について その3 (録音した音源の編集)
4回目	楽器のレコーディング その1 (ドラム)
5回目	楽器のレコーディング その2 (キーボード、ベース)
6回目	楽器のレコーディング その3 (ボーカル、ギター)
7回目	楽器のレコーディング その4 (その他)
8回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
9回目	半田ごてを使用したケーブル作り
10回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
11回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
12回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
13回目	実技テスト
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング知識を学び、多方面で活躍できるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーⅣ Recording TheoryⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇 正太郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜 1限
【授業の学習内容】 レコーディング技術を学ぶとともに、音や楽器に関する様々な知識を知り、より良い音を再現できる技術を学びます。							
<講師プロフィール> イナズマ戦隊、ばってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 様々な音響機器の使用方法を理解した上で、ミュージシャン自身で楽曲を録音・編集出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
2回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
3回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その3
4回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
5回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
6回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
7回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その3
8回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
9回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
10回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
11回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
12回目	実技テスト
13回目	総復習
14回目	卒業進級制作展準備
15回目	卒業進級制作展本番
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング知識を学び、多方面で活躍できるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	濱本 真澄
	Recording Theory V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】							
VocalRecordingにおけるマイキング・エフェクト等の基本を学ぶ。それを元に自分のピッチ・リズムのコントロールをより精密にしていく。またその作業の中でエンジニアとのコミュニケーション能力を身につけていく。							
<講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】							
自分の声質を理解し、楽曲に合わせた機材選択が出来る様にする。またその為のエンジニア等とのコミュニケーション能力を身につける。エンジニアはどの様に機材セッティング・コミュニケーションすることでVocalistの歌いやすい環境を作り出せるかを追求する。							

授業計画・内容	
1回目	授業説明
2回目	マイクによる声の音質の違い① ダイナミック・コンデンサーマイク
3回目	マイクによる声の音質の違い② 色々なダイナミックマイク
4回目	マイクによる声の音質の違い③ 色々なコンデンサーマイク
5回目	マイクによる声の音質の違い④ 自分の声質・楽曲にあったマイク選び
6回目	VocalRecordingにおけるエフェクター① イコライザー
7回目	VocalRecordingにおけるエフェクター② コンプレッサー
8回目	VocalRecordingにおけるエフェクター③ 空間系
9回目	VocalRecordingにおけるエフェクター④ Tune系
10回目	Tuneトレーニング① Autotuneで自分の実際のピッチの確認
11回目	Tuneトレーニング② 確認を元に修正
12回目	Rhythmトレーニング① Protoolsの波形を元にタイミングの確認
13回目	Rhythmトレーニング② 確認を元に修正 実技テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング機材の応用を学び、様々な音楽ジャンルに対応しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーVI Recording TheoryVI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】							
VocalRecordingにおけるマイキング・エフェクト等の基本を学ぶ。それを元に自分のピッチ・リズムのコントロールをより精密にしていく。またその作業の中でエンジニアとのコミュニケーション能力を身につけていく。							
<講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】							
自分の声質を理解し、楽曲に合わせた機材選択が出来る様にする。またその為のエンジニア等とのコミュニケーション能力を身につける。エンジニアはどの様に機材セッティング・コミュニケーションすることでVocalistの歌いやすい環境を作り出せるかを追求する。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲レコーディング①
2回目	課題曲ミックス①
3回目	課題曲レコーディング②
4回目	課題曲ミックス②
5回目	課題曲レコーディング③
6回目	課題曲ミックス③
7回目	課題曲レコーディング④
8回目	課題曲ミックス④
9回目	課題曲レコーディング⑤
10回目	課題曲ミックス⑤
11回目	年間まとめ①
12回目	年間まとめ② 実技テスト
13回目	総復習
14回目	卒業進級制作展準備
15回目	卒業進級制作展本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング機材の応用を学び、様々な音楽ジャンルに対応しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職対策 I	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	由木千尋
	Preparatuon For Career	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	商業音楽科・音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身に着ける内容となる。 <講師プロフィール> 大手人材企業で企業研修講師として6年間従事。独立後、大学・短大・専門学校で就職対策講座、実践講座を23年間勤める。また、中学・高校でキャリア形成教育を担当。企業においては新人教育、入社3年目までの社員に対するキャリアコンサルティングを行っている。							
【到達目標】 1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	あなたが知らない就活の世界
3回目	先輩の就活
4回目	ビジョン型か価値観型か
5回目	グループ学習の基本
6回目	就職活動において必要な事
7回目	グループディスカッション
8回目	自己理解 I 「強み」
9回目	自己理解 II 価値観
10回目	検索エンジンの使い方
11回目	履歴書とEs I
12回目	履歴書とEs II
13回目	履歴書とEs III
14回目	企業研究
15回目	インターンシップに参加しよう
準備学習 時間外学習	準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●取組姿勢：20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価：60点（課題提出状況） ●習熟度：20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合否：60点以上で合格
受講生への メッセージ	就職活動はゴールではない。一生涯使うことのできるスキルをともに発見しましょう。そして、社会に出て豊かに生きるために何が必要かを一緒に考えましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。	

科目名 (英)	就職対策Ⅱ	選択 必修	選択 必修	年次	2年次	担当教員	由木千尋
	Preparatuon For Career	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	商業音楽科・音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金曜1限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>就活の現場での面接の在り方は近年「用意されてきた答え」である志望動機・自己PRから雑談力、対応力を図る面接に移行しつつある事を踏まえ、素の自分を生き活きと語る会話方をグループ学習で学んで行くことを重視。ビジネススキルとして最低限必要な要素を学び、就活が社会人としての一歩となるようマナーを身に付けていく。</p> <p><講師プロフィール> 大手人材企業で企業研修講師として6年間従事。独立後、大学・短大・専門学校で就職対策講座、実践講座を23年間勤める。また、中学・高校でキャリア形成教育を担当。企業においては新人教育、入社3年目までの社員に対するキャリアコンサルティングを行っている。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>就活における面接対策を念頭に、コミュニケーションスキルの底上げを図るとともに、応対マナー・経営法務、知的財産等の基礎を学び就活に役立てるだけでなく、社会人としての社会的スキルを身に付けることを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	面接官は何を重視しているのか
3回目	オンライン面接
4回目	面接演習の基礎
5回目	面接演習Ⅰ
6回目	面接演習Ⅱ
7回目	面接演習Ⅲ
8回目	心理的安全性と成果
9回目	ビジネススキルⅠ
10回目	ビジネススキルⅡ
11回目	ビジネススキルⅢ
12回目	ビジネスマナー敬語と応対
13回目	ビジネスマナーⅡ
14回目	ビジネスマナーⅢ
15回目	学期末テスト
準備学習 時間外学習	準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。
評価方法	●取組姿勢：20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価：60点（課題提出状況） ●習熟度：20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合否：60点以上で合格
受講生への メッセージ	就職活動は社会人としての初めの一歩。就活を通じて社会人として大人の仲間入りをしよう。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。	

科目名 (英)	キャリアスキルアップ Career Skill Enhancement	必修 選択	選択 必修	年次	1.2.3.4	担当教員	西本 祐介
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	不定期で開講
【授業の学習内容】 作品制作課題・イベント実習を通じてデビュー・就職におけるプレゼンテーション資料制作を行える技術・知識を習得します。							
<実務者経験> 20年以上にわたり、アーティスト・ディレクター・インストラクターとして様々な音楽・映像・イベント・コンテンツの制作・ステージ出演・マネジメント業務を行う。							
【到達目標】 1.Microsoft Teamsを使った資料の提出方法を身に付ける 2.Googleサービスの活用方法を学ぶ 3.Keynote/PowerPointなどのプレゼンテーションアプリケーションの操作方法を学ぶ 4.動画・画像データの取り扱い方法を学ぶ							

授業計画・内容	
1回目	各自の課題設定と制作物についてまとめる・Teamsの使用方法和アカウントセッティング
2回目	Teamsを使ったデータのやり取りについて、Googleアカウントの設定とプレゼンテーションアプリの基本操作
3回目	Googleドライブの活用方法とその他のクラウドサービスについて、画像データを挿入したプレゼンテーション資料について
4回目	画像素材の集め方、Webサービス・フリー素材について
5回目	フォントの追加方法とデザインについて・AIを使ったデザイン（Webサイト紹介）
6回目	プレゼンテーション資料の制作（画像挿入と簡単な加工方法・トリミングについて）
7回目	プレゼンテーション資料の制作（ファイルの書き出し方法）
8回目	画像ファイルを加工できるWebサービスの紹介と実践
9回目	動画ファイルを含むプレゼンテーション資料制作①
10回目	動画ファイルを含むプレゼンテーション資料制作②
11回目	音声データの取り扱いとクラウドストレージサービスの紹介
12回目	資料のブラッシュアップ（追加記載などの確認）
13回目	資料提出
14回目	プレゼンテーション実践
15回目	プレゼンテーションのフィードバック
準備学習 時間外学習	自身が制作したもの（音声・動画）をまとめておく、参加したイベントをExcelなどで参加日含めまとめておく
評価方法	課題（課題提出、提出期限の厳守）
受講生への メッセージ	資料制作は自分自身のパンフレットを作るつもりで制作しましょう。 自分の長所・魅力を文字化できることが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook・Microsoft Teams・Googleサービス（ドライブ・スプレッドシートetc）	

科目名 (英)	PAベーシック I Public Adress Basic I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	西岡幹浩
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜1.2.3限
【授業の学習内容】 PA全般についての知識・技術を学び、業界で使用されている機材の名称や使い方を覚える。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：株式会社総合舞台入社後、南こうせつ、ゴダイゴの全国ツアーを始め、様々なライブ、コンサート、イベントに携わる。 また、Zepp Fukuokaの音響管理業務なども手掛ける。現在は株式会社エスエルアイに所属する福岡を代表するPAエンジニア。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	イベントホール、機材管理室の使用方法など
2回目	PAの仕事、作業、役割などについて
3回目	音の流れと接続方法
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	マイク、スタンド、ケーブル等の使い方②
6回目	スピーカー、アンプ等の使い方①
7回目	スピーカー、アンプ等の使い方②
8回目	ワイヤレスマイクについて
9回目	アナログミキサー、周辺機器の使用方法①
10回目	アナログミキサー、周辺機器の使用方法②
11回目	アナログミキサー、周辺機器の使用方法③
12回目	アナログミキサー、周辺機器の使用方法④
13回目	アナログミキサー、周辺機器の使用方法⑤
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	PAエンジニアになるための基礎知識を養います。しっかり学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA入門(iPad教科書)	

科目名 (英)	PAベーシック II Public Address Basic II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	西岡幹浩
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜1・2・3限
【授業の学習内容】 PA全般についての知識・技術を学び、業界で使用されている機材の名称や使い方を覚える。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：株式会社総合舞台入社後、南こうせつ、ゴダイゴの全国ツアーを始め、様々なライブ、コンサート、イベントに携わる。 また、Zepp Fukuokaの音響管理業務なども手掛ける。現在は株式会社エスエルアイに所属する福岡を代表するPAエンジニア。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習①
2回目	前期の復習②
3回目	デジタルミキサー、周辺機器の使用方法①
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	デジタルミキサー、周辺機器の使用方法③
6回目	デジタルミキサー、周辺機器の使用方法④
7回目	デジタルミキサー、周辺機器の使用方法⑤
8回目	サウンドメイキング①
9回目	サウンドメイキング②
10回目	サウンドメイキング③
11回目	オペレーション実習①
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	PAエンジニアになるための基礎知識を養います。しっかり学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA入門(iPad教科書)	

科目名 (英)	音響学 I Sound Science I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	金子秀樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【授業の学習内容】 舞台の裏方としての知識を学び、舞台機構（音響機構調整作業）3級の合格を目指す。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	催物の種類・劇場の種類・舞台の種類について
2回目	舞台設備の種類、機能及び用途・舞台照明・舞台用語について
3回目	音響基礎知識・音源の基礎知識について
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	電気工学及び電子工学の基礎理論
6回目	電源設備及び電気計器の種類及び使用方法について
7回目	中間テスト
8回目	興行場法関係法令及び消防法関係法令、電波法関係法令について
9回目	特許法関係法令、舞台機構に関係する部分について
10回目	安全衛生に関する詳細な知識
11回目	検定対策①
12回目	検定対策②
13回目	検定対策②
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 出席率 (30%) ● 授業態度 (30%) ● 確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	音響学 II Sound Science II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	富永 堅
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限
【授業の学習内容】 音についての知識と、PAエンジニアとして必要な知識を身につける。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	PAとはどんな仕事か、音はなぜ聞こえるのか
2回目	音波の伝播
3回目	同じ音場、別の音場
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	周波数、可聴限界周波数
6回目	波長と振動
7回目	音色とは
8回目	音質とは
9回目	音波の性質
10回目	音圧・音圧レベル・音量、騒音の定義
11回目	NC値(Noise Criteria Curves)
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 出席率 (30%) ● 授業態度 (30%) ● 確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	音響学Ⅲ Sound ScienceⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	富永 堅
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜3限
【授業の学習内容】 音についての知識と、PAエンジニアとして必要な知識を身につける。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	PAとはどんな仕事か、音はなぜ聞こえるのか
2回目	音波の伝播
3回目	同じ音場、別の音場
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	周波数、可聴限界周波数
6回目	波長と振動
7回目	音色とは
8回目	音質とは
9回目	音波の性質
10回目	音圧・音圧レベル・音量、騒音の定義
11回目	NC値(Noise Criteria Curves)
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 出席率 (30%) ● 授業態度 (30%) ● 確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	音響機器オペレート I Acoustic Equipment Operation I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	西岡 幹浩
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>P Aエンジニアとして一般的に使用するケーブルの種類マイクの名前種類、機材の名前扱い方を覚え、基本的な機材の組み方繋ぎ方など初歩的な知識を身につける。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>劇場を利用する際のマナー約束事を理解して、作業が出来るようになる。</p> <p>安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。</p> <p>専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 ケーブル巻き練習
2回目	マイク種類 ダイナミクス コンデンサー ファンタム電源の話
3回目	ケーブル種類 マイクケーブル SPケーブルの違い
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	DI説明
6回目	音声信号流れ
7回目	電源の説明
8回目	GEQ パラメトリックの違い
9回目	ミキサーつまみ種類
10回目	マイキング
11回目	アナログ卓のリバーブの繋げ方
12回目	チューニングのやり方
13回目	前期テスト
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復習が大切です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音響機器オペレートⅡ Acoustic Equipment Operation Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	西岡 幹浩
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】 P Aエンジニアとして一般的に使用するケーブルの種類マイクの名前種類、機材の名前扱い方を覚え、基本的な機材の組み方繋ぎ方など初歩的な知識を身につける。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	メンテナンス ケーブル作り ハンダ作業
2回目	PS1 5システムの説明
3回目	VRXシステムの説明
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	RIOデジチェーン リダントの説明
6回目	回線表 見方
7回目	WLの設定の説明
8回目	マトリックスの説明
9回目	バンド資料を見て回線表作成
10回目	チューニング ハウスとモニター
11回目	モニ卓の説明
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復習が大切です。
評価方法	●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	電気知識 I II Electric Knowledge I II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山田 晴美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 主たる業務の現場となる、劇場（ホール）の構造と名称および設備について必要な知識を習得する。 特に9月に予定されているミュージカルへ向けて音響スタッフとして劇場での作業が円滑に行えるように学習する。 ミュージカル対策としてワイヤレスマイクの運用に必要な知識を習得する。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフェム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー約束事を理解して、作業ができるようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期講義の概要
2回目	劇場の構造 舞台機構① 舞台の構造と名称
3回目	劇場の構造 舞台機構② 各種舞台設備について
4回目	劇場の構造 舞台機構③ 舞台用語の基礎知識
5回目	舞台備品について 舞台備品・器具の基礎知識
6回目	劇場の構造 照明設備① 舞台照明システムについて
7回目	劇場の構造 照明設備② DMX512Aについて
8回目	劇場の構造 照明設備③ 大電力設備の危険性とその障害
9回目	劇場の構造 音響設備① ホール常設の音響システムと持込PAとの差異
10回目	劇場の構造 音響設備② ホール音響設備の特色
11回目	劇場の構造 音響設備③ ホール音響設備をどう使用するか
12回目	前期講義のまとめ まとめと質義応答、並びに課題の提示
13回目	前期評価 課題レポートによる評価
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。 各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	取組姿勢：20%（学習に対する取組姿勢） 課題：50%（課題提出、提出期限の厳守） 習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA照明舞台用語辞典（i-Pad） 公立文化施設 舞台技術ハンドブック（プリントにて配布） その他、必要に応じて 資料プリントを講師より配布して行う。	

科目名 (英)	電気知識ⅢⅣ Electric Knowledge ⅢⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山田 晴美
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 主たる業務の現場となる、劇場（ホール）の構造と名称および設備について必要な知識を習得する。 特に9月に予定されているミュージカルへ向けて 音響スタッフとして劇場での作業が円滑に行えるように学習する。 ミュージカル対策としてワイヤレスマイクの運用に必要な知識を習得する。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスフェム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	後期講義の概要
2回目	電気について① その歴史、周波数
3回目	電気について② 交流と直流、電圧と電流、消費電力
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	直流抵抗について① 直列、並列
6回目	直流抵抗について② 合成抵抗
7回目	直流回路における分圧と分流
8回目	直流回路における、電圧・電流・抵抗に関する 複合計算とその関わり
9回目	電源の方式 単相2線、単相3線、3相4線式
10回目	仮設電源について
11回目	後期 期末テスト
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができると積極的に触れるように努力する。 各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	取組姿勢：20%（学習に対する取組姿勢） 課題：50%（課題提出、提出期限の厳守） 習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA照明舞台用語辞典（i-Pad） 公立文化施設 舞台技術ハンドブック（プリントにて配布） その他、必要に応じて 資料プリントを講師より配布して行う。	

科目名 (英)	楽器知識 I Instruments Knowledge	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	井上潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜・2限
【授業の学習内容】 コンサートスタッフとして必要な楽器の名称や知識、音色、取り扱いやセッティングなどを学びます。 <講師プロフィール>							
【到達目標】 各楽器の形や名称、音色を理解し、楽器のセッティングや結線が行なえる。							

授業計画・内容	
1回目	楽器の種類と分類
2回目	楽器の略称(各種資料で使用される表記)
3回目	ドラム① メーカー、各パーツの名称、サイズ、ヘッドの種類 (シンバルも含む)
4回目	ドラム② セッティング演習
5回目	ドラム③ セッティング演習 (パッケージ含む)
6回目	キーボード① メーカー、種類、特徴
7回目	キーボード② セッティング演習 (結線、パッケージ含む)
8回目	ベース、ギター① ベースの各パーツの名称、種類と特徴、アンプの操作
9回目	ベース、ギター② ギターの各パーツの名称、種類と特徴、アンプの操作
10回目	パーカッション① メーカー、種類、分類
11回目	パーカッション② セッティング演習
12回目	ピアノ、オルガン 音の出る仕組みとマイクアレンジ
13回目	特殊な楽器(民族楽器等)
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	いろんなジャンルの音楽や楽器に興味を持ち、触れることによって楽器への理解度が増します。
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	楽器を理解することで音作りに役立つと同時に、演奏者とのコミュニケーションも取りやすくなります。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	楽器知識Ⅱ Instruments Knowledge	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	井上潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜・2限
【授業の学習内容】 コンサートスタッフとして必要な楽器の名称や知識、音色、取り扱いやセッティングなどを学びます。 <講師プロフィール> ※ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任、その後独立しフリーランスでPAとレコーディングの音響技師。 楽曲制作を行なっています。学校が所有する楽器や持ち込み可能な楽器に関しては実物を使用して実施します。 実物の使用が困難な楽器に関しては資料音源や資料動画を使用して実施します。							
【到達目標】 各楽器の形や名称、音色を理解し、楽器のセッティングや結線が行なえるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	同期、マニピュレーター 簡易セットから本格的なセット
2回目	オーケストラ、ビッグバンド 構成やマイクアレンジ
3回目	ジャンルの違いでことなる楽器の用途①
4回目	ジャンルの違いでことなる楽器の用途②
5回目	前回までの内容の総復習
6回目	舞台機構調整技師試験対策① 鍵盤楽器の種類、和楽器の種類、音色や特徴
7回目	舞台機構調整技師試験対策② 弦楽器の種類、管楽器の種類、音色や特徴
8回目	舞台機構調整技師試験対策③ 打楽器の種類、民族系楽器の種類、音色や特徴
9回目	舞台機構調整技師試験対策④ 模擬試験
10回目	WeAreFSM対策①
11回目	WeAreFSM対策②
12回目	WeAreFSM対策③
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	いろんなジャンルの音楽や楽器に興味を持ち、触れることによって楽器への理解度が増します。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	楽器を理解することで音作りに役立つと同時に、演奏者とのコミュニケーションも取りやすくなります！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	楽器知識Ⅲ Instruments KnowledgeⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	井上潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜2限
【授業の学習内容】 コンサートスタッフとして必要な楽器の名称や知識、音色、取り扱いやセッティングなどを学びます。 <講師プロフィール> ※ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任、その後独立しフリーランスでPAとレコーディングの音響技師。 楽曲制作を行なっています。学校が所有する楽器や持ち込み可能な楽器に関しては実物を使用して実施します。 実物の使用が困難な楽器に関しては資料音源や資料動画を使用して実施します							
【到達目標】 各楽器の形や名称、音色を理解し、楽器のセッティングや結線が行なえる。							

授業計画・内容	
1回目	楽器の種類と分類テスト
2回目	楽器の種類と分類復習 & 解説
3回目	ドラム① メーカー、各パーツの名称、サイズ、ヘッドの種類（シンバルも含む）応用編
4回目	ドラム② セッティング演習応用編
5回目	ドラム③ セッティング演習（パッケージ含む）応用編
6回目	音響技能検定要素試験対策①
7回目	音響技能検定要素試験対策②
8回目	音響技能検定要素試験対策③
9回目	音響技能検定要素試験対策④
10回目	パーカッション③ メーカー、種類、分類
11回目	パーカッション④ セッティング演習
12回目	ピアノ、オルガン 音の出る仕組みとマイクアレンジ②
13回目	学期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	いろんなジャンルの音楽や楽器に興味を持ち、触れることによって楽器への理解度が増します。
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	楽器を理解することで音作りに役立つと同時に、演奏者とのコミュニケーションも取りやすくなります。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	楽器知識IV Instruments KnowledgeIV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	井上潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3限
【授業の学習内容】 コンサートスタッフとして必要な楽器の名称や知識、音色、取り扱いやセッティングなどを学びます。 <講師プロフィール> ※ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任、その後独立しフリーランスでPAとレコーディングの音響技師。 楽曲制作を行なっています。学校が所有する楽器や持ち込み可能な楽器に関しては実物を使用して実施します。 実物の使用が困難な楽器に関しては資料音源や資料動画を使用して実施します。							
【到達目標】 各楽器の形や名称、音色を理解し、楽器のセッティングや結線が行なえるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	同期、マニピュレーター 簡易セットから本格的なセット②
2回目	オーケストラ、ビッグバンド 構成やマイクアレンジ②
3回目	ジャンルの違いでことなる楽器の用途③
4回目	ジャンルの違いでことなる楽器の用途④
5回目	前回までの内容の総復習
6回目	鍵盤楽器の種類、和楽器の種類、音色や特徴
7回目	弦楽器の種類、管楽器の種類、音色や特徴
8回目	打楽器の種類、民族系楽器の種類、音色や特徴
9回目	模擬試験
10回目	WeAreFSM対策①
11回目	WeAreFSM対策②
12回目	WeAreFSM対策③
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	いろんなジャンルの音楽や楽器に興味を持ち、触れることによって楽器への理解度が増します。
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	楽器を理解することで音作りに役立つと同時に、演奏者とのコミュニケーションも取りやすくなります！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB Design I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	島村 紀博
	WEB Design I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	火3、4限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	macとイラストレーターを触ってみるmacの初歩的な使用の仕方、コピー&ペーストやfinderの操作の仕方、wan内でのファイルのやり取り仕方（課題の提出）等を学ぶ、イラストレーターは新規ファイルの作成、ツールボックスの説明と機能の説明
2回目	イラストレータの基礎、パス編 まずはイラストレータの基礎で最も重要なパスをしっかりと学ぶ、波線やフリーハンドでの正円を描き、パスの使い方に慣れる
3回目	イラストレータの基礎、大きなカーブをパスで描く パスで感覚が掴みにくい、大きな円の切り替えしを学ぶ、ガイドラインを利用してパスでハートを描く
4回目	イラストレータの基礎、大きなカーブの連続を描く Sと言う文字を下絵にして、大きなカーブの連続のパスを丁寧に描く、アンカーポイント数を制限して丁寧にトレースを仕上げる。
5回目	イラストレータを利用してイラストを描く レイヤーとレイヤー内での上下の関係を意識しながら単純なイラストを描く、まずはライブペイントを使用せずに重なり付だけでイラストを描く。
6回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
7回目	複雑なイラストをイラストレーターで描く レイヤーや上下の関係を意識して複雑なイラストを仕上げる、同時にグラデーションや透明などの機能も学ぶ
8回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
9回目	複雑なイラストをイラストレーターで描く、ライブペイントツールとライブペイント選択ツールを使用してイラストを製作する。
10回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
11回目	ロゴマークのデザイン、仮想の店舗等のコンセプトを考え、ラフスケッチを描いてCI、VIをイラストレーターにて制作する。
12回目	制作したラフスケッチをスキャナーにてスキャンして、イラストレーターで清書する。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	イラストレーターはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なもの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB Design II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	島村 紀博
学科・コース	WEB Design II スーパーeインターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 火3、4限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	名刺の制作、前回制作したCI,VIを使用して名刺のデザインを行う。印刷を出来るようにトリムマークから制作して縦組み、横組みの名刺のレイアウトを考える。
2回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
3回目	広告のデザイン、写真を配置する、広告のレイアウトを考える。まずはPhotoshopにて配置する写真の切り抜きや加工を行う。
4回目	広告のデザイン、基本的な文字の組み方を覚え、前回加工した写真をレイアウトして広告のデザインを行う。
5回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
6回目	本の見開きページのレイアウトを考える。用意したパーツを使用して段組設定等を覚えて見開きページの作り方を覚える。
7回目	見開きページのレイアウトデザインの続き途中段階のチェック
8回目	見開きページのレイアウトデザインの提出と校正
9回目	グループワーク、三人一組でFSMをPRするグッズの制作、個人で企画案を3案提出する。
10回目	グループワーク、FSMグッズの制作。企画書の提出、9案の中から制作するグッズを三案選んで担当分けをして制作。
11回目	グループワーク、FSMグッズの制作。制作期間と途中経過のチェック
12回目	グループワーク、FSMグッズの制作。最終校正と課題の提出。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	イラストレーターはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なもの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB Design III	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	島村 紀博
学科・コース	WEB Design III スーパーeインターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜1、2限
【授業の学習内容】 web制作に必要なPhotoshopの使用の仕方を学習し、ドリームウィーバーを使用してweb制作の基礎を学び最後にオリジナルでサイトを制作する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptshopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	photoshopのツールの紹介と、photoshopの基本的な使い方の説明、自分の写真を加工してphotoshopの機能を知る。
2回目	Photoshopの初歩の使い方をサンプル画像を使用して、ツールボックスの説明も兼ねて使用してみる。
3回目	Photoshopの合成課題、画像解像度の理解とペンツールを使用しての合成の基礎を覚える、野菜のパーツを切り抜いて組み合わせサンプル通りに合成する。
4回目	photoshopの合成課題レイヤーを理解する、レイヤーの描画モード、レイヤースタイル等レイヤーの機能を使用して合成を行う、又グラデーションの作り方を覚える。
5回目	photoshopの色塗り、ブラシの使い方やレイヤーの描画モード、選択範囲を使用して下絵を元に乗算を使用して着色していく、又カスタムブラシの作り方も覚える。
6回目	photoshopのスタンプツール、スタンプツールを使用して画像の画像の修正作業を行う。修正の際に必要な歪みツールや変形ツールを覚える。
7回目	photoshopの影付け、用意した写真に影をつける、パスを引いて選択範囲を読み込み変形ツールを使用して、リアルなガウスのぼかしを使用して影付けを覚える。
8回目	photoshop合成と色合わせ、見本に合わせて、今までの技術を総合的に使用して合成と色合わせを行う、色合わせは調整レイヤーを使用して行う。
9回目	photoshopの合成課題、前回の課題に引き続き色合わせと合成課題、今回は更に複雑な合成に挑戦する。その際に効率のよい合成技術を身に付ける。
10回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
11回目	photoshop商品にロゴマークを入れる、変形ツールや選択範囲を上手く使い商品写真にロゴマークを入れ、商品の色を色相と彩度を利用して変更する。
12回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB Design IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	島村 紀博
	WEB Design IV	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	金曜1、2限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptshopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	インターネットの成り立ちとルール、WEBを制作するにあたって初歩的な知識とドリームウィーバーの使い方の説明
2回目	WEBを制作するにあたってのHTMLとCSSの説明と、ファイルの階層やリンクの考え方。HTMLを使用してリンクを張ってみる。
3回目	CSSを使用してWEBページを作ってみる。CSSの初歩的な1段組レイアウトを制作しながらCSSの基本を覚える。
4回目	CSSを使用して2段組のレイアウトを組み、ヘッダー/フッター/ナビゲーション等、各パーツをCSSにて制作する。
5回目	webの制作、3段組のレイアウトをソースの見本を見ながら制作して、ソースを書き換えて応用できる様にする。
6回目	webの制作、4段組レイアウト、画像のレイアウトを見ながらソースを書いてページを完成させる。CSSの応用
7回目	見本をもとにレスポンスサイトを制作する。レスポンスサイトを制作する際に必要な基礎知識の説明。
8回目	自分で用意できるコンテンツでオリジナルのサイトを制作する。材料集めと、最終的にネットアップする、FTPツールの仕様の仕方。
9回目	自分のサイトの企画書を制作する。企画書で合格したら自分のサイトの制作に入る。
10回目	前回の続きオリジナルサイトの制作
11回目	前回の続きオリジナルサイトの制作、途中段階のチェックと修正
12回目	オリジナルサイトの提出評価
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音楽史 I Music History	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	金子 秀樹
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜 2 限
【授業の学習内容】 現代音楽のルーツやジャンルを学び、様々なアーティストに対応出来る知識を身に付けます。 <講師プロフィール> ※ブルーノートフオカにサウンドチーフとして就任、その後独立しフリーランスでPAとレコーディングの音響技師。 楽曲制作を行なっています。学校が所有する楽器や持ち込み可能な楽器に関しては実物を使用して実施します。 実物の使用が困難な楽器に関しては資料音源や資料動画を使用して実施します							
【到達目標】 ジャンルに合わせたサウンドメイクの知識を習得すると共に、世代を問わず各ジャンルの楽曲やアーティストの知識が習得出来る。							

授業計画・内容	
1回目	各年代の音楽の特徴とサウンド
2回目	50's アメリカのロックンロールの誕生と日本のポップスの誕生
3回目	50's 洋楽ポップスと日本のGSブーム
4回目	60's 洋楽フォーク、ソウルミュージック、サイケデリックロック、ハードロックの誕生
5回目	60's～70's 日本のフォーク、海外のロックとポップス
6回目	前回までの振り返りと補足
7回目	60's～70's 日本のロック、海外ロックの巨大化
8回目	70's 日本のポップス、海外の白人音楽と黒人音楽
9回目	70's 日本のポップスとロック
10回目	メジャーな映画音楽やCMソング、BGMで使用されるアーティスト
11回目	70's 海外のフュージョン、AOR、ディスコミュージック
12回目	ジャズ特集
13回目	日本のジャズ、フュージョン
14回目	70's 海外のパンクとニューウェイブ
15回目	前期イベント制作・特別授業
準備学習 時間外学 習	授業で取り上げた内容に自分から興味を持ってYouTube等で掘り下げるにより更に知識が増えます。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	様々な音楽やアーティストを知っていることは、この業界では強みになります。いろんな音楽を好きになってください。
【使用教科書・教材・参考書】 ロック&ポップス史 邦楽編、ロック&ポップス史 洋楽編	

科目名 (英)	音楽史Ⅱ Music History	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	金子 秀樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜 2限
【授業の学習内容】 教科書「ロック&ポップス史 邦楽編」「ロック&ポップス史 洋楽編」を使用し、音楽のルーツやジャンルを学び、様々なアーティストに対応出来る知識を身につけます。 <講師プロフィール> ※ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任、その後独立しフリーランスでPAとレコーディングの音響技師。楽曲制作を行なっています。学校が所有する楽器や持ち込み可能な楽器に関しては実物を使用して実施します。実物の使用が困難な楽器に関しては資料音源や資料動画を使用して実施します							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業ができるようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	日本のロックの大衆化、アメリカではMTVの時代
2回目	世界情勢を見つめるロックと、日本のバンドブーム
3回目	日本のバンドブームと海外インディーズシーンの革命
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	海外ロック史上最大の下克上と日本のオルタナティブ思考
6回目	海外ヒップホップの到来と、日本のテクノ、クラブミュージック
7回目	海外のクラブミュージックと、和製R&Bの誕生
8回目	和製R&Bと、海外はセレブ時代へ
9回目	2000年代の海外ロックシーンと日本のポップミュージック
10回目	WeAreFSMで使用される楽曲の解説① (歌い手や演奏者に関することや当時の音楽シーン等)
11回目	WeAreFSMで使用される楽曲の解説② (歌い手や演奏者に関することや当時の音楽シーン等)
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業で取り上げた内容に自分から興味を持ってYouTube等で掘り下げて行くことで、更に知識は増えていきます。
評価方法	●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	様々な音楽やアーティストを知っていることは、この業界では強みになります。いろんな音楽を好きになってください。
【使用教科書・教材・参考書】 ロック&ポップス史 邦楽編、ロック&ポップス史 洋楽編	

科目名 (英)	舞台基礎 I (Stage Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	水戸 裕
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日・3～5限
【授業の学習内容】							
<p>舞台のあらゆる技術と知識は、繰り返し実習する事で身に着ける事ができる事を体得する。また、プロとしてのあらゆる方法や理屈を身に着けるためには、道理を深く考える必要がある事を促す。それらを教室で行う基礎技術と理論に加え、授業内実習、校内イベント等で美術製作・進行・資料作りを繰り返し経験させる。</p> <p>我々スタッフの仕事は本番をやり遂げる事である。本番を体験しなければ理解できない事が数多くある。本番を体験する事は、応用力を身に着ける事になる。校内イベントを含め、数多く本番体験をする事で即戦力を高めさせる。</p> <p>前期の最後に外部ホールで行われるミュージカルは、集約されたものとなり、広い空間に適応する事を学ぶ事になる。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎実習を通して美術製作・進行・資料作りなどの知識と感覚を身に着ける ・ミュージカルの成功を前期最終課題とし、あらゆるイベントの本番を成功させる事を目標とする 							

授業計画・内容	
1回目	舞台の基礎知識①～ガイダンス・舞台全般知識・入学式の進行と美術を確認する
2回目	舞台の基礎知識②～舞台機構・舞台名称などの舞台知識
3回目	舞台の基礎知識③～寸法、図面、タイムスケジュール
4回目	舞台の基礎知識④～木工製作、木材知識、工具知識
5回目	基礎製作 I ①～学園祭対応製作、木工作品製作
6回目	基礎製作 I ②～学園祭対応製作、木工作品製作
7回目	基礎製作 I ③～学園祭対応製作、木工作品製作
8回目	基礎製作 I ④～学園祭対応製作、木工作品製作
9回目	基礎製作 II ①～TV美術製作、デザイン、放送機器展対応
10回目	基礎製作 II ②～TV美術製作、デザイン、放送機器展対応
11回目	基礎製作 II ③～TV美術製作、デザイン、放送機器展対応
12回目	基礎製作 II ④～TV美術製作、デザイン、放送機器展対応
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	・継続して繰り返し行う事が大切である。デザインや製作の課題を提出する事で次の時間につなげる事ができる
評価方法	・製作課題を終了する事で実技試験を実施する事にする ・取り組み姿勢、取り組み結果にて総合評価
受講生への メッセージ	美術製作も進行も、本番を迎える事が大事。本番が成功するために学ぶ。成功する達成感は素晴らしい。そのためにコツコツと同じ事を何度も繰り返し作業して身に着けよう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	舞台基礎Ⅱ (Stage Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	水戸 裕
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日・3～5限
【授業の学習内容】							
<p>舞台のあらゆる技術と知識は、繰り返し実習する事で身に着ける事ができる事を体得する。また、プロとしてのあらゆる方法や理屈を身に着けるためには、道理を深く考える必要がある事を促す。それらを教室で行う基礎技術と理論に加え、授業内実習、校内イベント等で美術製作・進行・資料作りを繰り返し経験させる。</p> <p>我々スタッフの仕事は本番をやり遂げる事である。本番を体験しなければ理解できない事が数多くある。本番を体験する事は、応用力を身に着ける事になる。校内イベントを含め、数多く本番体験をする事で即戦力を高めさせる。</p> <p>後期の最後に外部ホールで行われるWe are FSM 卒業進級制作は、1年間の集約されたものとなり、総括になる。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎実習を通して美術製作・進行・資料作りなどの知識と感覚を身に着ける ・We are FSM 卒業進級制作の成功を後期最終課題とし、あらゆるイベントの本番を成功させる事を目標とする 							

授業計画・内容	
1回目	基礎製作Ⅳ①～小道具製作(発泡スチロール造形)
2回目	基礎製作Ⅳ②～小道具製作(発泡スチロール造形)
3回目	基礎製作Ⅳ③～小道具製作(発泡スチロール造形)
4回目	基礎製作Ⅳ④～小道具製作(発泡スチロール造形)
5回目	基礎製作Ⅳ⑤～小道具製作(発泡スチロール造形)
6回目	基礎製作Ⅳ⑥～小道具製作(発泡スチロール造形)
7回目	応用製作①～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
8回目	応用製作②～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
9回目	応用製作③～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
10回目	応用製作④～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
11回目	応用製作⑤～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
12回目	応用製作⑥～We are対応製作、進級・卒業制作作品製作
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	・継続して繰り返し行う事が大切である。デザインや製作の課題を提出する事で次の時間につなげる事ができる
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・製作課題を終了する事で実技試験を実施する事にする ・取り組み姿勢、取り組み結果にて総合評価
受講生への メッセージ	美術製作も進行も、本番を迎える事が大事。本番が成功するために学ぶ。成功する達成感は素晴らしい。そのためにコツコツと同じ事を何度でも繰り返し作業して身に着けよう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント照明ベーシック I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	岡田 一志
	(Event Lighting Basic)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科			曜日・時限	月曜3、4限		
【授業の学習内容】 照明の基本を教科書を使い学んでいき、照明の楽しさを伝える。また、イベントに向けて仕込みの練習をする。1年次の学内イベントを安全に行えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器(ムービング他含めて)を学ぶ。 <講師プロフィール> ※演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 教科書で学んだことを使い8Fの仕込みがスムーズにできるようにしていく。一人一人がイベントを通して、安全に仕込むことができる、基礎的なオペレーションができるようにする。 <具体的な目標> ①仕込み時の安全対策ができる ②照明機器全般を理解することができる ③カラーフィルター番号の習得および色の表現について理解できる							

授業計画・内容	
1回目	照明機材について
2回目	照明のケーブルとコネクタについて
3回目	カラーフィルターを覚えよう
4回目	照明の仕込みをしてみよう 基礎編
5回目	照明の知識アップ 教科書を使います
6回目	照明の仕込みをしてみよう 基礎編
7回目	照明の知識アップ 教科書を使います
8回目	照明の仕込みをしてみよう 応用編
9回目	照明の知識アップ 教科書を使います
10回目	仕込み図を書けるように
11回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
12回目	仕込み図を書けるように
13回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30%(到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	焦らず、ゆっくりと頑張っていきましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント照明ベーシックⅡ (Event Lighting Basic)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	岡田 一志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3、4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>イベントを通して教科書で学んだことを使い体に覚えさせ、簡単なオペレーションの練習を行なっていく。1年次の学内イベントを安全に行えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器(ムービング他含めて)を学ぶ。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器(ムービング他含めて)を学ぶ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>一人一人がイベントを通して、仕込みや簡単なオペレーションができるようにしていく。一人一人がイベントを通して、安全に仕込むことができる、基礎的なオペレーションができるようにする。</p> <p><具体的な目標></p> <p>①仕込み時の安全対策ができる ②照明機器全般を理解することができる ③カラーフィルター番号の習得および色の表現について理解できる</p>							

授業計画・内容	
1回目	イベントを通した振り返りでのレベルアップ
2回目	仕込み図を書けるように
3回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
4回目	イベントを通して実践練習 ①ステージライティング応用技法
5回目	イベントを通して実践練習 ②ステージライティング応用技法
6回目	イベントを通して実践練習 ③ステージライティング応用技法
7回目	イベントを通して実践練習 ④ステージライティング応用技法
8回目	イベントを通して実践練習 ⑤ステージライティング応用技法
9回目	イベントを通して実践練習 ⑥ステージライティング応用技法
10回目	イベントを通して実践練習 ⑦ステージライティング応用技法
11回目	イベントを通して実践練習 ⑧ステージライティング応用技法
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30%(到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	焦らず、ゆっくりと頑張ってください
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	照明概論 I (Lighting Concept)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	田坂 章文
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜5・6限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>照明舞台機構を知り、用法を学び基礎的知識を習得する。照明・舞台の基礎的用語を学び、使い方を理解し、図面を読み込むこと何よりケガなく安全に作業ができることを第一に安全マナー・機材の取り扱い方、安全作業の基礎知識から舞台機構・舞台照明設備の用語及び知識の習得を目的とする。講師作成の仕込み図どおりに脚立を使用しながら照明仕込みが行うことができるようになる。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、パレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>照明家に必要な基礎知識を学び、照明機器と照明操作のシステム、照明・舞台機構の基礎的知識・用語を習得する。ミュージカル公演の現場に向けて必要とされる知識・技術を学ぶ。</p> <p><具体的な目標></p> <p>①舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)を習得する ②舞台機構と舞台照明設備について理解する ③照明機器と照明操作のシステムについて理解する</p>							

授業計画・内容	
1回目	舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)①
2回目	舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)②
3回目	舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)③
4回目	舞台照明設備について①
5回目	舞台照明設備について②
6回目	照明機器と照明操作のシステム①
7回目	照明機器と照明操作のシステム②
8回目	照明機器と照明操作のシステム③
9回目	照明家としての基礎知識
10回目	ミュージカル公演会場の舞台機構・仕込み図について
11回目	ミュージカル公演照明プランプレゼンテーション①
12回目	ミュージカル公演照明プランプレゼンテーション②
13回目	ミュージカル公演照明プラン修正およびホール入り前の心構えについて
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	○実技テスト : 60% ○筆記テスト : 40% ○出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組む姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	照明概論Ⅱ (Lighting Concept)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	田坂 章文
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜 5・6限
【授業の学習内容】 舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)を習得し、舞台機構・舞台照明設備について理解し、進級制作展に向けて使用するホールのシステムを理解し、照明プランをプランニングする。 <講師プロフィール> 照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、バレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。							
【到達目標】 基礎をもとに後期は応用を学ぶ。照明家に必要な基礎知識を学ぶとともに進級制作展のプラン作成にいかす。 <具体的な目標> ①舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)を習得する ②舞台機構と舞台照明設備について理解する ③進級制作展の照明プランを作成する							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(前期の振り返りと後期の取り組み方について)
2回目	舞台照明設備について(中級)
3回目	舞台照明設備について(中級)
4回目	照明機器と照明操作のシステム①
5回目	照明機器と照明操作のシステム②
6回目	照明機器と照明操作のシステム③
7回目	照明機器と照明操作のシステム④
8回目	照明家としての応用知識①
9回目	照明家としての応用知識②
10回目	進級展ホールのシステム・機構について
11回目	進級制作展プランニングプレゼンテーション①
12回目	進級制作展プランニングプレゼンテーション②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	○実技テスト : 60% ○筆記テスト : 40% ○出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組む姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	照明基礎 I (Lighting Basic)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	岡田 一志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 必要な業界用語や照明の基礎的知識を中心に照明器具・周辺機器・光の方向性・光のコントロール・ライティングシステム・光の色について詳細に学ぶ。 <講師プロフィール> 演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 <具体的な目標> ①照明器具の特性と光の特徴について習得する ②ライティングシステムと光の色について習得する ③ホールの機構・照明について実習を通して習得する							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(前期内容について)
2回目	ステージライティングのジャンルについて(コンサートライティングと演劇の舞台照明)
3回目	照明器具と周辺機器①(パーライト・プロファイルスポットライト・フレネルレンズライト・平凸レンズライト他)
4回目	照明器具と周辺機器②(フォロースポットライト・エフェクト機器・スモークマシン・特殊効果他)
5回目	光の方向による表現①(バックライト・サイドライト・トップライト)
6回目	光の方向による表現②(ウォッシュライト・ステージサイドスポットライト・フットライト・バックフットライト・フロントサイドライト他)
7回目	光の点灯と光を消す(カットイン・フェードイン・カットアウト・フェードアウト・クロスフェード・カットチェンジ)
8回目	ライティングシステムと調光操作卓①(ライティングシステムの基本)
9回目	ライティングシステムと調光操作卓②(調光操作卓の種類と機能)
10回目	色の表現とカラーフィルター①(色の種類・選択・表現の技法)
11回目	色の表現とカラーフィルター②(ホリゾン・シーンの色の決め方)
12回目	ホール実習①(ミュージカルに向けてホールの機構について)
13回目	ホール実習②(ミュージカルに向けてホールの照明について)
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	照明基礎Ⅱ (Lighting Basic)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	岡田 一志
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 ムービングライトシステム・LEDの特徴・仮設システム・ライティングデザインの考え方を学ぶ。 ※演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 <具体的な目標> ①ムービングライトシステムとLEDの特徴・ステージライティングについて習得する ②仮設の舞台照明設備の理解ができています ③ライティングデザインの仕上げとデータ作りの習得ができています							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(前期の振り返りと後期の取り組み方について)
2回目	ムービングライトシステム①(ムービングライトの種類・光のコントロール・動き)
3回目	ムービングライトシステム②(ムービングライトのコントロール)
4回目	ムービングライトシステム③(ムービングライトのプログラム・シミュレーションソフトの活用)
5回目	LEDの特徴とステージライティング①(LEDの特徴・舞台照明器具)
6回目	LEDの特徴とステージライティング②(LEDと映像他)
7回目	仮設の舞台照明設備①(仮設のライティングシステム)
8回目	仮設の舞台照明設備②(機器・システムの持ち込み、劇場・ホールの舞台照明設備)
9回目	ライティングデザインの考え方①(ステージセッティング・仕込み図とフェーダー表)
10回目	ライティングデザインの考え方②(仕込みのバリエーション)
11回目	ライティングデザインの仕上げとデータ作り①(コンサートの構成とライティング)
12回目	ライティングデザインの仕上げとデータ作り②(プランニングとデータ作成)
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきま
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ムービングベーシック I (Moving Lighting Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜3・4限
【授業の学習内容】 ムービングライト、LED機器を含む照明機材の基本的な操作方法、接続方法、機材の基本的な構造を知る。 <講師プロフィール> ムービングライトを駆使したオペレーターは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュアライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容		
1回目	機材の基本構造1	使用する機材の基本構造を知る
2回目	機材の基本構造2	機材の内部構造について
3回目	機材の基本構造3	各種モードの切り替え
4回目	操作卓の基本的な使用方法1	基本的なキューの作成
5回目	操作卓の基本的な使用方法2	操作卓の初期設定
6回目	操作卓の基本的な使用方法3	HTPとLTP
7回目	操作卓の基本的な使用方法4	ディマーの制御
8回目	機材の接続方法1	操作ケーブルと電源ケーブル
9回目	機材の接続方法2	DMX規格とイーサネットについて
10回目	電源容量1	電源容量の計算
11回目	電源容量2	ケーブルとコネクターの構造
12回目	仕込みの基本1	仕込み手順と安全確認
13回目	仕込みの基本2	ケーブル処理
14回目	ミュージカル演習	
15回目	ミュージカル演習	
準備学習 時間外学 習		
評価方法	○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ムービングベーシックⅡ (Moving Lighting Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜3・4限
【授業の学習内容】 ムービングライト、LED機器を含めた照明機材の基本的な操作方法、接続方法、機材の基本的な構造を知る。 <講師プロフィール> ムービングライトを駆使したオペレートは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュアライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容		
1回目	操作卓の基本的な使用方法1	DMXアドレスとパッチ
2回目	操作卓の基本的な使用方法2	キューの実行とタイムの調整
3回目	操作卓の基本的な使用方法3	パレットの作成
4回目	操作卓の基本的な使用方法4	エフェクトエンジン
5回目	機材の接続方法1	DMXアドレスと2進数
6回目	機材の接続方法2	スプリッタボックスと信号のアイソレーション
7回目	機材の接続方法3	調光ユニット
8回目	電源知識1	電圧、電流、電力の基本
9回目	電源知識2	テスターによる測定方法
10回目	光源知識1	発光原理と波長成分、色温度
11回目	光源知識2	カラーミックスの原理、CMYとRGB
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル	
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル	
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル	
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番	
準備学習 時間外 学習		
評価方法	○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ライティングベーシック I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	麻生 圭輔
	(Lighting Basic)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜 1・4限
【授業の学習内容】 照明舞台機構を知り、用法を学びイベント・催事をいかにして成功に導くかを学ぶ。基礎的な光を持つ四つの役割、照明の三原則から学び、何よりケガなく安全に作業ができることを第一に安全マナー・機材の取り扱い方、安全作業の基礎知識から舞台機構・舞台照明設備の用語及び知識の習得を目的とする。講師作成の仕込み図どおりに脚立を使用しながら照明仕込みが行うことができるようになる。							
<講師プロフィール> 照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、パレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。							
【到達目標】 照明機材を自由に使いこなし、舞台を盛り上げるための照明技術を体得する。 <具体的な目標> ①舞台機構用語・舞台照明用語(機材用語等)を習得する ②照明の三つの原則、光を持つ特性、光源とレンズの関係など説明ができる ③仕込み図どおりに灯体を吊り込むことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション①安全マナー・安全作業について
2回目	オリエンテーション②舞台機構・機材・灯体の名称を知る
3回目	オリエンテーション③機材・灯体の名称を知り特性をいかす
4回目	照明に関する実作業①舞台用語と吊り込み
5回目	照明に関する実作業②吊り込みと回路取り
6回目	照明に関する実作業③照明卓打ち込み
7回目	照明に関する実作業④照明卓打ち込み
8回目	照明に関する実作業⑤工具の名称・コードメンテナンス
9回目	照明に関する実作業⑥仕込み図の書き方
10回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方①音楽(バンド)
11回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方②音楽(ヴォーカル)
12回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方③ダンス
13回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方④芝居
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	○事前の照明プラン作成、仕込み図作成
評価方法	○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わるのが大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組み姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングベーシックⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	麻生 圭輔
	(Lighting Basic)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜 1・4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>照明舞台機構を知り、用法を学び催事をいかにして成功に導くかを学ぶ。様々なジャンルの催事に合わせた照明プランを作成、仕込み図を毎週作成し、実習教室にあった正確な仕込み図をもとに安全な吊り込み作業を行うことができる。照明プラン作り→仕込み→打ち込み・実施のサイクルを繰り返すことで作業のスピードアップをはかり、各学生の照明に対するアイデア作り、経験値を増やし意識を高める。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、パレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>照明機材の特性を理解し、なおかつ自由に使いこなし、舞台を盛り上げるための照明技術とプランを体得する。</p> <p><具体的な目標></p> <p>①照明機材の特性を正確に理解し、使いこなせること ②正確に仕込み図を作成することができる ③イベントのジャンルにあわせた照明プランを作成することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション①前期の振り返りと後期の取り組みについて
2回目	照明機材の特性と使い方の理解①
3回目	照明機材の特性と使い方の理解②
4回目	照明機材の特性と使い方の理解③
5回目	仕込み図の書き方(復習)
6回目	催物に合わせたプランの作り方①音楽(バンド)
7回目	催物に合わせたプランの作り方②音楽(洋楽)
8回目	催物に合わせたプランの作り方③音楽(J-POP)
9回目	催物に合わせたプランの作り方④ダンス
10回目	催物に合わせたプランの作り方⑤ダンス
11回目	催物に合わせたプランの作り方⑥芝居
12回目	催物に合わせたプランの作り方⑦芝居
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	○事前の照明プラン作成、仕込み図作成
評価方法	○実技テスト:40% ○課題提出:30%(課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度:30%(到達目標に対する習熟度) 出席:別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組み姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタッフワークショップ I (STAFF Workshop I)	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	金子秀樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜5・6限
【授業の学習内容】							
音響・照明・楽器の基礎的な知識と技術を学ぶと共に、音楽やアーティストの知識も学びます。 ■講師プロフィール:ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任。その後独立しフリーランスでPAエンジニア、レコーディングエンジニア、コンポーザーとして活動中。							
【到達目標】							
現場での基本的な作業、基本的な資料作成が習得出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明と、テクニカルスタッフの役割と各セクションの関係
2回目	PA① イベント会場でのPAの仕事、八の字巻練習
3回目	LT① イベント会場での照明の仕事、八の字巻練習
4回目	Inst① バンドの基本となる楽器たち
5回目	Artist① ジャンルと各ジャンルの代表的アーティスト
6回目	PA② マイクの種類と特徴
7回目	LT② 灯体の種類と役割、カラーチャート
8回目	Inst② 楽器の種類と分類
9回目	Artist② 誰もが耳にするメジャーなアーティスト達
10回目	PA③ コネクター、ケーブルの種類と役割
11回目	LT③ コネクター、ケーブルの種類と役割
12回目	Inst③ 楽器の略称と各種資料での表記方法
13回目	Artist③ 楽器ごとの有名なプレイヤー達、演奏テクニックの紹介
14回目	前期の振り返りと補足
15回目	前期イベント制作・特別授業
準備学習 時間外学習	授業以外のイベント参加や自習によって、技術と知識だけでなく「経験」も増えます。
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	技術や知識だけでなく、コミュニケーションを大切にしながら一緒に授業を作っていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタッフワークショップⅡ STAFF Workshop II	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	金子秀樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜5・6限
【授業の学習内容】							
音響・照明・楽器の基礎的な知識と技術を学ぶと共に、音楽やアーティストの知識も学びます。							
■講師プロフィール:ブルーノートフクオカにサウンドチーフとして就任。その後独立しフリーランスでPAエンジニア、レコーディングエンジニア、コンポーザーとして活動中。							
【到達目標】							
現場での基本的な作業、基本的な資料作成が習得出来る。							

授業計画・内容	
1回目	PA④ 簡易セットの仕込みとチェック
2回目	LT④ 簡易セットの仕込みとチェック
3回目	Inst④ 各楽器の基本セッティング
4回目	Artist④ 現在の音楽に影響を与えたアーティスト達
5回目	PA⑤ タタキとマニピュレーター、音源編集
6回目	LT⑤ 全セクションが知っておくべき専門用語と実際の働き
7回目	Inst⑤ 各楽器の基本チューニング
8回目	Artist⑤ いろんな音楽の仕掛けと魅力
9回目	PA⑥ 簡易セットでの模擬イベント
10回目	LT⑥ 簡易セットでの模擬イベント
11回目	Inst⑥ バンドセットのセッティングとチェック
12回目	Artist⑥ 映像での演出とその仕組み、映像編集
13回目	後期授業のまとめと補足
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業以外のイベント参加や自習によって、技術と知識だけでなく「経験」も増えます。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	技術や知識だけでなく、コミュニケーションを大切にしながら一緒に授業を作っていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタッフワークショップⅢ (STAFF Workshop)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	横山 綾子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜5・6限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>「考えること」や「ものを作る」ことを鍛えます。企画立案、実行力を養います。後期では、実際に企画したイベントを実践に持っていきます。</p> <p><講師プロフィール>九州最大の夏フェス“Number Shot”や“Circle”“Sky Jumboree”の舞台監督を務め、有名アーティストが出演するエフエムの公開録音イベント、博多駅イルミネーション点灯式、福岡市のイベンなどを創り上げる</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>企画力や発案力はイメージを大切にす業界において必要不可欠なもの。常に新しいものに興味を持ちまた、それをどのように活かせば集客力の高いイベントになるかを考え、スキルを磨いていくことが重要です。</p>							

授業計画・内容	
1回目	1年間 この授業でやること(チーム分け・年間スケジュール)
2回目	1回目イベント会議 ① 各チームでまずは話し合う
3回目	1回目イベント会議 ② 各チームの案をプレゼン・発表
4回目	1回目イベント会議 ③ それぞれの案を精査し、1つのイベントにまとめる
5回目	1回目イベント会議 ④ 本番を迎えるにあたり、詳細を決定する会議
6回目	1回目イベント会議 ⑤ 本番を見据えて、問題をイメージし解決していく → 1回目のイベント実施
7回目	1回目のイベントを終えての反省、感想(報告会)
8回目	2回目イベント会議 ① 各チーム内での提案出し
9回目	2回目イベント会議 ② 各チームの案をプレゼン・発表
10回目	2回目イベント会議 ③ それぞれの案を精査し、1つのイベントにまとめる(全体会議)
11回目	2回目イベント会議 ④ 本番を迎えるにあたり、詳細を決定する会議(全体会議)
12回目	2回目イベント会議 ⑤ 本番を見据えて、問題をイメージし解決していく → 2回目のイベント実施
13回目	イベント実施
14回目	前期の振り返りと補足
15回目	イベント演習
準備学習 時間外学習	プロの現場で実際に経験することにより社会に出てからのイメージが具体化でき、また現場でプロスタッフに出会うことにより就職・研修にもつながってゆきます。臆することなくどんどん現場に行きましょう。 * <u>現場力を養う</u>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	コンサートや多くのイベントは現場にて初めて完成されるもの。だからこそ自身の想像力やイメージは失敗しないイベントを作る上で必要不可欠なものです。多くの経験から沢山イメージし想像力を養ってほしいです。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>実際に使用したコンサートでの資料など(横山が現場で使用したもの)を授業でも使用していきます。</p>	

科目名 (英)	スタッフワークショップⅣ (STAFF Workshop)	必修 選択	必修 選択	年次	4	担当教員	横山 綾子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜5・6限
【授業の学習内容】 「考えること」や「ものを作る」ことを鍛えます。企画立案、実行力を養います。 後期では、実際に企画したイベントを実践に持っていきます。 <講師プロフィール>九州最大の夏フェス“Number Shot”や“Circle”“Sky Jumboree”の舞台監督を務め、有名アーティストが出演するエフエムの公開録音イベント、博多駅イルミネーション点灯式、福岡市のイベンなどを創り上げる							
【到達目標】 企画力や発案力はイメージを大切にす業界において必要不可欠なもの。 常に新しいものに興味を持ちまた、それをどのように活かせば集客力の高いイベントになるかを考え、スキルを磨いていくことが重要です。							

授業計画・内容	
1回目	3回目イベント会議 ① 各チームでまずは話し合う
2回目	3回目イベント会議 ② 各チームの案をプレゼン・発表
3回目	3回目イベント会議 ③ それぞれの案を精査し、1つのイベントにまとめる
4回目	3回目イベント会議 ④ 本番を迎えるにあたり、詳細を決定する会議
5回目	3回目イベント会議 ⑤ 本番を見据えて、問題をイメージし解決していく → 1回目のイベント実施
6回目	3回目のイベントを終えての反省、感想(報告会)
7回目	4回目イベント会議 ① 各チームでまずは話し合う
8回目	4回目イベント会議 ② 各チームの案をプレゼン・発表
9回目	4回目イベント会議 ③ それぞれの案を精査し、1つのイベントにまとめる
10回目	4回目イベント会議 ④ 本番を迎えるにあたり、詳細を決定する会議
11回目	4回目イベント会議 ⑤ 本番を見据えて、問題をイメージし解決していく → 1回目のイベント実施
12回目	4回目のイベントを終えての反省、感想(報告会)
13回目	後期授業のまとめと補足
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	プロの現場で実際に経験することにより社会に出てからのイメージが具体化でき、また現場でプロスタッフに出会うことにより就職・研修にもつながってゆきます。臆することなくどんどん現場に行きましょう。 * 現場力を養う
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	コンサートや多くのイベントは現場にて初めて完成されるもの。だからこそ自身の想像力やイメージは失敗しないイベントを作る上で必要不可欠なものです。多くの経験から沢山イメージし想像力を養ってほしいです。
【使用教科書・教材・参考書】 実際に使用したコンサートでの資料など(横山が現場で使用したもの)を授業でも使用していきます。	

科目名 (英)	ビジネスワークショップ I (Business Workshop I)	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	高田 雄貴
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜 1・2時限目
【授業の学習内容】							
<p>下記内容について、必須の能力の習得と、その能力を発揮するためのマーケットの関係を実務を通じて身につける為に構成する</p> <p>[1] エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する</p> <p>[2] エンタテインメント業界での音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する</p> <p>[3] エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する</p> <p><講師プロフィール></p> <p>一般社団法人コンサートプロモーターズ協会所属のキョードー東京在籍中より、主業務先は主要放送局(フジテレビ、テレビ朝日、日本テレビ等のテレビ局や新規開局FM局のイベントや音楽番組の制作に関わる。現在、イベント制作会社ビーハイブ代表。</p>							
【到達目標】							
<p>エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識をと方法論を修得</p> <p><具体的な目標></p> <p>[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する</p> <p>[2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する</p> <p>[3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する</p>							

授業計画・内容	
1回目	はじめに ~ 企画って何?を考える [演習課題:イベント参加アンケート分析]
2回目	企画を立案するのは誰の為?を理解する [演習課題:配布プリントの内容確認]
3回目	イベント会場の基本について理解する [演習課題:全国のホールを調査する]
4回目	企画立案の基本である5W1Hを理解する [演習課題:企画アイデアシートの項目調査]
5回目	イベント本番日の時間的流れを理解する [演習課題:モデルタイムテーブルの作成]
6回目	メディアとプロモーションの基本を理解する [演習課題:メディアネットアークの調査]
7回目	ネットを活かしたプロモーション、ホームページとSNSを理解する [演習課題:SNSメディアの調査]
8回目	音楽イベントのマーケットについて知る [演習課題:シンクタンクのレポートを確認する]
9回目	あのアーティストって売れてる?ヒットチャートを理解する [演習課題:ヒットチャート調査のリスト化]
10回目	企画を制作する為に、スタッフについて知る [演習課題:エンドロールの研究]
11回目	集客をビジネス化するには(入場券とプレイガイド)を理解する [演習課題:プレイガイドの研究]
12回目	音楽エンタテインメント業界のビジネスモデルを知る [演習課題:CDのできるまで]
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	<p>(目標①)前提:この授業を受けるには、エンタテインメント業界への興味が不可欠です。さらに流行、芸能ニュース、等について予習が必要です。</p> <p>(目標②)各自の趣味趣向だけにとられず、広くエンタテインメントビジネスについて関わりを持つ心がけが必要です。</p> <p>(目標③)自動車運転免許取得に際し、実際に動かすだけではなく法規が必要なのと同じく、演習前には講義で学習した理論の復習が必要です。</p> <p>(目標④)各講義の内容は関連性を持っていますので、講義の復習が必要です。</p>
評価方法	<p>■出席率 30%</p> <p>■受講態度 30%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】 40%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅 力: イベントビジネスプランニングにおける企画(プランニング)と制作実施をプロデュースする事は、エンタテインメントビジネス業界を目指す究極目標であり、将来にとっても大きなモチベーションとなります。また、この学習を通じてエンタテインメントマーケットの仕組みや、流れの情報を多く知る事で、実務に着いた際にも自信を持って業務に当たる事が出来るでしょう。そしてその成功を掴む為にも身に付けるべき能力の一つです。</p> <p>授業計画: この授業で身に付けた能力を試すものとして、実際のイベントで実習を行います。その必要な理論(知識)は、前半の授業から常に行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書:</p> <p>教 材: インターネット端末「iPad」Apple社製</p> <p>参考書: Musicman エフピー・コミュニケーションズ株式会社 / 『よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編』5th Edition リットーミュージック 他</p>	

科目名 (英)	ビジネスワークショップ II (Business Workshop II)	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	高田 雄貴
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 1・2時限目
【授業の学習内容】							
<p>下記内容について、必須の能力の習得と、その能力を発揮するためのマーケットの関係を実務を通じて身につける為に構成する</p> <p>[1] エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する</p> <p>[2] エンタテインメント業界での音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する</p> <p>[3] エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する</p> <p><講師プロフィール></p> <p>一般社団法人コンサートプロモーターズ協会所属のキョードー東京在籍中より、主業務先は主要放送局(フジテレビ、テレビ朝日、日本テレビ等のテレビ局や新規開局FM局のイベントや音楽番組の制作に関わる。現在、イベント制作会社ビーハイブ代表。</p>							
【到達目標】							
<p>エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識と方法論を修得</p> <p><具体的な目標></p> <p>[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する</p> <p>[2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する</p> <p>[3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する</p>							

授業計画・内容	
1回目	イベントのスタイルとビジネスモデル [演習課題:ACPCの資料を検証]
2回目	企画書作成の準備をする・1 [演習課題:アーティストの調査]
3回目	企画書作成の準備をする・2 [演習課題:夏フェスティバルの調査]
4回目	実在のイベントをモデルに企画書化する・1 [演習課題:夏フェスティバルの調査]
5回目	実在のイベントをモデルに企画書化する・2 [演習課題:モデルタイムテーブルの作成]
6回目	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編 [演習課題:全国のホールを調査する]
7回目	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編 [演習課題:全国のホールを調査する]
8回目	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編 [演習課題:全国のホールを調査する]
9回目	イベント企画の研究 [演習課題:オリンピックについて調査する]
10回目	イベントと法規 [演習課題:消防申請について調査する]
11回目	単体イベントとツアー [演習課題:クリスマスツアーの調査]
12回目	ツアーの企画を立案する [演習課題:交通インフラの調査]
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	<p>(目標①)前提:この授業を受けるには、エンタテインメント業界への興味が不可欠です。さらに流行、芸能ニュース、等について予習が必要です。</p> <p>(目標②)各自の趣味趣向だけにとらわれず、広くエンタテインメントビジネスについて関わりを持つ心がけが必要です。</p> <p>(目標③)自動車運転免許取得に際し、実際に動かすだけではなく法規が必要なと同じく、演習前には講義で学習した理論の復習が必要です。</p> <p>(目標④)各講義の内容は関連性を持っていますので、講義の復習が必要です。</p>
評価方法	<p>■出席率 30%</p> <p>■受講態度 30%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】 40%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅 力: イベントビジネスプランニングにおける企画(プランニング)と制作実施をプロデュースする事は、エンタテインメントビジネス業界を目指す究極目標であり、将来にとっても大きなモチベーションとなります。また、この学習を通じてエンタテインメントマーケットの仕組みや、流れの情報を多く知る事で、実務に着いた際にも自信を持って業務に当たる事が出来るでしょう。そしてその成功を掴む為にも身に付けるべき能力の一つです。</p> <p>授業計画: この授業で身に付けた能力を試すものとして、実際のイベントで実習を行います。その必要な理論(知識)は、前半の授業から常に行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書:</p> <p>教 材: インターネット端末「ipad」Apple社製</p> <p>参考書: Musicman エフ・ビー・コミュニケーションズ株式会社 / 『よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編』5th Edition リットーミュージック 他</p>	

科目名 (英)	ビジネスワークショップⅢ (Business WorkshopⅢ)	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	高田 雄貴
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3、4限
【授業の学習内容】							
<p>下記内容について、必須の能力の習得と、その能力を発揮するためのマーケットの関係を実務を通じて身につける為に構成する</p> <p>[1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画(プランニング)についての知識を用いて、プランニングの学習を行う</p> <p>[2] 音楽ビジネスの企画(プランニング)学習を通じてマーケットリサーチの学習を行う</p> <p>[3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する</p> <p><講師プロフィール></p> <p>一般社団法人コンサートプロモーターズ協会所属のキョードー東京在籍中より、主業務先は主要放送局(フジテレビ、テレビ朝日、日本テレビ等のテレビ局や新規開局FM局のイベントや音楽番組の制作に関わる。現在、イベント制作会社ビーハイブ代表。</p>							
【到達目標】							
<p>エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識をと方法論を修得</p> <p><具体的な目標></p> <p>[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる</p> <p>[2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる</p> <p>[3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる</p>							

授業計画・内容	
1回目	時間の流れを企画する [演習課題:ガントチャート理論を応用し企画立案を行う]
2回目	企画の基本を確認する [演習課題:企画アイデアシートの使用によるチェック]
3回目	企画の準備作業について [演習課題:企画アウトラインを検証する]
4回目	地域催事の企画立案演習・1 [演習課題:地域で行われている年間催事の調査・レポート]
5回目	地域催事の企画立案演習・2 [演習課題:企画提案の可能性を探る]
6回目	野外フェスティバルの企画立案演習・1 [演習課題:今年度開催される野外音楽フェスティバルの調査]
7回目	野外フェスティバルの企画立案演習・2 [演習課題:昨年度開催実績の調査]
8回目	ビジネスモデルと企画 [演習課題:スポーツビジネスの収益性を探る]
9回目	出演者をキャスティングするには [演習課題:音楽事業者協会と音楽制作者連盟についての調査を行う]
10回目	会場のタイプと仕組み [演習課題:公益社団法人 全国公立文化施設協会についての調査を行う]
11回目	季節型催事の企画立案演習・1 [演習課題:レジャー白書の調査]
12回目	季節型催事の企画立案演習・2 [演習課題:マリンスポーツの研究]
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	(目標①)前提:この授業を受けるには、エンタテインメント業界への興味が不可欠です。さらに流行、芸能ニュース、等について予習が必要です。 (目標②)各自の趣味趣向だけにとらわれず、広くエンタテインメントビジネスについて関わりを持つ心がけが必要です。 (目標③)自動車運転免許取得に際し、実際に動かすだけではなく法規が必要なと同じく、演習前には講義で学習した理論の復習が必要です。 (目標④)各講義の内容は関連性を持っていますので、講義の復習が必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	<p>魅 力: イベントビジネスプランニングにおける企画(プランニング)と制作実施をプロデュースする事は、エンタテインメントビジネス業界を目指す究極目標であり、将来にとっても大きなモチベーションとなります。また、この学習を通じてエンタテインメントマーケットの仕組みや、流れの情報を多く知る事で、実務に着いた際にも自信を持って業務に当たる事が出来るでしょう。そしてその成功を掴む為にも身に付けるべき能力の一つです。</p> <p>授業計画: この授業で身に付けた能力を試すものとして、実際のイベントで実習を行います。その必要な理論(知識)は、前半の授業から常に行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書:</p> <p>教 材: インターネット端末「ipad」Apple社製</p> <p>参考書: Musicman エフ・ビー・コミュニケーションズ株式会社 / 『よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編』5th Edition リットーミュージック 他</p>	

科目名 (英)	ビジネスワークショップ IV (Business Workshop IV)	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	高田 雄貴
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3、4限
【授業の学習内容】 下記内容について、必須の能力の習得と、その能力を発揮するためのマーケットの関係を実務を通じて身につける為に構成する [1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画(プランニング)についての知識を用いて、プランニングの学習を行う [2] 音楽ビジネスの企画(プランニング)学習を通じてマーケットリサーチの学習を行う [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する <講師プロフィール> 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会所属のキョードー東京在籍中より、主業務先は主要放送局(フジテレビ、テレビ朝日、日本テレビ等のテレビ局や新規開局FM局のイベントや音楽番組の制作に関わる。現在、イベント制作会社ビーハイブ代表。							
【到達目標】 エンタテインメント業界での音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識をと方法論を修得 <具体的な目標> [1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる							

授業計画・内容	
1回目	ヒットの仕組みを知る [演習課題:昨年飛び出したヒットの研究]
2回目	フェスティバル受けする出演者を知る [演習課題:アーティストのランキングリスト作成]
3回目	同世代の企画を検証する [演習課題:大学リストの作成]
4回目	全国の大学で開催されているイベント(学園祭)を調査する [演習課題:学園祭イベント一覧調査]
5回目	企画を通すには(プレゼンテーション技術) [演習課題:TEDの研究]
6回目	採用された企画を制作する(会議技法) [演習課題:議事録ドリブン演習]
7回目	採用された企画を制作する(ガントチャートによる作業進行管理技法) [演習課題:夏フェス型イベント調査レポート]
8回目	予算の管理を考える [演習課題:機材使用量の調査研究]
9回目	プロモーションについて検証する(広告と広報) [演習課題:CM好感度調査]
10回目	企画における印刷媒体 [演習課題:新聞協会の研究]
11回目	企画は流行を読むことから始まる [演習課題:SMBCコンサルティングの資料を検証]
12回目	スポーツイベントのビジネスモデルを知る [演習課題:東京オリンピック開催概要の調査]
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	(目標①)前提:この授業を受けるには、エンタテインメント業界への興味が不可欠です。さらに流行、芸能ニュース、等について予習が必要です。 (目標②)各自の趣味趣向だけにとらわれず、広くエンタテインメントビジネスについて関わりを持つ心がけが必要です。 (目標③)自動車運転免許取得に際し、実際に動かすだけではなく法規が必要なと同じく、演習前には講義で学習した理論の復習が必要です。 (目標④)各講義の内容は関連性を持っていますので、講義の復習が必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	魅力: イベントビジネスプランニングにおける企画(プランニング)と制作実施をプロデュースする事は、エンタテインメントビジネス業界を目指す究極目標であり、将来にとっても大きなモチベーションとなります。また、この学習を通じてエンタテインメントマーケットの仕組みや、流れの情報を多く知る事で、実務に着いた際にも自信を持って業務に当たる事が出来るでしょう。そしてその成功を掴む為にも身に付けるべき能力の一つです。 授業計画: この授業で身に付けた能力を試すものとして、実際のイベントで実習を行います。その必要な理論(知識)は、前半の授業から常に行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書: 教材: インターネット端末「ipad」Apple社製 参考書: Musicman エフ・ビー・コミュニケーションズ株式会社 / 『よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編』5th Edition リットーミュージック 他	

科目名 (英)	実践ビジネス基礎 I (Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	関口 陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテイメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士(MBA) キッツニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 ①基本的なマーケティングの考え方を理解する ②今日的なビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる ③ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる ④滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる							

授業計画・内容	
1回目	授業ガイダンス
2回目	マーケティングの基礎 4P分析
3回目	マーケティングの基礎 ペルソナ設定
4回目	マーケティングの基礎 3C分析
5回目	マーケティングの基礎 STP戦略
6回目	ディズニービジネス
7回目	飲食ビジネス
8回目	Chat GPT
9回目	特定企業を対象とする研究研究 1
10回目	イベントプランニング1(企画説明)
11回目	イベントプランニング3(プレゼンテーション)
12回目	考課試験(穴埋め)
13回目	試験解答・振り返り
14回目	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ
15回目	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	実践ビジネス基礎Ⅱ (Business Basic)	必修 選択	必修 選択	年次	4	担当教員	関口 陽介
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテイメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士(MBA) キッツニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 ①基本的なマーケティングの考え方を理解する ②今日的なビジネストピックに関する自分なりの意見を持つようになる ③ZOOMを活用したリモートプレゼンテーションができる ④滋慶グループ他校との交流を通して、刺激を受け、授業参画意識を向上させる							

授業計画・内容	
1回目	カスタマージャーニー
2回目	セルフプレゼンテーション1
3回目	Society5.0
4回目	アート思考
5回目	商品開発
6回目	SDGsの時事ネスへの展開
7回目	ビジネス・クリエーション(コンビニ研究)
8回目	スポンサー制度
9回目	広告論
10回目	特定企業を対象とする研究研究2
11回目	スポーツマーケティング
12回目	試験(穴埋め)
13回目	試験解答・振り返り
14回目	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ
15回目	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ
準備学習 時間外学 習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	クリエイティブ映像 I (クリエイティブ映像 I)	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	慶田盛 悠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日・1～2
【授業の学習内容】 映像制作(Premia Pro)を軸にAdobeのアプリケーションの基本や応用の仕方を教え、マネージャーや企画制作に置いてビジュアル的なデザインのセンスや技術の向上を目指す。 前期使用アプリ:Illustrator/Photoshop/Premier Pro							
【到達目標】 映像制作を通して、Adobeツールのビジネス利用や映像・デザインセンスを磨く。 幅の広い映像作品が作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	映像知識授業(使用するアプリケーション、映像に関する基礎授業) 小テスト
2回目	Premia Pro操作方法説明
3回目	ライブ映像編集①(ライブエディット:ツールの使用方法)
4回目	ライブ映像編集②(ライブエディット:ツールの使用方法)
5回目	曲紹介VTR作成①(エフェクト・グレーティングの使用方法)
6回目	曲紹介VTR作成②(エフェクト・グレーティングの使用方法)
7回目	オリジナルMV作成①(映像素材、キーフレームを用いたアニメーション、テキストの使用方法)
8回目	オリジナルMV作成②(映像素材、キーフレームを用いたアニメーション、テキストの使用方法)
9回目	広告動画作成(ポスターデータの動画化方法)
10回目	広告動画作成 応用編①(ポスター作成→映像化)
11回目	広告動画作成 応用編②(ポスター作成→映像化)
12回目	動画配信(OBSを用いた動画配信方法について)
13回目	夏休みの思い出ダイジェスト映像
14回目	ポートフォリオ作成①(前期で作った作品をホームページにまとめる)
15回目	前期のまとめ&作品鑑賞会(総評)
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 PC	

科目名 (英)	クリエイティブ映像 II (クリエイティブ映像 II)	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	慶田盛 悠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜日・1～2
【授業の学習内容】 映像制作(Premia Pro)を軸にAdobeのアプリケーションの基本や応用の仕方を教え、マネージャーや企画制作に置いてビジュアル的なデザインのセンスや技術の向上を目指す。 後期使用アプリ:Illustrator/Photoshop/Premier Pro/Aftereffect							
【到達目標】 映像制作を通して、Adobeツールのビジネス利用や映像・デザインセンスを磨く。 幅の広い映像作品が作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り 小テスト(プレミアプロの使用法や映像知識に関して)
2回目	Aftereffect操作方法説明
3回目	リリックビデオ作成①(文字の分解方法、キーフレームの使用法、エフェクトの使い方について)
4回目	リリックビデオ作成②(文字の分解方法、キーフレームの使用法、エフェクトの使い方について)
5回目	アニメーション作成①(静止画の動かし方:パペットツールの使用法、photoshopとの連携方法)
6回目	アニメーション作成②(静止画の動かし方:パペットツールの使用法、photoshopとの連携方法)
7回目	シェイプモーション(線や図形を用いたアニメーション)
8回目	色んな効果をしろう!(様々なエフェクト紹介)
9回目	プリセットの使い方(プリセットの作成&配布&保存&使用の仕方)
10回目	応用編:本格リリックビデオを作ろう!①
11回目	応用編:本格リリックビデオを作ろう!②
12回目	応用編:本格リリックビデオを作ろう!③
13回目	応用編:本格リリックビデオを作ろう!④
14回目	ポートフォリオ作成②(後期で作った作品をホームページにまとめる)
15回目	後期のまとめ&作品鑑賞会(総評)
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 PC	

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅲ (クリエイティブ映像Ⅲ)	必修 選択	選択必修	年次	3・4	担当教員	慶田盛 悠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日・1～2
【授業の学習内容】 映像制作(Premia Pro)を軸にAdobeのアプリケーションの基本や応用の仕方を教え、マネージャーや企画制作に置いてビジュアル的なデザインのセンスや技術の向上を目指す。 今回は自ら撮影を行い、編集までを行う。 前期使用アプリ:Illustrator/Photoshop/Premier Pro/Aftereffect/Audition/Dreamweaver							
【到達目標】 映像制作を通して、Adobeツールのビジネス利用や映像・デザインセンスを磨く。 幅の広い映像作品が作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	映像知識授業(使用するアプリケーション、映像に関する基礎授業) 小テスト
2回目	ライブ映像を作ってみよう!(バンドのライブ撮影するために事前に準備することや、カメラの使用方法について、グループ分け)
3回目	ライブ映像を作ってみよう!～撮影日～(グループごとにライブ撮影を行う)
4回目	ライブ映像を作ってみよう!～ライブ編集①～(ライブ編集を行う。音に合わせての編集や、カラーグレーディングに関して学ぶ)
5回目	ライブ映像を作ってみよう!～ライブ編集②～(ライブ編集を行う。音に合わせての編集や、カラーグレーディングに関して学ぶ)
6回目	MVを撮ってみよう!～絵コンテを作ろう～(MVを作成するために事前に準備することや、グループ分け、絵コンテ作成)
7回目	MVを撮ってみよう!～事前準備～(演者との打合せや段取りを決める)
8回目	MVを撮ってみよう!～MV撮影①～(ライティングや画角、カメラワークなどを意識して撮影をする。)
9回目	MVを撮ってみよう!～MV撮影②～(ライティングや画角、カメラワークなどを意識して撮影をする。)
10回目	MVを撮ってみよう!～MV編集①～(絵コンテに合わせて編集する。使用アプリ:Premier Pro/Aftereffect)
11回目	MVを撮ってみよう!～MV編集②～(絵コンテに合わせて編集する。使用アプリ:Premier Pro/Aftereffect)
12回目	MVを撮ってみよう!～MV編集③～(絵コンテに合わせて編集する。使用アプリ:Premier Pro/Aftereffect)
13回目	夏休みの思い出ダイジェスト映像2
14回目	ポートフォリオ作成③(前期で作った作品をホームページにまとめる)
15回目	前期のまとめ&作品鑑賞会(総評)
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 PC	

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅳ (クリエイティブ映像Ⅳ)	必修 選択	選択必修	年次	3・4	担当教員	慶田盛 悠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜日・1～2
【授業の学習内容】 映像制作(Premia Pro)を軸にAdobeのアプリケーションの基本や応用の仕方を教え、マネージャーや企画制作に置いてビジュアル的なデザインのセンスや技術の向上を目指す。 今回は自ら撮影を行い、編集までを行う。(応用編) 前期使用アプリ:Illustrator/Photoshop/Premier Pro/Aftereffect/Audition/Dreamweaver							
【到達目標】 映像制作を通して、Adobeツールのビジネス利用や映像・デザインセンスを磨く。 幅の広い映像作品が作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り 小テスト(エフェクトやカメラワークに&照明に関して)
2回目	ゲーム番組を作ってみよう!～事前準備～(配置やセッティングを考え、内容をきめてプレゼンを行う)
3回目	ゲーム番組を作ってみよう!～収録～
4回目	ゲーム番組を作ってみよう!～編集～
5回目	音楽番組配信をしてみよう!～事前準備①～(セッティングや内容、役割を考え、プレゼンで企画を発表)
6回目	音楽番組配信をしてみよう!～事前準備②～(ブッキングなど細かいところを詰める。番組ロゴやテロップの作成等)
7回目	音楽番組配信をしてみよう!～撮影&生配信～(カメラ・配信・スイッチング・進行・テロップ出しなどを行う)
8回目	ロケをしよう!～事前準備～(セッティングや内容、役割を考え、プレゼンで企画を発表)
9回目	ロケをしよう!～撮影～(マイク・照明・カメラ・MCなどを各班に分かれて行う。)
10回目	ロケをしよう!～編集～(マイク・照明・カメラ・MCなどを各班に分かれて行う。)
11回目	アニメーションを用いたホームページを作ろう!①(Dreamweaverの使用)
12回目	アニメーションを用いたホームページを作ろう!②(Dreamweaverの使用)
13回目	ポートフォリオ作成③(前期で作った作品をホームページにまとめ、アニメーションを用いたページの作成)
14回目	思い出動画作成
15回目	後期のまとめ&作品紹介
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 PC	

科目名 (英)	プロデュース&ディレクションワーク I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
	(Produce&Direction Work)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜1・2限目
【授業の学習内容】							
<p>◆種スピードで変化する社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届けるかにも必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。</p> <p>◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。</p> <p>◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起っているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>							
【到達目標】							
<p>■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。</p> <p>■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。</p> <p>■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。</p> <p>■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。</p> <p>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</p> <p>■ゼロから1を作る方法がわかる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	プロデュースとディレクションの意味や実務の基本を理解し、なぜそれが重要なかを学ぶ
2回目	プレゼンについて学び、自分プロデュースのためのプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる
3回目	「ビジョンボード」、「やりたいことリスト100」などを作成し、将来の目標を明確化できるようになる
4回目	エンタテインメントを含む世の中のビジネスの全体像を学び、お金について、仕組みについて理解する
5回目	既存アーティストや商品、サービスの独自のウリ(USP)を学び、プロデュース視点で物事を考えることスキルを学ぶ
6回目	ディレクションのスキル「リスクリバーサル」を学び、相手の立場に立った提案ができるようになる
7回目	事例を基に、プロデュースの基本となる「ジョイントベンチャー(戦略的業務提携)」を学び、あらゆる企画立案ができるようになる
8回目	テレマーケティングを学び、ディレクターとしての交渉術などあらゆるプロジェクトを円滑に進行する力を身につける
9回目	プロデューサーの視点を使って、実際に企画を立てる
10回目	立てた企画を実際にアウトプットして市場の反応を見ながらブラッシュアップすることを学ぶ
11回目	ディレクターの視点を使って、実際に企画したものを制作・運営する
12回目	筆記&実技テスト
13回目	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる
14回目	イベント実習
15回目	イベント実習
準備学習 時間外学 習	<p>目標①:プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。</p> <p>目標②:プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。</p> <p>目標③:プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。</p>
評価方法	<p>■出席率:60%</p> <p>■受講態度:20%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】:20%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅力:プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がきつとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロデュース&ディレクションワーク Ⅱ	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
	(Produce&Direction Work)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜1・2限目
【授業の学習内容】							
<p>◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっていきます。これからは時間や物量で仕事をすることはなく、発想で仕事をやる時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。</p> <p>◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。</p> <p>◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも適用する原理原則があることを勉強します。世の中で起きているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切しながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>							
【到達目標】							
<p>■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。</p> <p>■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。</p> <p>■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。</p> <p>■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。</p> <p>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</p> <p>■ゼロから1を作る方法がわかる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	メディアのプロデュースとディレクションを理解する
2回目	コミュニケーションを学び、ワンランク上のプロデュース力とディレクション力のスキルを身につける
3回目	商品やサービスのキャンペーンの仕組みについて学び、プロデュース力、提案力を身につける
4回目	コピーライティングやブランディングについて学び、視覚的なプロデュースができるようになる
5回目	音楽イベントなどのマーケティングを学び、仕組みや方法をディレクションできるようになる
6回目	ダイレクトメールを学び、ディレクターとしての交渉術などあらゆるプロジェクトを円滑に進行する力を身につける
7回目	お客様について学び、相手の立場を理解し「断る必要のない提案」ができる力を身につける
8回目	お金の基本を学び、お金を集める方法を学び、具体的なプロデュースの実務を学ぶ
9回目	企画書の作り方を学び、具体的にプロデュースしたものを紙に落とし込めるようになる
10回目	実際にプロデュースした案件を実行し、ディレクションできるようになる
11回目	筆記&実技テスト
12回目	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる□
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<p>目標①:プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。</p> <p>目標②:プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。</p> <p>目標③:プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。</p>
評価方法	<p>■出席率:60%</p> <p>■受講態度:20%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】:20%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅力:プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、実例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がきっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロデュース&ディレクションワーク Ⅲ	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
	(Produce&Direction Work)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜1・2限目
【授業の学習内容】							
<p>◆種スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。</p> <p>◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。</p> <p>◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも適用する原理原則があることを勉強します。世の中で起っているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>							
【到達目標】							
<p>■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。</p> <p>■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。</p> <p>■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。</p> <p>■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。</p> <p>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</p> <p>■ゼロから1を作る方法がわかる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「お客様」のことを考える
2回目	資源とニーズを考える
3回目	コミュニケーションスキル①
4回目	コミュニケーションスキル②
5回目	資料から学ぶ
6回目	キャンペーンを作る
7回目	企業への「もしもし」電話実践
8回目	企業とのメールやりとり実践
9回目	企業とのオンラインミーティング
10回目	企画書の構成
11回目	企画書の構成
12回目	企業コラボ実習
13回目	企業コラボ実習
14回目	企業コラボ実習
15回目	イベント実習
準備学習 時間外学 習	<p>目標①:プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。</p> <p>目標②:プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。</p> <p>目標③:プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。</p>
評価方法	<p>■出席率:60%</p> <p>■受講態度:20%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】:20%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅力:プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、実例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がきつとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロデュース&ディレクションワーク IV	必修 選択	必修 選択	年次	4	担当教員	黒須亮成
	(Produce&Direction Work)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜1・2限目
【授業の学習内容】							
<p>◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっていきます。これからは時間や物量で仕事をすることはなく、発想で仕事をやる時代です。競合ではなく協力する考え方が必要のため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。</p> <p>◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。</p> <p>◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも適用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つめ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切しながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>							
【到達目標】							
<p>■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。</p> <p>■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。</p> <p>■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。</p> <p>■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。</p> <p>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</p> <p>■ゼロから1を作る方法がわかる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	コミュニケーションスキル③
2回目	プレゼンテーションスキル
3回目	アンケートを作って分析する
4回目	キャラクタープロデュース(IP)
5回目	プロモーション PRプロデュース
6回目	ビジネスコンテストエントリー
7回目	キャンペーンを作る
8回目	企業への「もしもし」電話実践
9回目	企業とのメールやりとり実践
10回目	企業とのオンラインミーティング
11回目	企業コラボ実習
12回目	企業コラボ実習
13回目	企業コラボ実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<p>目標①:プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。</p> <p>目標②:プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。</p> <p>目標③:プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。</p>
評価方法	<p>■出席率:60%</p> <p>■受講態度:20%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】:20%</p>
受講生への メッセージ	<p>魅力:プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、実例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がきつとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンサート制作 I	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	瀬口照国
	(Concert Production I)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜日 5限
【授業の学習内容】 音楽業界の特にコンサートに関する基本を身につけてもらいための内容を中心に行う。 また今業界が求める人間像とはなど人としての基本的な考えを伝えていく。 また会場及び現場での実習及び予算・プロモーションなども大枠を理解してもらう。 <講師プロフィール> コンサート制作のプロフェッショナル。数々の日本トップクラスアーティストのコンサートを担当、現在では福岡を中心に九州一円でのコンサート・イベント・スポーツなどさまざまな企画・制作・運営するプロモーター、株式会社BASE CAMPの代表を務める。							
【到達目標】 ■ 社会人として、業界人としての考え方や独自で考えることができる。 ■ イベントの組み立て及び実施をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介で興味のあることをこちらが把握。自分をアピールすることができるかなど。
2回目	コンサートができるまでの仕組みと各会社の役割の把握
3回目	コンサートに関する予算の把握。予算主制作のための説明
4回目	コンサートに関する予算の制作と実際の経費との比較
5回目	コンサートにおけるエアプロモーターの役割(実際の公演の手配書を使用しての内容把握)
6回目	BASE CAMPの女性社員をゲストに今まで経験してきた全国制作の内容の説明。
7回目	コンサート他チケットに関する仕組み。ゲストにチケット業界の人を入れて実施
8回目	イベントを企画及び実施するために必要なことの把握
9回目	会場での研修。 マリンメッセの会場見学(会場の中の仕組みなど)
10回目	ライブ及びコンサート会場とエアプロモーターや制作会社との関係
11回目	HOMIに関する役割、そのセクションの内容説明
12回目	前期公演のまとめ、フリーディスカッション。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	コンサート会場の下見や実際の公演での雰囲気味わう。売れているものにはそれなりの理由があり、好き嫌いは別として経験すること。
評価方法	■ 出席率 30% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	社会人になるまでに、いろんなものに興味を持つことが必要です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンサート制作Ⅱ (Concert Production II)	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	瀬口照国
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日 5限
【授業の学習内容】 夏休み含め、現場での経験を多く積ませる。 <講師プロフィール> コンサート制作のプロフェッショナル。数々の日本トップクラスアーティストのコンサートを担当、現在では福岡を中心に九州一円でのコンサート・イベント・スポーツなどさまざまな企画・制作・運営するプロモーター、株式会社BASE CAMPの代表を務める。							
【到達目標】 ■ イベントの組み立て及び実施をすることが出来る。 ■ 社会貢献ミュージカル及び卒業進級制作展で行動・経験をし、社会に出てからの必要とされる人材になる。							

授業計画・内容	
1回目	夏休み期間のエンタメに関して経験したこと、感動したことなどの発表
2回目	ライブハウスのイベント制作に関して生徒に考えさせる。企画を作る
3回目	HOMのチケット関係、スポンサー関係他しんちゅ句儒教の確認とその指導
4回目	音楽フェスの今後の見通しに関して(今年の状況他)
5回目	HOMに関して現場の手配書他資料制作に関して
6回目	ライブハウスイベントの発売、プロモーションのスケジュール制作
7回目	ゲストを招いての音楽番組に関してと今後の音楽プロモーションに関して
8回目	HOMIに関しての発表(チームにて)
9回目	We are FSM プロモーションほか確認
10回目	We are FSM プロモーションほか確認
11回目	We are FSM の現場に関しての確認ほか
12回目	一年の総括。 個人発表。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	コンサート現場に多く参加させたい。
評価方法	■ 出席率 30% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	経験をすること、(情報、分析、戦略、実施までを経験)を中心に恐れず行動してほしい。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マネージャーワークショップ I Manager Workshop I	必修 選択	選択 必修	年次	1・3	担当教員	片桐 豊
学科・コース	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	()	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日・3限目
【授業の学習内容】							
<p>タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合講師プロフィール</p> <p>(株)文化放送開発センター／番組・コンサート・イベント企画制作業務(14年)～(株)トップコート／タレント育成&マネジメント(11年)～現社テライト東京／俳優マネジメント・演劇・映画・ネット番組プロデュース等 ユースをしています</p>							
【到達目標】							
<p>□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る</p> <p>□講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界・エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る</p> <p>□見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる</p> <p>□テレビや映画の作り方の概要を知る</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 この授業で学びたいこと
2回目	業界で働く上で必要な力 自分で考えて動くことの大切さ
3回目	エンタメ業界でクリエイティブを担う人々の感性について 1枚の紙で「天国」と「地獄」を表現する
4回目	マネージャーの仕事① 種類と役割 営業とサポート
5回目	マネージャーの仕事② 契約書からみるタレントと事務所の役割
6回目	社会で必要とされる人格 ① 著名人のエピソード 松坂桃李編 運を惹きつける考え方
7回目	社会で必要とされる人格 ② 著名人のエピソード 山寺宏一／堺雅人編 一緒に仕事をしたいと思う人の行動
8回目	言語化の大切さ 美輪明宏「愛の讃歌」動画を見て感想を伝えよう
9回目	自分の好きなタレントについて語る ①
10回目	自分の好きなタレントについて語る ②
11回目	テレビ番組の作り方 「世界不識発見」を例にキャスティングについて考える□
12回目	ドラマのキャスティングについて 主演がいる事務所と一般の事務所の違いとマネージャーの動き
13回目	前期テスト 口頭試験
14回目	業界(社会)で必要とされる人格③ 著名タレントのエピソード ある俳優の失敗談から学ぶ、マネージャーとしても磨くべきスキルとは
15回目	前期イベント制作・特別授業
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目指す業界に興味をもって日頃から様々なコンテンツを見てください。(TV・映画・コンサート・舞台など) ・実際のタレントを横に置いて行うことは不可能な授業なので、常に自分の中の疑問や想定される質問を考えておいて積極的に質問をしてください。 ・マネージャーはタレントだけでなく作り手やスポンサー、ファンの方々など幅広い方々と接する仕事でありTPOに合わせて言葉を選びながらコミュニケーションを取らねばならない仕事。自分の中の言葉を増やすために、常に読書を(インプット)して、それを授業でアウトプットできるよう、積極的な授業讃歌を望みます。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 50% ■【到達目標に対する達成度】 20%
受講生への メッセージ	<p>エンタメ業界は、キラキラして夢のある世界。そしてこの世界で輝いているのがタレントであり、そのタレントを支えているのがマネージャー。</p> <p>もしかしたら自分に自信がなくて、タレントを支える仕事を選ぼうとしている生徒も多いと思いますが、タレントを支えるだけでなく、導いていくのもマネージャーの仕事。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。</p> <p>メディアでタレントを使う仕事、そして芸能事務所でタレントを育て、マネジメント&プロデュースする仕事に30年以上携わってきたので経験は豊富な講師です(笑)。いろんな疑問をたくさんぶつけて、夢を目標に変え、実現するために一緒に</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マネージャーワークショップⅡ Manager Workshop Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1・3	担当教員	片桐 豊
学科・コース	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	()	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日・3限目
【授業の学習内容】							
<p>タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合講師プロフィール</p> <p>(株)文化放送開発センター／番組・コンサート・イベント企画制作業務(14年)～(株)トップコート／タレント育成&マネジメント(11年)～現社テラライト東京／俳優マネジメント・演劇・映画・ネット番組プロデュース等 ユースをしています</p>							
【到達目標】							
<p>□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る</p> <p>□講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界・エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る</p> <p>□見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる</p> <p>□テレビや映画の作り方の概要を知る</p>							

授業計画・内容	
1回目	俳優のマネジメント 台本を読む。役作りのヒント／キャストニーズを考える。
2回目	適正診断テスト 性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る
3回目	ダンサーなのに！？ なぜTAKAHIROをトップコートでマネジメントしたか タレントとマネージャーの信頼関係について
4回目	タレントという職業を考える 認知をしてもらうための入り口を考える
5回目	新人開発の方法と極意
6回目	おすすめインフルエンサーをプレゼンする ①
7回目	おすすめインフルエンサーをプレゼンする ②
8回目	メディアとの付き合い方 芸能事務所における広報担当者の役割
9回目	情報解禁について タレントのSNSを管理する必要性
10回目	メンタルを強く持つためのヒント。新人タレントに行った壁や緊張を打破するアドバイス。
11回目	2年次に向けての質問会
12回目	口述試験 面接に出るような質問に即興で答える
13回目	挨拶とオーラの話 プロスポーツ選手の日常に学ぶプロ意識
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目指す業界に興味をもって日頃から様々なコンテンツを見てください。(TV・映画・コンサート・舞台など) ・実際のタレントを横に置いて行うことは不可能な授業なので、常に自分の中の疑問や想定される質問を考えておいて積極的に質問をしてください。 ・マネージャーはタレントだけでなく作り手やスポンサー、ファンの方々など幅広い方々と接する仕事でありTPOに合わせて言葉を選びながらコミュニケーションを取らねばならない仕事。自分の中の言葉を増やすために、常に読書を(インプット)して、それを授業でアウトプットできるよう、積極的な授業讃歌を望みます。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 50% ■【到達目標に対する達成度】 20%
受講生への メッセージ	<p>エンタメ業界は、キラキラして夢のある世界。そしてこの世界で輝いているのがタレントであり、そのタレントを支えているのがマネージャー。</p> <p>もしかしたら自分に自信がなくて、タレントを支える仕事を選ぼうとしている生徒も多いと思いますが、タレントを支えるだけでなく、導いていくのもマネージャーの仕事。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。</p> <p>メディアでタレントを使う仕事、そして芸能事務所でタレントを育て、マネジメント&プロデュースする仕事に30年以上携わってきましたので経験は豊富な講師です(笑)。いろんな疑問をたくさんぶつけて、夢を目標に変え、実現するために一緒に</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マネージャーワークショップⅢ Manager Workshop Ⅲ	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	片桐 豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日・3限目
【授業の学習内容】							
<p>タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間形成の一時休みのための授業に努めます。</p> <p>＜講師プロフィール＞ (株)文化放送開発センター／番組・コンサート・イベント企画制作業務 (14年)～(株)トップコート／タレント育成&マネジメント (11年)～現サテライト東京／俳優マネジメント・演劇・映画・ネット番組プロデュース等 ユースをしています</p>							
【到達目標】							
<input type="checkbox"/> タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る <input type="checkbox"/> 講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る <input type="checkbox"/> 見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる <input type="checkbox"/> 番組や舞台、コンサート・ライブ制作に関わる様々な立場の存在を知り、その中で自分が仕事をする将来ビジョンを描けるようになる							

授業計画・内容	
1回目	俳優のマネジメント 台本を読む。役作りのヒント／キャストニーズを考える。
2回目	適正診断テスト 性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る
3回目	ダンサーなのに！？ なぜTAKAHIROをトップコートでマネジメントしたか タレントとマネージャーの信頼関係について
4回目	タレントという職業を考える 認知をしてもらうための入り口を考える
5回目	新人開発の方法と極意
6回目	おすすめインフルエンサーをプレゼンする ①
7回目	おすすめインフルエンサーをプレゼンする ②
8回目	メディアとの付き合い方 芸能事務所における広報担当者の役割
9回目	情報解禁について タレントのSNSを管理する必要性
10回目	メンタルを強く持つためのヒント。新人タレントに行った壁や緊張を打破するアドバイス。
11回目	2年次に向けての質問会
12回目	口述試験 面接に出るような質問に即興で答える
13回目	挨拶とオーラの話 プロスポーツ選手の日常に学ぶプロ意識
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目指す業界に興味をもって日頃から様々なコンテンツを見てください。(TV・映画・コンサート・舞台など) 実際のタレントを横に置いて行うことは不可能な授業なので、常に自分の中の疑問や想定される質問を考えておいて積極的に質問をしてください。 マネージャーはタレントだけでなく作り手やスポンサー、ファンの方々など幅広い方々と接する仕事でありTPOに合わせて言葉を選びながらコミュニケーションを取らねばならない仕事。自分の中の言葉を増やすために、常に読書を(インプット)して、それを授業でアウトプットできるよう、積極的な授業讃歌を望みます。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 50% ■【到達目標に対する達成度】 20%
受講生への メッセージ	<p>エンタメ業界は、キラキラして夢のある世界。そしてこの世界で輝いているのがタレントであり、そのタレントを支えているのがマネージャー。</p> <p>もしかしたら自分に自信がなくて、タレントを支える仕事を選ぼうとしている生徒も多いと思いますが、タレントを支えるだけでなく、導いていくのもマネージャーの仕事。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。</p> <p>メディアでタレントを使う仕事、そして芸能事務所でタレントを育て、マネジメント&プロデュースする仕事に30年以上携わって来ましたので経験は豊富な講師です(笑)。いろんな疑問をたくさんぶつけて、夢を目標に変え、実現するために</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マネージャーワークショップⅣ Manager Workshop IV	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	片桐 豊
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	水曜日・4限5限
【授業の学習内容】							
<p>タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。</p> <p><講師プロフィール>文化放送開発センター／番組・コンサート・イベント企画制作業務（14年）～（株）トップコート／タレント育成&マネジメント（11年） ～現サテライト東京／俳優マネジメント・演劇・映画・ネット番組プロデュース等</p>							
【到達目標】							
<input type="checkbox"/> 自分の強み、弱みを客観的に考えられるようになる。 <input type="checkbox"/> タレントの魅力や特徴を言語化（頭の中で考え、それを誰かに伝える言葉に変えること）ができるようになる。 <input type="checkbox"/> 自分の興味以外のことについても積極的に参加したり触れたりし、それらを情報としてインプット、話題として提供（アウトプット）できるようになる。 <input type="checkbox"/> 自分の考えを伝えるだけでなく、他者の意見も素直に受け入れたり、意見を交わしたりしながら、自分の考えをブラッシュアップできるようになる。 <input type="checkbox"/> 世の中のことに関心をもち、歴史の流れや哲学、科学の視点など多重視点で捉え、人間社会や人間（タレント含む）の感情、あるいは企画の意図などについての深い考察や柔軟かつ幅広い分析ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	芸能界お金事情 事務所・タレントの収入源と事務所経費・Mgのお給料 お金で考えるプロデュースしたいタレント像
2回目	コミュニケーション力について考える 言語は正確に伝え受け取るのに必要、非言語は信頼関係を作る上で必要な表現スキル
3回目	オールドメディア（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌）とネットメディアの関係。これからのエンターテインメントビジネスを考える
4回目	好きなタレント・インフルエンサーをプレゼンする ① 魅力の解析とターゲット層
5回目	好きなタレント・インフルエンサーをプレゼンする ② 魅力の解析とターゲット層
6回目	芸能ニュースや社会で起きている事件についてのディスカッション①～メディア的多重視点（フィロソフィカル・パラダイムレベル・ポリシーレベル）
7回目	芸能ニュースや社会で起きている事件についてのディスカッション②～メディア的多重視点（フィロソフィカル・パラダイムレベル・ポリシーレベル）
8回目	タレントに実際におこなったアドバイスを伝授 ①
9回目	タレントに実際におこなったアドバイスを伝授 ②
10回目	入り口はいろいろ。エンタメに関係するさまざまな職業と夢に近づくための考え方。
11回目	講師が業界で仕事をする上で大切にしてきた9つの姿勢と能力、そして7つの知性。
12回目	後期試験 口述試験
13回目	エンターテインメントに関わる職業人としての転機。とあるディズニーダンサーが実際に経験した心揺さぶるエピソード。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<p>・自分の目指す業界に興味をもって日頃から様々なコンテンツを見てください。（TV・映画・コンサート・舞台など）</p> <p>・実際のタレントを横に置いて行うことは不可能な授業なので、常に自分の中の疑問や想定される質問を考えておいて積極的に質問をしてください。</p> <p>・マネージャーはタレントだけでなく作り手やスポンサー、ファンの方々など幅広い方々と接する仕事でありTPOに合わせて言葉を選びながらコミュニケーションを取らねばならない仕事。自分の中の言葉を増やすために、常に読書を（インプット）して、それを授業でアウトプットできるよう、積極的な授業讃歌を望みます。</p>
評価方法	<p>■出席率 30%</p> <p>■受講態度 50%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】 20%</p>
受講生への メッセージ	<p>エンタメ業界は、キラキラして夢のある世界。そしてこの世界で輝いているのがタレントであり、そのタレントを支えているのがマネージャー。</p> <p>もしかしたら自分に自信がなくて、タレントを支える仕事を選ぼうとしている生徒も多いと思いますが、タレントを支えるだけでなく、導いていくのもマネージャーの仕事。大変なことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。</p> <p>メディアでタレントを使う仕事、そして芸能事務所などでタレントを育て、マネジメント&プロデュースする仕事に30年以上携わってきたので経験は豊富な講師です（笑）。いろんな疑問をたくさんぶつけて、夢を目標に変え、実現するために一緒に真面目かつ楽しく学びましょう！</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	配信技術 I II Broadcast technology	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜 2・3限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	配信の基礎知識(オンデマンドとライブ)、OBSの導入と使用方法
2回目	簡単な配信ライブのセッティング(Roland VR-50HD mk II の使用方法①)
3回目	クロップとクロマキー合成(Roland VR-51HD mk II の使用方法②)
4回目	簡単な配信ライブの本番運営
5回目	中規模な配信ライブのシステム構築(ATEM Studio 使用法、オーディオインターフェースの使用法)
6回目	配信ライブにおけるサウンドミックス① (ライブサウンドの考え方と知識、エフェクター処理)
7回目	配信ライブにおけるサウンドミックス② (マスタリングとラウドネス値)
8回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営①
9回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営②
10回目	ライブにおけるカメラワーク① (ライブ配信におけるカメラワークの考え方と知識、カメラの基本操作)
11回目	ライブにおけるカメラワーク② (フォーカス、色合い、明るさの調整、ズームとパン)
12回目	中規模な配信ライブの収録と配信①
13回目	中規模な配信ライブの収録と配信②
14回目	期末特別授業
15回目	期末特別授業
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	配信技術ⅢⅣ Broadcast technology	必修 選択	選択必修	年次	3.4	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜 2・3限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	収録配信の基礎知識
2回目	収録配信を含むライブ配信のシステム構築
3回目	レイテンシーとリップシンク
4回目	ワイプを使った映像配信① システムの構築と設定
5回目	ワイプを使った映像配信② ゲーム実況におけるシステムの構築
6回目	ワイプを使った映像配信③ eSports大会におけるシステムの構築
7回目	収録配信における映像と音の編集①
8回目	収録配信における映像と音の編集②
9回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築①
10回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築②
11回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営①
12回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営②
13回目	イベント実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	映像制作 I Video Production I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜2、3限
【授業の学習内容】 映像の企画・コンセプトの考えから、コンテンツ制作までを行う。多種多様な映像が溢れている中で、それぞれのメディアに合わせたコンテンツの考え方、表現方法を学び、イメージしているものを映像として表現する力を養う。シナリオの作り方、企画の精度を上げるテクニックを学び、時には優れた映像の構成を分解し、映像を図として捉える。これからの時代に即した、映像表現の力を付けていく。							
【到達目標】 映像制作のコンセプトの考えかたから、絵コンテ、スケジューリング、撮影、編集を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	映像の基礎知識①
2回目	映像理論①（映像構成の仕組み）
3回目	映像理論②（4コマ漫画を描いて、ストーリーの作り方を学ぶ）
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	映像理論④（オリジナルのシナリオ作成）
6回目	映像企画①（企画、コンセプトの考え方）
7回目	映像企画②（字コンテ・絵コンテの書き方）
8回目	映像制作①（チーム編成をし、作りたいものを決める）
9回目	映像制作②（企画、コンセプトを考える）
10回目	映像制作③（絵コンテづくり・撮影準備）
11回目	映像制作④（撮影）
12回目	映像制作⑤（編集）
13回目	映像制作⑥（編集～完成）
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席 【 50% 】 授業態度 【 50% 】
受講生への メッセージ	連続性のある授業なので、欠席しないように心がけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅱ Video Production II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜2、3限
【授業の学習内容】							
<p>映像の企画・コンセプトの考えから、コンテンツ制作までを行う。多種多様な映像が溢れている中で、それぞれのメディアに合わせたコンテンツの考え方、表現方法を学び、イメージしているものを映像として表現する力を養う。シナリオの作り方、企画の精度を上げるテクニックを学び、時には優れた映像の構成を分解し、映像を図として捉える。これからの時代に即した、映像表現の力を付けていく。□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>							
【到達目標】							
映像制作のコンセプトの考えかたから、絵コンテ、スケジューリング、撮影、編集を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	映像制作（チーム編成をし、作りたいものを決める）
2回目	映像制作（企画、コンセプトを考える）
3回目	映像制作（絵コンテづくり・撮影準備）
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	映像制作（編集）
6回目	映像制作（編集～完成）
7回目	映像制作（企画、コンセプトを考える）
8回目	映像制作（絵コンテづくり・撮影準備）
9回目	映像制作（撮影）
10回目	映像制作（編集）
11回目	映像制作（編集～完成）
12回目	イベント実習
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席 【 50% 】 授業態度 【 50% 】
受講生への メッセージ	連続性のある授業なので、欠席しないように心がけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅲ Video ProductionⅢ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜2、3限
【授業の学習内容】 映像の企画・コンセプトの考え方から、コンテンツ制作までを行う。多種多様な映像が溢れている中で、それぞれのメディアに合わせたコンテンツの考え方、表現方法を学び、イメージしているものを映像として表現する力を養う。シナリオの作り方、企画の精度を上げるテクニックを学び、時には優れた映像の構成を分解し、映像を図として捉える。これからの時代に即した、映像表現の力を付けていく。							
【到達目標】 映像制作のコンセプトの考えかたから、絵コンテ、スケジューリング、撮影、編集を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	映像の基礎知識①
2回目	映像理論①（映像構成の仕組み）
3回目	映像理論②（4コマ漫画を描いて、ストーリーの作り方を学ぶ）
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	映像理論④（オリジナルのシナリオ作成）
6回目	映像企画①（企画、コンセプトの考え方）
7回目	映像企画②（字コンテ・絵コンテの書き方）
8回目	映像制作①（チーム編成をし、作りたいものを決める）
9回目	映像制作②（企画、コンセプトを考える）
10回目	映像制作③（絵コンテづくり・撮影準備）
11回目	映像制作④（撮影）
12回目	映像制作⑤（編集）
13回目	映像制作⑥（編集～完成）
14回目	期末特別授業
15回目	期末特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	出席 【 50% 】 授業態度 【 50% 】
受講生への メッセージ	連続性のある授業なので、欠席しないように心がけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作IV Video ProductionIV	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜2、3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>映像の企画・コンセプトの考え方から、コンテンツ制作までを行う。多種多様な映像が溢れている中で、それぞれのメディアに合わせたコンテンツの考え方、表現方法を学び、イメージしているものを映像として表現する力を養う。シナリオの作り方、企画の精度を上げるテクニックを学び、時には優れた映像の構成を分解し、映像を図として捉える。これからの時代に即した、映像表現の力を付けていく。□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>映像制作のコンセプトの考えかたから、絵コンテ、スケジューリング、撮影、編集を行えるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	映像制作（チーム編成をし、作りたいものを決める）
2回目	映像制作（企画、コンセプトを考える）
3回目	映像制作（絵コンテづくり・撮影準備）
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	映像制作（編集）
6回目	映像制作（編集～完成）
7回目	映像制作（企画、コンセプトを考える）
8回目	映像制作（絵コンテづくり・撮影準備）
9回目	映像制作（撮影）
10回目	映像制作（編集）
11回目	映像制作（編集～完成）
12回目	完成作品試写会&反省会
13回目	イベント実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席 【 50% 】 授業態度 【 50% 】
受講生への メッセージ	連続性のある授業なので、欠席しないように心がけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エディティングスキル I Editing Skills I	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜 4限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリクスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像編集の歴史と基本原理①
2回目	映像編集の歴史と基本原理②□
3回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法①
4回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法②□
5回目	プロジェクトの作成と設定①
6回目	プロジェクトの作成と設定②
7回目	カットの種類と効果①
8回目	カットの種類と効果②
9回目	トランジションの使い方と表現効果①
10回目	トランジションの使い方と表現効果②□
11回目	タイミングとリズムの調整①
12回目	タイミングとリズムの調整②
13回目	タイミングとリズムの調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エディティングスキルⅡ Editing Skills Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜 4限

【授業の学習内容】

文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。

<講師プロフィール>

株式会社ヒューマンセントリクスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。

その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。

【到達目標】

情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。

実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。

授業計画・内容

1回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング①
2回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング②
3回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー①
4回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー②
5回目	モニタージュの構築と感情表現①
6回目	モニタージュの構築と感情表現②
7回目	オーディオトラックの追加と編集①
8回目	オーディオトラックの追加と編集②
9回目	レベル調整とミキシング①
10回目	レベル調整とミキシング②
11回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み①
12回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習
時間外学
習

パソコンを使用するの編集作業になります。
普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。

評価方法

- 出席率：40%
- 受講態度：30%
- 【到達目標に対する達成度】：30%

受講生への
メッセージ

映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。
しっかり学習しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	エディティングスキルⅢ Editing Skills Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜 5限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	カラーコレクションとトーン補正①
2回目	カラーコレクションとトーン補正②
3回目	カラーグレーディングの基本技術①
4回目	カラーグレーディングの基本技術②
5回目	色調の統一とムードの演出①
6回目	色調の統一とムードの演出②
7回目	タイトルの追加と編集①
8回目	タイトルの追加と編集②
9回目	テキストアニメーションとエフェクト①
10回目	テキストアニメーションとエフェクト②
11回目	字幕の挿入とタイミング調整①
12回目	字幕の挿入とタイミング調整②
13回目	字幕の挿入とタイミング調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用するの編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エディティングスキルⅣ Editing Skills Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜 5限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリクスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用①
2回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用②
3回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー①
4回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー②
5回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー③
6回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス①
7回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス②
8回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス③
9回目	プリプロダクションとシナリオの分析①
10回目	プリプロダクションとシナリオの分析②
11回目	プロジェクトの組織と管理①
12回目	プロジェクトの組織と管理②
13回目	クライアントのフィードバックと修正
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用するの編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エディティングスキルⅤ Editing Skills Ⅴ	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	マルチカメラの撮影と編集①
2回目	マルチカメラの撮影と編集②
3回目	マルチカメラの撮影と編集③
4回目	マルチカメラの撮影と編集④
5回目	マルチアングルシーケンスの組み立て①
6回目	マルチアングルシーケンスの組み立て②
7回目	マルチアングルシーケンスの組み立て③
8回目	マルチアングルシーケンスの組み立て④
9回目	ライブイベントの編集と配信①
10回目	ライブイベントの編集と配信②
11回目	ライブイベントの編集と配信③
12回目	ライブイベントの編集と配信④
13回目	ライブイベントの編集と配信⑤
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用するの編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エディティングスキルVI Editing Skills VI	必修 選択	選択必修	年次	4年	担当教員	酒見 剛
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像フォーマットと圧縮設定
2回目	映像フォーマットと圧縮設定
3回目	オンラインプラットフォームへのアップロード
4回目	映像制作のポートフォリオ作成
5回目	映像制作のポートフォリオ作成
6回目	映像制作のポートフォリオ作成口
7回目	映像制作のポートフォリオ作成口
8回目	映像制作のポートフォリオ作成口
9回目	卒業制作①
10回目	卒業制作②
11回目	卒業制作③
12回目	卒業制作④
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用するの編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	撮影スキル I Shooting Skills I	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 3・4限
【授業の学習内容】							
カメラの基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで(株)映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】							
カメラの設定、露出、シャッタースピード、ISOなどの基本的な撮影パラメータについて学びながら、実際の撮影演習を通じて実践的なスキルを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	カメラの種類と機能の理解①
2回目	カメラの種類と機能の理解②
3回目	カメラの種類と機能の理解③
4回目	カメラの設定と操作方法①
5回目	カメラの設定と操作方法②
6回目	カメラの設定と操作方法③
7回目	露出とシャッタースピードの制御①
8回目	露出とシャッタースピードの制御②
9回目	露出とシャッタースピードの制御③
10回目	フレーミングと構図の基本
11回目	光の理論と特性①
12回目	光の理論と特性②
13回目	自然光と人工光の利用
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	
映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	撮影スキルⅡ Shooting Skills Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 3・4限
【授業の学習内容】 撮影技法や構図の基本的な原則について学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで(株)映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 適切なフレーミング、アングル、カメラ移動、レンズ選択などを通じて、映像や写真の効果的な表現方法を身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	色温度とホワイトバランスの調整①
2回目	色温度とホワイトバランスの調整②
3回目	色温度とホワイトバランスの調整③
4回目	色彩表現と色彩理論①
5回目	色彩表現と色彩理論②
6回目	ライブイベントや風景の撮影①
7回目	ライブイベントや風景の撮影②
8回目	ライブイベントや風景の撮影③
9回目	ポートレートの撮影①
10回目	ポートレートの撮影②
11回目	イメージストーリーテリングの実践①
12回目	イメージストーリーテリングの実践②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	撮影スキルⅢ Shooting Skills Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 3・4限
【授業の学習内容】 撮影技法や構図の基本的な原則について学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで(株)映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 適切なフレーミング、アングル、カメラ移動、レンズ選択などを通じて、映像や写真の効果的な表現方法を身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	シーンの選択とショットリストの作成①
2回目	シーンの選択とショットリストの作成②
3回目	動撮影と追尾撮影の技術①
4回目	動撮影と追尾撮影の技術②
5回目	動撮影と追尾撮影の技術③
6回目	スローモーションとタイムラプスの撮影①
7回目	スローモーションとタイムラプスの撮影②
8回目	背景と深度の制御①
9回目	背景と深度の制御②
10回目	照明の基本と照明機材の使用①
11回目	照明の基本と照明機材の使用②
12回目	シンプルな3ポイントライティング①
13回目	シンプルな3ポイントライティング②
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	撮影スキルⅣ Shooting Skills Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 3・4限
【授業の学習内容】 光の理論と照明技術について学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 自然光や人工照明の利用方法、照明機材の選択と配置、光の品質や色温度の調整など、 撮影における照明の重要性と技術を習得します。							

授業計画・内容	
1回目	スタジオ照明と屋外照明の比較①
2回目	スタジオ照明と屋外照明の比較②
3回目	照明の効果と表現手法①
4回目	照明の効果と表現手法②
5回目	グループプロジェクトによる撮影課題①
6回目	グループプロジェクトによる撮影課題②
7回目	グループプロジェクトによる撮影課題③
8回目	ストーリーボードとプリプロダクションの計画①
9回目	ストーリーボードとプリプロダクションの計画②
10回目	ストーリーボードとプリプロダクションの計画③
11回目	編集とポストプロダクションの基礎①
12回目	編集とポストプロダクションの基礎②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	撮影スキルV Shooting Skills V	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 火曜 5・6限
【授業の学習内容】 実際のプロジェクトに取り組みながら撮影スキルを学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで(株)映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 映画、ドキュメンタリー、広告、ミュージックビデオなど、さまざまなジャンルのプロジェクトに参加し、 撮影計画、撮影演出、編集とポストプロダクションまでのプロセスを実践的に学びます。							

授業計画・内容	
1回目	映画撮影、ドキュメンタリー、広告、ポートレートなどの分野別の授業①
2回目	映画撮影、ドキュメンタリー、広告、ポートレートなどの分野別の授業②
3回目	映画撮影、ドキュメンタリー、広告、ポートレートなどの分野別の授業③
4回目	映画撮影、ドキュメンタリー、広告、ポートレートなどの分野別の授業④
5回目	映画撮影、ドキュメンタリー、広告、ポートレートなどの分野別の授業⑤
6回目	専門的な撮影技術と表現方法の研究①
7回目	専門的な撮影技術と表現方法の研究②
8回目	専門的な撮影技術と表現方法の研究③
9回目	専門的な撮影技術と表現方法の研究④
10回目	ゲスト講師による業界の実践者からの講義やワークショップ①
11回目	ゲスト講師による業界の実践者からの講義やワークショップ②
12回目	ゲスト講師による業界の実践者からの講義やワークショップ③
13回目	ゲスト講師による業界の実践者からの講義やワークショップ④
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	撮影スキルVI Shooting Skills VI	必修 選択	選択必修	年次	4年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 火曜 5・6限
【授業の学習内容】 実際のプロジェクトに取り組みながら撮影スキルを学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで(株)映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 映画、ドキュメンタリー、広告、ミュージックビデオなど、さまざまなジャンルのプロジェクトに参加し、 撮影計画、撮影演出、編集とポストプロダクションまでのプロセスを実践的に学びます。							

授業計画・内容	
1回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施①
2回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施②
3回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施③
4回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施④
5回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施⑤
6回目	学生個々の撮影プロジェクトの計画と実施⑥
7回目	ポートフォリオの作成とレビュー①
8回目	ポートフォリオの作成とレビュー②
9回目	ポートフォリオの作成とレビュー③
10回目	ポートフォリオの作成とレビュー④
11回目	卒業制作の発表と評価①
12回目	卒業制作の発表と評価②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考えることが必要です。
評価方法	■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します。 また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	映像概論 I Introduction to Video I	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 4限

【授業の学習内容】

映画や映像の歴史、技術、理論などについての基礎知識を学び、映像作品を理解するための基盤を構築します。

<講師プロフィール>

1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。

1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。

【到達目標】

映画や映像に対する洞察力や批判的思考を養い、

映像作品をより深く鑑賞し、制作する能力を向上させることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	映画の起源と初期の映画技術
2回目	サイレント映画時代からトーキー映画、デジタル映画までの変遷
3回目	ショットの種類と構図の基本①
4回目	ショットの種類と構図の基本②
5回目	編集のテクニックと映像のリズム①
6回目	編集のテクニックと映像のリズム②
7回目	異なる映画理論のアプローチと批評の手法①
8回目	異なる映画理論のアプローチと批評の手法②
9回目	映像の文化的な意義と社会的な影響①
10回目	映像の文化的な意義と社会的な影響②
11回目	プリプロダクションの計画と準備①
12回目	プリプロダクションの計画と準備②
13回目	プリプロダクションの計画と準備③
14回目	作品制作
15回目	作品制作

準備学習
時間外学習
映画等の作品を、いろんなところを意識して観覧してください。

評価方法
■ 出席率：40%
■ 受講態度：30%
■ 【到達目標に対する達成度】：30%

受講生への
メッセージ
映像に関する基本的な考え方や知識を身につけ、業界に出ても恥ずかしくない人になれるように頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	映像概論Ⅱ Introduction to Video Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	石田 尚之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 4限
【授業の学習内容】 映画や映像の歴史、技術、理論などについての基礎知識を学び、映像作品を理解するための基盤を構築します。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 映画や映像に対する洞察力や批判的思考を養い、 映像作品をより深く鑑賞し、制作する能力を向上させることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	撮影、編集、ポストプロダクションの基本的なプロセス①
2回目	撮影、編集、ポストプロダクションの基本的なプロセス②
3回目	異なる映像ジャンルの特徴と表現方法①
4回目	異なる映像ジャンルの特徴と表現方法②
5回目	スタイルの変遷と映画の進化①
6回目	スタイルの変遷と映画の進化②
7回目	映像と社会文化の関係と相互影響
8回目	映像が伝えるメッセージや社会的な意味
9回目	学生のプロジェクトによる実践的な演習①
10回目	学生のプロジェクトによる実践的な演習②
11回目	学生のプロジェクトによる実践的な演習③
12回目	プロジェクトの計画、撮影、編集、発表
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	映画等の作品を、いろんなところを意識して観覧してください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像に関する基本的な考え方や知識を身につけ、業界に出ても恥ずかしくない人になれるように頑張りましょう。□
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像ディレクション I Video Direction I	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 月曜 5・6限
【授業の学習内容】							
<p>学生にストーリーテリングの重要性を学び、映像ディレクションにおいて効果的なストーリーの構築と伝達能力を養います。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。</p>							
【到達目標】							
映像制作の基本的なプロセスと技術について理解し、映像ディレクションに必要なスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	映像ディレクションの役割と責任
2回目	映像ディレクターのスキルと資質
3回目	ストーリーボードの作成とプランニング①
4回目	ストーリーボードの作成とプランニング②
5回目	キャスティングとリハーサルの準備①
6回目	キャスティングとリハーサルの準備②
7回目	カメラの使い方と撮影テクニック
8回目	アクターへの指導と演出の基本①
9回目	アクターへの指導と演出の基本②
10回目	編集ソフトウェアの使用と基本的な編集技術①
11回目	編集ソフトウェアの使用と基本的な編集技術②
12回目	サウンドデザインとモーショングラフィックスの導入①
13回目	サウンドデザインとモーショングラフィックスの導入②
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作口
準備学習 時間外学 習	映像表現の可能性を広げるために、さまざまな種類の映像作品を観覧してください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像ディレクションの基本的な原則と技術を習得し、クリエイティブな映像作品を制作する能力や映像制作プロセスの実践的な知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像ディレクションⅡ Video DirectionⅡ	必修 選択	選択必修	年次	4年	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 月曜 5・6限
【授業の学習内容】							
<p>学生にストーリーテリングの重要性を学び、映像ディレクションにおいて効果的なストーリーの構築と伝達能力を養います。</p> <p><講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。</p> <p><講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。 映像制作の基本的なプロセスと技術について理解し、映像ディレクションに必要なスキルを身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	グループによる短編映像の制作とディレクション①
2回目	グループによる短編映像の制作とディレクション②
3回目	グループによる短編映像の制作とディレクション③
4回目	映像のストーリーテリングと演出の実践①
5回目	映像のストーリーテリングと演出の実践②
6回目	異なる映画理論のアプローチと映画ディレクションの関連性
7回目	有名な映画ディレクターの作品分析と批評
8回目	グループによる長編映画の制作とディレクション①
9回目	グループによる長編映画の制作とディレクション②
10回目	グループによる長編映画の制作とディレクション③
11回目	プロジェクト管理とチームワークの重要性
12回目	映画制作の全体プロセスの実践と発展
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	映像表現の可能性を広げるために、さまざまな種類の映像作品を観覧してください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率：40% ■ 受講態度：30% ■ 【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像ディレクションの基本的な原則と技術を習得し、 クリエイティブな映像作品を制作する能力や映像制作プロセスの実践的な知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ミュージックセオリー II Music Theory II	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	坂本 かおり
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を得る。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	<移調> 5線を用いて移調をできるようになる
5回目	<奏法> 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	復習・解説
8回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造について知る
9回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
10回目	<dim7と7thコードの復習> トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
11回目	<その他のコード> add9,sus4,6thコードについて知る
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	コードについてのプリントで宿題がです。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	森山 陽介
	Music TheoryⅢ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 メジャーダイアニックコードからマイナーダイアニックコードまでと、マイナーキーにおけるケーデンスまで。							

授業計画・内容	
1回目	<メジャーダイアニックコード> ダイアニックコードについて、コードネームとディグリーネームを書けるようにする
2回目	<メジャーダイアニックコードの機能> 各機能の意味を知る、主要和音、代理和音について
3回目	<ケーデンス> 終止形、ドミナントモーション、Ⅱ V、セカンダリドミナント、偽終始について
4回目	<転回形> 転回形の表記方法 ト音記号を用いた簡単なヴォイスング
5回目	<ヴォイスング、複合拍子> ケーデンスを実際に5線紙に書いてみる、8分の6拍子について詳しく学ぶ
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<マイナーダイアニックコード> マイナーダイアニックコードの仕組み
9回目	<マイナーダイアニックコード> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアニック
10回目	<マイナーダイアニックコードの機能> マイナーコードが持つ機能について知る
11回目	<ヴォイスング> マイナーキーにおけるケーデンスについて知る
12回目	<スコアラーディング> 楽譜と音源を用いて後半の総復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	どんどん難しくなりますが、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅣ Music TheoryⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	森山 陽介
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 テンションの入るコード・ノンダイアトニックコードの入るコード進行の分析などが行えるようになる コード進行とスケールの関係を理解する							

授業計画・内容	
1回目	<ノンコードトーン> ノンコードトーン(経過音、刺繍音、掛留音、先取音、逸音)
2回目	<テンション> テンションの種類、コード使用可能テンション
3回目	<テンションリゾルブ> テンションの解決法、Omitの意味
4回目	<アベイラブルノートスケール> コードトーン、テンション、阿保井戸ノートについて、スケールの使い方について
5回目	<その他のスケール> マイナーのアベイラブルの紹介、ドミナントスケール、その他のスケール
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
9回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
10回目	<クリシェ、バッシング、定番コードパターン> クリシェ、バッシングコードの手法を学び、コードパターンを発展させる
11回目	<転調> 転調のパターンを知り、実践する
12回目	<アナライズ*> 楽譜を用い、総復習を行う
13回目	テスト対策
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です、頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ Ear TrainingⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	坂本 かおり
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コードを聞きとる力、メロディを書きとる力を養い、実践に生かすこと。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> リズム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	<マイナースケール> リズム、3連譜の導入、メロディ復習C～Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC,F,Gの聞きわけ
3回目	<近親調> リズムC,F,Gコード付け導入、後付け、メロディC～Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	<移調>リズム 1 6分8分1 6分の導入、メロディC～Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	<奏法> リズム符点8分1 6分の導入、タイの導入、後付け、メロディC～Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	<中間テスト>
7回目	<復習・解説>
8回目	<コード> リズム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャーマイナーの聞きわけ
9回目	<コード4和音> リズム8分の6拍子、8分1 6分1 6分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
10回目	<Dim7と7thコード復習> リズム1 6分休符の導入、8分の6拍子、1 6、1 6、8分の導入、2声メロディ聞きとり
11回目	<その他のコード> 復習リズム打ち8分の6拍子、3連譜の導入、2声メロディ、音程ドリル復習
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	特にはなし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどんどんできてきます、お楽しみに！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅢ Ear TrainingⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	未永 龍一
学科・コース	スパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 Et I、Ⅱをふまえて2声メロディ、ハーモニー、1, 3, 4, 5, 6, 7, 8、度音程、コード進行、タイ、臨時記号付きなどより難易度が高い聴きとり、書きとりをできるようにすること。							

授業計画・内容	
1回目	リズム4分の4、4分の3拍子の聴きとり、8分の6拍子のリズム打ち。メロディ1オクターブと2声メロディ書きとり。
2回目	リズム打ち8分の6拍子、メロディは1オクターブ+低音B、Cmの聴きとり、2声ハーモニーの導入、3度音程のハーモニー練習、I IV Vの進行
3回目	リズム4分の4、4分の3のタイ付き、8分の6書きとり、2声ハーモニーと3度の音程、I IV Vの進行その②
4回目	リズム4分の4、4分の3に1 6分音符の導入、メロディは1オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、トライトーンハーモニーの練習
5回目	リズム4分の4、4分の3に1 6分音符、タイの導入、メロディは2オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、2声ハーモニーの練習
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	リズム4分の4、4分の3、8分の6、メロディはKeyF、2声。ハーモニーの復習、コードⅡ V Iの聴きとり
9回目	8分の6、タイ付きリズム導入、メロディはKeyF、2声メロディ、ハーモニー復習
10回目	リズムはそれぞれにタイと符点付き、メロディは1 6分音符を導入、2声ハーモニーはオクターブとユニゾン練習
11回目	タイ付きリズム書きとり、2声ハーモニーの復習
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学 習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	より専門的な勉強です。基礎をしっかり学びましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅣ Ear TrainingⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	未永 龍一
学科・コース	スパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 スコアをみた段階で歌えたり、コード進行を考えたり、自分の音楽に対して有効な基礎を生分集大成。							

授業計画・内容	
1回目	リズム 4分の4、4分の3、8分の6拍子復習、メロディはKEY=G。8分の6メロディ視唱、2声メロディは1 6分3連譜導入
2回目	リズム4分の4、4分の3、8分4分8分の導入、この週から8分の6はメロディ問題と統合、2声メロディ、ハーモニー復習、コード聞き分け
3回目	リズム4分の4、4分の3、メロディ聞き分け、視唱、コードⅡⅤⅠの聞き分け
4回目	リズム4分の4、4分の3、1 6分、符点8分の導入、8分の6メロディ聞きとり、2声ハーモニー復習、コードⅥを含む聞き分け
5回目	リズム4分の4、復習、4分の3、1 6分8分の6メロディ聞き分け、視唱、KEY=Gの聞き取り、コードⅡⅤⅠ聞き分け
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	タイ付きリズム導入、2拍程度の短いフレーズで8分の6拍子、KEY=Fメロディ、2声メロディ復習、2声ハーモニー復習
9回目	リズム4分の4、4分の3、符点4分8分の導入、1 6分8分の6復習、視唱、KEY=F復習、オクターブとユニゾンハーモニー練習
10回目	スコアリーディング①
11回目	スコアリーディング②
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です。プロへの道としてしっかり学びましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	ダンスベーシック I	必修 選択	選択 必修	年次	1年	担当教員	山炭 裕輝
	Dance Basic I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スポーツ・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
<p>まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体はどこにどの様になっているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディーケアに繋がっていきたいと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋がって行くように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。 (講師) 熊本県小国中学校柔道部指導・スポーツクラブ、ジムにてトレーニング指導。</p>							
【到達目標】							
<p>①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかりと理解し日頃から行う知識、技術を習得する。</p> <p>②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション (これからのボディコンディショニング) について
2回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう①
3回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
4回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
5回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
6回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
7回目	適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとパリスティックストレッチ
8回目	トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？ 可動域を先につけることの理由についてメリット&デメリット
9回目	コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する
10回目	実は見逃しがち。足の裏（足底）が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング
11回目	体幹は腹筋だけでは不可欠？ アウターマッスルとインナーマッスルについて
12回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう①
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験・評価
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のために思い頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅡ Dance Basic II	必修 選択	選択 必修	年次	1年	担当教員	山炭 裕輝
学科・コース	スパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
<p>後期では前期で習得した（セルフストレッチ・コンディショニング）の他に怪我をしない身体作り（予防医学）に方向を向けて授業を進めます。特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。</p>							
【到達目標】							
<p>①食事・栄養管理など自分には何が必要なか理解し自分自身の健康を管理できる。</p> <p>②ダンスなどに必要な（トレーニング・セルフストレッチ）を習得し実践できるスキルを身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～
2回目	食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動3割食事7割～
3回目	食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～
4回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～
5回目	セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット
6回目	ペアトレーニングで効果+強度upできる！注意すべき点とメリット・デメリット
7回目	ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて
8回目	睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか？～
9回目	運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけません～
10回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成しよう②～全体を通しての組みなおし～
11回目	トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し
12回目	実技試験・評価
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅢ Dance BasicⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2年	担当教員	山炭 裕輝
学科・コース	スポーツ・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日 (2限目)
【授業の学習内容】							
<p>1年次に学んだ内容を復習し今後、業界で必要とされるダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を中心に強化しパフォーマンスUPはもちろん怪我をしない身体作りを行い、自主的にできるように繰り返し行いながらスキルを身につけていく。その他にもボディスタイルを整える、維持するための知識なども同時に身につける。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・前期の授業が終了するまでにダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を80%理解し実践できるようになる。 ・ボディスタイルなども自己管理することができオーディションなどで必要とされる身体作りの知識を習得する。 							

授業計画・内容	
1回目	目標設定と今後の授業の進め方について
2回目	スキルチェック①（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	食事の管理を行う①（現在食べている食事について見直そう）
8回目	スキルチェック②（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
9回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える①
10回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える②
11回目	睡眠の管理を行う①（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
12回目	前期最終スキルチェックに向けての応用
13回目	スキルチェック③（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
14回目	後期に向けて前期の振り返り～どう成長したか今後の目標について～
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	・パフォーマンスUPするには見えない所での自分に対して、ケアやリラクゼーションにどれだけの時間を使えるかだと思います。授業で学んだ事はまず一度、自分に合うものが復習する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	いよいよ2年生の授業がスタートです！この1年でたくさんのスキルを身につけて業界で活躍できるダンサー・アーティストを目指そう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅣ Dance BasicⅣ	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	山炭 裕輝
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>業界で必要とされるためのスキルを完全に取得し、卒業して即戦力で活動できるように仕上げていく！また前期に目標を立てその目標に到達できるよう1年から学んだ内容を復習し自分に必要なストレッチ・栄養・睡眠など100%理解する。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・業界で必要とされるためのスキルを身につけて自信を持って業界で活動できる様になる。 ・1年次を含めストレッチ・栄養管理・睡眠を100%理解できるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	スキルチェック④（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
2回目	後期の目標設定と今後の授業の進め方について
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	スキルチェック⑤（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
8回目	食事の管理を行う②（現在食べている食事について見直そう）
9回目	睡眠の管理を行う②（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
10回目	最終スキルチェックに向けての応用・確認
11回目	最終スキルチェック⑥（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
12回目	年間を通しての振り返り、目標達成できたか
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	スキルテストなどをスポットで入れてますのでそれに対応できるように常に自己管理を行いましょう！
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	さて後期のスタートです！残り少ない学校生活、怪我のなくイベントなどにも率先して取り組み素晴らしいダンサー・アーティストとして卒業しよう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンス I Dance Advance I	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	te2
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】							
<p>ファンデーションをメインにしたルーティンや作品制作。同時にフィジカルやミュージカリティが身につく筋トレ、リズム遊び、音楽知識を学ぶ。</p> <p>(講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在任しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。</p>							
【到達目標】							
ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーションを丁寧に。分解、反復の理論
2回目	リズムの解説。右脳と左脳で理解できるように
3回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
4回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
5回目	体重移動の基礎。バランスの取り方
6回目	ヒップホップで使われるステップと90年代の曲
7回目	ウェーブの分解と練習方法
8回目	ストップ、ヒット、エアーのニュアンスと使いどころ
9回目	フリースタイル発表
10回目	ハイテンポの曲にたいするステップの運び方
11回目	ターンを数種類じっくり
12回目	自主制作コンテスト
13回目	コンテスト発表
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	好きという気持ちを忘れないために反復の楽しさを覚えましょう。それをわかりやすく教えるので安心してください！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅡ Dance AdvanceⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	te2
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】							
<p>オールドスクールを中心とした半年間。またダンスの関わり方の可能性を伝えます。</p> <p>(講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在任しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。</p>							
【到達目標】							
ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ブーガリーの基礎
2回目	ヒットとブーガリーをリズムに合わせて踊れるように
3回目	ロックダンスのファンデーション1
4回目	ロックダンスのファンデーション2
5回目	ロックダンスのファンデーション3
6回目	70年代の曲とロックダンスの関係、歴史
7回目	waackの基礎
8回目	waackのバリエーション
9回目	soulダンスのイロハ
10回目	soulダンスと現代音楽との混ぜ方
11回目	邦楽をカッコよく振付する方法
12回目	まとめテスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	知らない事は当たり前なので、知ろうとしてください。分からないものを分からないままにしない。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅢ Dance AdvanceⅢ	必修 選択	選択必修	年次	4年	担当教員	藤石 夏菜
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜2限目
【授業の学習内容】							
ストレッチ、筋カトレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。							
【到達目標】							
現時点の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、ストレッチ、筋カトレーニング
2回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア
3回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア
4回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
5回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
6回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
7回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
8回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
9回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
10回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
11回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
12回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
13回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
14回目	まとめ・前期試験
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	授業内で次回までの課題を出します。
評価方法	出席率(50%)授業態度(50%)
受講生への メッセージ	ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅣ Dance AdvanceⅣ	必修 選択	選択必修	年次	4年	担当教員	藤石 夏菜
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限目
【授業の学習内容】							
ストレッチ、筋カトレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。							
【到達目標】							
現時点の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
2回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
3回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
4回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
5回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
6回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
7回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
8回目	ストレッチ、筋カトレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
9回目	授業内での作品制作
10回目	授業内での作品発表
11回目	コンビネーション、リハーサル
12回目	コンビネーション、リハーサル
13回目	コンビネーション、リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	授業内で次回までの課題を出します。
評価方法	出席率(50%)授業態度(50%)
受講生への メッセージ	ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マルチパフォーマンス I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山崎 結
	Multi Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
自分の理想の歌声に向かって、なぜヴォイストレーニングをする必要なのかを理解し、発声の基本項目を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール）
2回目	発声①＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（表情筋）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（声帯周りの筋肉をストレッチする）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山崎 結
	Multi Performance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。</p>							
【到達目標】							
<p>発声の基本項目+新しいアプローチ方法を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤ (共鳴)、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習 & チェック+ 課題曲⑤復習
3回目	発声①②③④⑤復習 & チェック+ 課題曲⑤復習
4回目	発声①②③④⑤⑥ (裏声) + 課題曲⑥復習
5回目	発声①②③④⑤⑥復習 & チェック+ 課題曲⑥復習
6回目	発声①②③④⑤⑥復習 & チェック+ 課題曲⑥復習
7回目	発声①復習 & 様々なスケール + 課題曲⑦レクチャー
8回目	発声①復習 & チェック+ 課題曲⑦復習
9回目	発声①復習 & チェック+ 課題曲⑦復習
10回目	発声①②③④⑤⑥総復習、発表会に向けて選曲してみよう
11回目	発声レベルチェックテスト+ 発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り (自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 授業へ取り組む姿勢 30% ■ 発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	<p>取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>歌詞、課題音源、iPad、録音機材 (ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具</p>	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎 結
	Multi Performance Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分のアプローチ方法を増やし、より細かく学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
基本的な発声+アプローチ方法を取得し、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）+課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習&チェック+課題曲①復習
4回目	発声①復習&チェック+課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）+課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習&チェック+課題曲②復習
7回目	発声①②復習&チェック+課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする）+課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習&チェック+課題曲③復習
10回目	発声①②③復習&チェック+課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習&チェック+課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習&チェック+課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎 結
	Multi Performance Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
<p>自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法4項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。</p> <p>((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。</p>							
【到達目標】							
基本的な発声+様々なスケール感の中で実践する事ができ、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤(裏声)、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習&様々なスケール+課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習&チェック+課題曲⑥復習
6回目	発声②復習&様々なスケール+課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習&チェック+課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③復習&母音を変えてみよう+課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③復習&チェック+課題曲⑧復習
10回目	発声復習&チェック+課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト+発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り(自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材(ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスV	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山崎 結
	Multi Performance VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より発声の質をあげていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール))							
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋：マイナースケール）＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音：マイナースケール）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする：母音を変えて）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴：マイナースケール）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みむほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスVI		必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山崎 結
	Multi Performance IV		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
<p>自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法 4 項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。</p> <p>((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。</p>								
【到達目標】								
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来、シンプルなスケールから発声 + ピアノを演奏しながら実践することが出来る。								

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤（裏声：母音を変えて）、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習 & チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習 & チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習 & チェック + 課題曲⑥復習
6回目	発声②復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習 & チェック + 課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③④復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③④復習 & チェック + 課題曲⑧復習
10回目	発声⑤復習 & チェック + 課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト + 発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 授業へ取り組む姿勢 30% ■ 発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山崎 結
	Multi PerformanceⅦ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
3年間学んだ発声を、他者にも教える事が出来るように項目を再度確認しながら、実際にピアノでスケールやコードを弾きながら発声の質をあげていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
ピアノでスケールやコード弾きながら、質の高い発声を実践することが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋：ピアノ演奏）
2回目	発声①復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲①復習
4回目	発声①復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音：ピアノ演奏）+課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲②復習
7回目	発声①②復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする：ピアノ演奏）+課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲③復習
10回目	発声①②③復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴：ピアノ演奏）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習&チェック：ピアノ演奏+課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山崎 結
	Multi PerformanceⅧ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
3年間学んだ発声を、他者にも教える事が出来るように項目を再度確認しながら、実際にピアノでスケールやコードを弾きながら発声の質をあげていく。発声の各項目を再度確認しながら他者へ説明を試みる。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
ピアノでスケールやコード弾きながら、質の高い発声を実践することが出来、発声の各項目を自分自身の言葉で他者へ説明する事ができる。							
授業計画・内容							
1回目	発声①②③④⑤ (裏声：ピアノ演奏) + 課題曲⑤レクチャー						
2回目	発声①②③④⑤復習 & チェック：ピアノ演奏 + 課題曲⑤レクチャー						
3回目	発声①②③④⑤復習 & チェック：ピアノ演奏 + 課題曲⑤レクチャー						
4回目	発声①復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑥レクチャー						
5回目	発声①②復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑥復習						
6回目	発声②③復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑦レクチャー						
7回目	発声②③復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑦レクチャー						
8回目	発声③④復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑧レクチャー						
9回目	発声③④復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑧復習						
10回目	発声⑤復習 & 発声の要点や注意点を説明してみよう + 課題曲⑧復習						
11回目	発声レベルチェックテスト + 発表会に向けて						
12回目	発表会、後期振り返り (自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)						
13回目	卒業進級制作リハーサル						
14回目	卒業進級制作リハーサル						
15回目	卒業進級制作本番						
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 授業へ取り組む姿勢 30% ■ 発声レベルの達成度、実践度 30% 						
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞、課題音源、iPad、録音機材 (ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具							

科目名 (英)	ダンススタイル I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	TOSHI
	Dance Style I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	金曜 5限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 ブレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（ブレイキン） (講師) USJ振付担当							
【到達目標】 フロアでのボディーコントロール習得。 ブレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
2回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
3回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
4回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
5回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ① 振り付け
6回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ② 振り付け
7回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ③ 振り付け
8回目	フットワーク、フリーズ ① 振り付け
9回目	フットワーク、フリーズ ② 振り付け
10回目	フットワーク、フリーズ ③ 振り付け
11回目	フットワーク組み立て ① 振り付け
12回目	フットワーク組み立て ② 振り付け
13回目	フットワーク組み立て ③ 振り付け
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンススタイルⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	TOSHI
	Dance StyleⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日、5限
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】							
ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 プレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（プレイキン） （講師）USJ振付担当							
【到達目標】							
フロアでのボディーコントロール習得。 プレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ①
2回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ②
3回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ③
4回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ① 振り付け
5回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ② 振り付け
6回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ③ 振り付け
7回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ④ 振り付け
8回目	即興でソロで踊るトレーニング
9回目	即興でソロで踊るトレーニング
10回目	即興でソロで踊るトレーニング
11回目	即興でソロで踊るトレーニング
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンススタイルⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	大石 愛
	Dance StyleⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑧
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑨
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑩
11回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑪
12回目	実技試験
13回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	大石 愛
	Dance StyleⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。 振り付けとソロの違いを理解する。 自分で振付を作る。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション①
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション②
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション③
11回目	後期まとめ
12回目	実技試験
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルV Dance Style V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	SHOW
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウォーミングUP、ストレッチ、アイソレーション、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目標に実施する。 (講師) アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカ ラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スブラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 いろんな種類のダンスを実習していき、それをこなせる陽にしていく。1年間でダンスの基礎を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	ダンサーとは！の講義を前半に行い、後半4～6×8の振付を覚え、踊る。
2回目	JAZZHIPHOPを踊る。上記のウォーミングUPの後に6～8×8の振付を踊る。
3回目	前半ストレッチやアイソレーションの仕方を覚え、後半8～12×8の振付を踊る。
4回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
5回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
7回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
8回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
9回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
10回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
11回目	グループ分けをし、課題を与え自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	前期まとめ
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	基本的にはJAZZスタイルで進めていきます。JAZZが得意ではない人も多くいますが、それぞれの持っている個性を出し、いろんな自分の可能性を見つけ出して視野を広げてもらえればと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンススタイルVI Dance StyleVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	SHOW
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウォーミングUP、ストレッチ、体幹トレーニング（タンジエ、バランスなど）、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を 目途に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界 へ」をベースに日本はもとよりアメリカラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 基礎体力を付け、ダンステクニックを習得させ、あらゆるジャンルのダンスに対応できる能力を身に付け、社会に出たときに率先力となる様にする。							

授業計画・内容	
1回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
2回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
3回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
4回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
5回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
7回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
8回目	フロアテクニックを身に付ける。フロアへの導入の仕方や動かし方、体重移動を学ぶ。
9回目	2つのグループに分ける。1つの曲で2つの違う振付を踊る。又、それを交代する。
10回目	小道具（帽子）を使う。帽子を使った振付を踊り、シアターダンスを学ぶ。
11回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	1年間の中で、自分は何をしたいのか？を模索し、考え、最終的なビジョンを作り、そこに向かって、自分らしさを見つけて欲しいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンススタイルⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	中島 元治
	Dance StyleⅦ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】 ダンス基礎の習得 【講師プロフィール】 1986年、M-TRAP'S結成。JAZZDANCEにSTREET DANCEを取り入れた LOCKJAZZを考案。 1992年、全米ネットワークTVSHOW “STAR SEARCH”(CBS)に日本代表として出演。以来、L・Aにて“WINNERS”や日系人フェスティバル、ユニバーサルスタジオなどに出演。 1999年、ジャニーズ事務所ミュージカル“PLAY ZONE”(少年隊、V6、MA、Jr) 振付・Travis Payneアシスタント。							
【到達目標】 ダンスの基礎を学び、更に自己発見する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ説明1
2回目	ストレッチ説明2
3回目	ストレッチ、腹筋説明
4回目	ストレッチ、腹筋チェック
5回目	ストレッチ、腹筋、プッシュアップ説明
6回目	ストレッチ、腹筋、プッシュアップチェック
7回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ説明
8回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ、クロスフロアー説明
9回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ、クロスフロアーチェック
10回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション①
11回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション②
12回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション③
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学習	ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの復習
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	基礎をしっかり習得し、どんなオーディションにも対応できる応用力を身につけて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	中島 元治
	Dance StyleⅧ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】							
ダンス基礎の習得							
【講師プロフィール】							
1986年、M-TRAP'S結成。JAZZDANCEにSTREET DANCEを取り入れた LOCKJAZZを考案。							
1992年、全米ネットワークTVSHOW “STAR SEARCH”(CBS)に日本代表として出演。以来、L・Aにて“WINNERS”や日系人フェスティバル、ユニバーサルスタジオなどに出演。							
1999年、ジャニーズ事務所ミュージカル“PLAY ZONE”(少年隊、V6、MA、Jr) 振付・Travis Payneアシスタント。							
【到達目標】							
ダンスの基礎を学び、更に自己発見する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション
2回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、アウトサイドターンの基礎説明
3回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、アウトサイドターンの説明
4回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、インサイドターンの基礎説明
5回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、インサイドターンの説明
6回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、ジャンプの基礎説明
7回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、ジャンプの説明
8回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、ダンスにおける表現方法①
9回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、ダンスにおける表現方法②
10回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、舞台でのノウハウ①
11回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロー、コンビネーション、ターン、舞台でのノウハウ②
12回目	後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの復習
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	基礎をしっかり習得し、どんなオーディションにも対応できる応用力を身につけて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ヴォイストレーニング I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
	VoiceTraining I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 1 限目
【授業の学習内容】							
<p>①Chestレジスター内もしくはMiddleレジスターに入るらしいエリアで歌い、安心と安定を作る。</p> <p>②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。</p> <p>③Headレジスターをじっくり作っていく。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つコスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15か所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>①自分の声と向き合う習慣を持つ。</p> <p>②このトレーニングで言う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。(5ノット、オクターブ、オクターブ&ハーフ)</p> <p>③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。</p> <p>④ステージ経験をjする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	【どんな授業?】 言葉構成する要素には子音と母音があり、歌う際はこれのコンビネーションを使う。このクラスではそれらを分解し、スケール練習に入れることで、歌う下地を作る。自己紹介好きなアーティストを教えてください。なぜ好きなのか、どういふところをお手本にしたいのかまで聞く。こちらの到達目標も話し共有する。→トレーニング方法の講義、実演。(Liproll, Mum) 次回1コーラス歌ってみよう。
2回目	自分の好きな曲を歌ってみよう!!これを通してそれぞれの声の特徴を知っています。3つのトレーニング用スケールのレクチャー。ピアノで弾けるように。
3回目	始めはオの母音を中心にトレーニングをし、口を縦に開ける基礎を作る。課題曲①を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。ボーカライゼーションも。
4回目	オの母音をまず復習し、アの母音にも応用するように口を開ける。課題曲①をセクションを跨いで歌唱。
5回目	ウの母音をレクチャー & 実演。オとアのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲①を1コーラス歌唱してみよう。
6回目	イの母音をレクチャー & 実演。オとアとウのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
7回目	エの母音をレクチャー & 実演。オとアとウとイのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②をセクションを跨いで歌唱。
8回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る。課題曲②を1コーラス歌唱してみよう。
9回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る②。課題曲③を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
10回目	3つのスケールをピアノで弾けるかをチェック。エクササイズ。課題曲③をセクションを跨いで歌唱。
11回目	質疑&応答。エクササイズ。課題曲③を1コーラス歌唱してみよう。
12回目	課題曲①～③の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	スケールの理解の為の反復。エクササイズを体現するための反復。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	常に今のMyBestを録音しよう!!完璧じゃなくていい。後で聞いたときにきつと過去も今も誇れると思いますよ!!練習をする事で自分の事を知ろう!!経験を重ねることで成長しますので、その経験を重ねる努力をしていこう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ VoiceTrainingⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーエントナーテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 1限目
【授業の学習内容】 ①Chestレジスター～Middleレジスターに入り、そのエリアで歌い、安心と安定を作る。 ②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。 ③Headレジスターへの行き来をエクササイズに取り入れる。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15か所以上の学校やボカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ①自分の声と向き合う習慣を持つ。 ②このトレーニングで行う3つのスケールをゆっくりでも弾きながら、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ&ハーフ) ③楽曲練習にボカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。 ④ステージ経験を積み重ねる。							

授業計画・内容	
1回目	前期を通して自分の声と向き合ってきた気づいたことをシェアしてみよう!! 3タイプに分ける。課題曲④を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
2回目	LightChest、PullChest、Flipの3タイプのどれに属するかを診て、エクササイズを処方する。(個人をみるアプローチ) 課題曲④をセクションを跨いで歌唱。
3回目	それぞれのエクササイズへのアプローチを聴きながらアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲④を1コーラス歌唱してみよう。
4回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
5回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤をセクションを跨いで歌唱。
6回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を1コーラス歌唱してみよう。
7回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
8回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥をセクションを跨いで歌唱。
9回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を1コーラス歌唱してみよう。
10回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。教室内リハ(曲を選んで歌唱)
11回目	後期の課題曲の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
12回目	振り返りとトレーニング。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	自分に処方されたトレーニングを練習し、向き合う時間と歌の練習。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今までのMyBestの積み重ね、聞いてみましたか? 時に過去の自分の歌から今の自分へのヒントが見つかることがありますよ。沢山の歌の思い出を作ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅢ Voice training Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	THE SOULMATIC S
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
①シンガーにとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。②発声トレーニング(①)で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】1年生の復習・呼吸・低音・表情筋の強化【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/Leann Rimes) 発音・コツ・1番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/Leann Rimes) 復習・1曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・イーストレッチ・裏声【歌唱】Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/Leann Rimes) ミニ発表会・1人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・イーストレッチの徹底トレーニング【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters) ※以下進行は1曲目同様
5回目	【発声】ソルフェージュ・スタッカート・メミマム【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters)
6回目	【発声】クラシック発声・ロングトーン【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters)
7回目	【発声】まとめの小テスト【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
8回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
9回目	【発声】前回からの経過チェック【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
10回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング【歌唱】男Love me tender (ElvisPresley) 女So far away (Carole King) ※今回のみ仕上げ2週間です
11回目	【発声】スタッカート・メミマム・ソルフェージュ・ロングトーン・クラシック発声の徹底トレーニング【歌唱】男Love me tender (ElvisPresley) 女So far away (CaroleKing)
12回目	曲決定・勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
13回目	全体発表会(1人1曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう)
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅣ Voice training Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
①シンガーとして必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。②発声トレーニング(①)で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】前期の復習・個々の経過チェック【歌唱】男She (Elvis Costello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 発音・コツ・1 番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・イーストレッチ強化【歌唱】男She (Elvis Costello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 復習・1 曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・クラシックボイス・裏声強化【歌唱】男She (Elvis Costello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) ミニ発表会・1 人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】表情筋・ソルフェージュ・イーストレッチ強化【歌唱】男Can you feel the love tonight (Elton John) 女Milion reasons (Lady Gaga) ※以下進行は1 曲目同様
5回目	【発声】1 対1 での細かいチェックとフィードバック【歌唱】男Can you feel the love tonight (Elton John) 女Milion reasons (Lady Gaga)
6回目	【発声】前回の経過チェック【歌唱】男Can you feel the love tonight (Elton John) 女Milion reasons (Lady Gaga)
7回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・ソルフェージュテスト【歌唱】男Home (Micheal Buble) 女Killing me softly (Roberta Flack)
8回目	【発声】スタカート・メソッド・クラシックボイステスト【歌唱】男Home (Micheal Buble) 女Killing me softly (Roberta Flack)
9回目	【発声】イーストレッチ・裏声テスト【歌唱】男Home (Micheal Buble) 女Killing me softly (Roberta Flack)
10回目	【発声】1 年間のまとめ・質疑応答【歌唱】男Home (Micheal Buble) 女Killing me softly (Roberta Flack) 後期発表会の曲決め
11回目	勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
12回目	全体発表会 (1 人1 曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう)
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングV Voice Training V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜3限
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしていきます。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。							
【講師プロフィール】							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつも最適なコンディションで歌えるようになる ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
6回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
12回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
13回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
14回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
15回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
準備学習 時間外学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	基礎力を身につけて弱点を克服するのももちろんですが、しっかりと得意なところを伸ばしていきましょう。体調、コンディションの管理なども徹底的にやっていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングVI Voice TrainingVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜3限
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしていきます。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。 【講師プロフィール】 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック、発表会リハーサル
6回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	発表会リハーサル
12回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	<p>レッスンごとに皆さんの目標をより明確にしていきます。 られる声とマインドと一緒に作っていきましょう。</p> <p style="text-align: right;">歌い続け</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅦ Voice TrainingⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ヴォイストレーナーになるための必要な知識を身につけていきます。</p> <p>②課題曲を通して難易度の高い曲へのアプローチを学んでいきます。</p> <p>③模擬授業を通して講師としてのヴォキャブラリーを養っていきます（模擬授業は1年生を対象に行います）</p> <p>【講師プロフィール】 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。"□ □</p>							
【到達目標】							
<p>①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる</p> <p>②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる</p> <p>③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる</p> <p>④持っている知識を使い、他者の成長に貢献できる人材になる</p>							

授業計画・内容	
1回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
2回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
3回目	模擬授業（腹式呼吸、表情筋）
4回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
5回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
6回目	模擬授業（イーストレッチ、低音）
7回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
8回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
9回目	模擬授業（裏声、共鳴） □
10回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
11回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
12回目	模擬授業（歌唱指導） □
13回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
14回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
15回目	【発表会】 課題曲の発表会
準備学習 時間外学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲 ■模擬授業の内容
受講生への メッセージ	学んできた知識を人に伝えることで、さらに深い学びを得て自分を成長させることができます。さらに高みを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅧ Voice TrainingⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限

【授業の学習内容】

- ①ヴォイストレーナーになるための必要な知識を身につけていきます。
- ②課題曲を通して難易度の高い曲へのアプローチを学んでいきます。
- ③模擬授業を通して講師としてのヴォキャブラリーを養っていきます（模擬授業は1年生を対象に行います）

【講師プロフィール】

200曲以上をレパートリーに持つ Gospelグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。"□

【到達目標】

- ①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる
- ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる
- ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる
- ④持っている知識を使い、他者の成長に貢献できる人材になる

授業計画・内容

1回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
2回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
3回目	模擬授業（発声全般）
4回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
5回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
6回目	模擬授業（発声全般）
7回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
8回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
9回目	模擬授業（歌唱指導）
10回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
11回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
12回目	模擬授業（歌唱指導） □
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習
時間外
学習

発声練習 課題曲練習

評価方法

- 出席率
- 受講態度
- 発声の知識、理解度
- 課題曲

受講生への
メッセージ

日々の習慣が強く魅力的な声をつくれます。初心を忘れず基礎を磨いていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ディクシオン I Diction I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 2 限目
【授業の学習内容】 洋楽の名曲を使用し、言葉を明確に伝え、音を正確に歌う技術を学びます。 【基礎的な練習】 母音、子音の発音練習 早口言葉 【課題曲】 リエゾン、首節の区切り方、アクセントなど、英語の楽曲を使用し、言葉とリズムを正確に歌うテクニックを実践していきます。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター・池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語を恐れず歌えるようになる。 英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。 子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	まずは楽しく歌ってみよう！ 課題曲①Beatles「Hard days night」□
2回目	まずは楽しく歌ってみよう！ 課題曲①Beatles「Hard days night」□
3回目	簡単な子音にチャレンジ (th, f, v) 課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
4回目	簡単な母音にチャレンジ (a, e, i, ou, u) 課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
5回目	日本語にない子音にチャレンジ (l, r) 課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
6回目	日本語にない母音にチャレンジ (æ, ʌ, ə, ɔ) 課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
7回目	発音ミニテスト
8回目	テストの全体的なフィードバック、苦手発音の洗い出し 課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
9回目	苦手発音を強化しましょう 課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
10回目	ロックをカッコよく 課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
11回目	ロックをカッコよく 課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
12回目	テスト課題曲 Gloria Estefan「Conga」 練習
13回目	テスト Gloria Estefan「Conga」
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	発音の宿題。課題曲の練習□
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ディクシオン II Diction II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 2 限目
【授業の学習内容】 前期よりもさらに発音の難易度が上がります。TH、LR、リエゾンなど苦手な部分にフォーカスして練習していきます。 【基礎的な練習】 母音、子音の発音練習 早口言葉 【課題曲】有名な英語の楽曲（スタンダード）を使用します。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター・池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語の発音を恥ずかしがらずに歌えるようになる。 英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。 子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の発音の復習、苦手な発音の確認 課題曲①Little Eva「Locomotion」□
2回目	苦手に発音に気を付けて課題曲に挑戦してみよう 課題曲①Little Eva「Locomotion」□□
3回目	リエゾン強化週 課題曲②Earth wind & Fire「September」□
4回目	リエゾン強化週2 課題曲②Earth wind & Fire「September」□
5回目	TH強化週 課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」□
6回目	TH強化週2 課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」□
7回目	発音ミニテスト □
8回目	LR強化週 課題曲④Last Christmas□
9回目	LR強化週 課題曲④Last Christmas□
10回目	現在地を確認しましょう。これまで練習した曲の中から歌唱
11回目	テスト課題曲 Aerosmith「Walk this way」練習
12回目	テスト Aerosmith「Walk this way」
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音の宿題。課題曲の練習□
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ディクシヨ Ⅲ Diction Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜日 2 限目
【授業の学習内容】 1年生の時に学んだ発音を歌のテクニックとしてさらに強化し、それぞれの学生の苦手な発音に着目して強化していきます。リエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語をカッコよく歌うためのテクニックを、課題曲を通して実践していきます。色々な年代のスタンダードな曲を課題曲/アンサングルの授業の楽曲を課題曲にします。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語の歌に対する苦手意識を克服する。子音、母音の発音記号を理解し、課題曲の歌のスタイルに合わせて使い分けられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」□
2回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！パート2 課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」□
3回目	できてそうで出来ない子音を強化 課題曲②No doubt 「Don't speak」□
4回目	できてそうで出来ない子音を強化 パート2 課題曲②No doubt 「Don't speak」
5回目	リズムを歌おう 課題曲③Carole King 「You've got a friend」
6回目	リズムを歌おう パート2 課題曲③Carole King 「You've got a friend」□
7回目	発音小テスト
8回目	NY風、バラードをゆっくりはっきりはっきりと！課題曲④Eric Carmen「All by myself」□
9回目	NY風、バラードをゆっくりはっきりはっきりと！パート2課題曲④Eric Carmen「All by myself」□
10回目	カッコよく発音しましょう 課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」□
11回目	カッコよく発音しましょう パート2 課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」□
12回目	テスト（自由曲）の歌唱
13回目	学期末特別授業
14回目	学期末特別授業
15回目	イベント実習
準備学習 時間外学習	発音の宿題 課題曲の練習□
評価方法	実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する） 出席率
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 発音練習用プリント、歌詞	

科目名 (英)	ディクシオンⅣ DictionⅣ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜日2限目
【授業の学習内容】 前期同様、英語の課題曲を用いてさらに明確で確実な発音を目指していきます。引き続きリエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語をかつこよく歌うためのテクニックを実践し、呼吸や発声も学生のレベルに合わせてアドバイスしていきます。¥ 色々な年代のスタンダードな曲を課題曲/アンサンブルの授業の楽曲を課題曲にします。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポータルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 発音の原則を理解し、様々な楽曲で効果的に使えるようになる。前期より自由に、大きくダイナミックに発音できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	難曲を完璧に発音しましょう！ 課題曲①Michael Bolton「How am I sponse to live without you」□
2回目	難曲を完璧に発音しましょう！ パート2 課題曲①Michael Bolton「How am I sponse to live without you」□
3回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！ 課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
4回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！ パート2 課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
5回目	ロックに！ かつこよく 課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
6回目	ロックに！ かつこよく パート2課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
7回目	名曲をかつこよく歌いましょう！ 課題曲④Robbie Williams「Angels」□
8回目	名曲をかつこよく歌いましょう！ パート2 課題曲④Robbie Williams「Angels」□
9回目	Rを仕上げましょう！ 課題曲⑤P!nk 「Raise your glass」□
10回目	Rを仕上げましょう！ パート2 課題曲⑤P!nk 「Raise your glass」□
11回目	テスト 今年度、この授業で歌った楽曲の中から1曲発表□
12回目	Sowcase、We areにおいて必要な楽曲の発音をチェック
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音の宿題 課題曲の練習□
評価方法	実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する） 出席率
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 発音練習用プリント、歌詞	

科目名 (英)	ベースラインコンセプト I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	丹羽肇
	Bassline Concepts I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースを専門分野とするために楽器の各部の知識、音が出る仕組み、メンテナンスの基礎を学習する。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(8ビート系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため読み取った教材のリズムをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。ベースラインを構築するために必要なコード(3和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースラインを構築するために必要なメジャースケール、ナチュラルマイナースケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてA×B×C×D等の構成を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・センスを学習する。 【講師プロフィール】 2010年リーダアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 自分の楽器をきちんとした状態で維持できるように。カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。A×B×C×D等の楽曲の構成について理解できるように。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。コード譜を見てルート音を弾きながら要所に経過音を挿入できるように。主に8ビートについて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため教材にそったベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	エレキリックベース各部の名称、音が出る仕組みを説明できる。楽器の簡単な健康チェックができる。1 2 個の音の場所が説明できる。
2回目	Cメジャースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる① 8ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	Cナチュラルマイナースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる② 8ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符のルート+ 5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符のルート+ 5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習③ コード譜の8分音符の1 + 5 + 7度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑤読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習④ コード譜の8分音符の1 + 5 + 7度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑥読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符の1 + 3 + 5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑦読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符の1 + 3 + 5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑧読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習① コード譜の1 + 3 + 5 + 7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習② コード譜の1 + 3 + 5 + 7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習③ コード譜のルート弾きをしなが経過音を挿入できる。8ビートのリズム譜が書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	丹羽肇
	Bassline Concepts II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeインタータイム教科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
<p>音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため5線以上の音符やリズム譜に親しむ。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(1 6ビート系、3 連系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。ベースラインを構築するために必要なコード(4 和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースライン、フィルイン等を構築するために必要なアイオニアン・ドリアン・フリジアン・フリジアンメジャー・リディアン・ミクソリディアン・エオリアン・ロクリアンの各スケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等曲の構成及びルート音を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・用いる場合の条件等を学習する。重要なコード進行の1つであるツー・ファイブ・ワンについて学習する。将来のDTM等の制作時の要求に定めるため学習した内容をクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p> <p>【講師プロフィール】 2010年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほぐもぐ、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほぐもぐ、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。ルート音が聞き取れるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。リピート、ダル・セーニョ、ダ・カーポ等の譜面の進行も読める。コード譜を見てルート音、3度、5度、7度の音を組み合わせで弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。8ビートに加えて16ビート、3連系について楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。メジャー及びマイナーキーのツー・ファイブ・ワンのコード進行のスケール及びアルペジオが弾けるようになる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースラインを作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ドリアンスケールの練習① ルート音聞き取り練習① 1 6ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
2回目	ドリアンスケールの練習② ルート音聞き取り練習② 1 6ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	フリジアンスケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習① 1 6ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	フリジアンメジャースケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習② 1 6ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	リディアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習① 3 連系のリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	ミクソリディアンスケールの練習① ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習② 3 連系のリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	ミクソリディアンスケールの練習② ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習③ 1 6ビートのリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	エオリアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習④ 1 6ビートのリズムが書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	ロクリアンスケールの練習 メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのスケールの練習 1 6ビートのリズムが書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	各種スケール総合練習① メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオ練習 1 6ビートのリズムが書き取れる④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	各種スケール総合練習② マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール練習 3 連系のリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	ダイアトニックスケール及びアルペジオの総合練習 メジャーキー・マイナーキーのツー・ファイブ・ワンの総合練習 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅢ Bassline ConceptsⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターティメット科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】							
<p>1 年次同名授業で習得したダイアトニックスケール及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンにおけるスケール及びアルペジオを用いた様々な曲に対応したベースラインを構築・アレンジする方法を実際の曲ながら随時的なベースラインの作成練習を通して学習する。コード進行の基礎となるダイアトニックコードおよび付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7を暗記して簡易的なベースラインの作成効率を上げる。ディミニッシュコードのコードトーンとスケールと使用方法を学習する。オルタードスケールと使用方法を学習する。オリジナル曲に対してベースラインを構築する方法を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため構築したベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p> <p>【講師プロフィール】 2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズプロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年CNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年CNHK-FM Session 2017 に出演。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほかもと、黒白波等のCPLにてベースの演奏を担当。 2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズプロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年CNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年CNHK-FM Session 2017 に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほかもと、黒白波等のCPLにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>メジャーキーのダイアトニックコード及び付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7をベースの指板を用いて表にまとめて書けるようになる。ダイアトニックコードのアルペジオ及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオが弾ける。曲のコード進行においてルート音、3度、5度、7度等を使用してベースラインを構築できる。構築したベースラインを演奏しながら効果的に経過音を挿入できる。曲のキーに対応したブルーススケールを用いてフィルイン及びベースソロがとれる。曲のコード進行に沿ったスケールを弾ける。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	メジャーキーのダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	アイオニアン、ドリアン、フリジアン、フリジアンメジャー、リディアン、ミクソリディアン、エオリアン、ロクリアンの各スケールが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	メジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール及びアルペジオが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	既存の曲の譜面を見てルート音が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度 + 7度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける③与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
12回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる② 与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトV	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	丹羽肇
	Bassline Concepts V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】							
<p>ポピュラー音楽のリズムの題材として用いられる世界各国の民族音楽を基にしたリズムパターンを実際の曲を通して学びベースラインの動きの特徴を学ぶ。I～IVまでで学習したコード進行の理論及びベースラインの構築方法を基にオリジナル曲のコード進行においてもそれらの特徴的なベースラインを作成し演奏することができるようになる。また各国の民族音楽に特徴的なコード進行、リズムパターン等を学習して既存の曲等のアレンジメントに活かすことができるようになる。オリジナルのコード進行を作成し演奏する。</p> <p>2010年リーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM「Session 2016」に出演。2017年NHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほつもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p> <p>2010年リーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM「Session 2016」に出演。2017年NHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほつもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>各国の民族音楽のリズムの特徴とベースラインの音使いの特徴を譜面できるようにする。基本的なコード進行を想定し各国の民族音楽風に基づいたベースラインを作成できる。作成した音源に合わせてベースラインを録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。既存の曲を各国の民族音楽風に基づいたアレンジメントを作成し音源に合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ボサノバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
2回目	サンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
3回目	ショーロの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
4回目	ルンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
5回目	マンボの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
6回目	チャチャの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
7回目	レゲエの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
8回目	タンゴの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
9回目	スウィングの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
10回目	ロックの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
11回目	ロックバラードの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
12回目	ヒップホップの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせる。
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的な準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グルーブ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトVI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	丹羽肇
	Bassline ConceptsVI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】							
<p>既存の曲(60～00)を聴いて曲の構成、コード進行及びベースラインを書き留めるコード進行の分析及びベースラインの分析を行う。分析を基に各年代の曲の特徴を捉えたコード進行を作成し演奏・録音する。</p> <p>【講師プロフィール】 2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>各年代の既存の曲の構成、コード進行、ベースラインを書き留めることができる。コード進行及びベースラインについてこれまで学習した理論等を用いて分析ができる。これらに基づいて各年代の既存の曲の特徴を捉えたコード進行を作成できる。作成したコード進行にベースラインを作成し録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	60年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
2回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
3回目	70年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
4回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
5回目	80年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
6回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
7回目	90年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
8回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
9回目	00年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
10回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
11回目	10年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
12回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅦ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	丹羽肇
	Bassline ConceptsⅦ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>ベースのロに焦点を当ててベースレジェンドたちのソロを分析して練習する。コード進行に対してのアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音を指摘できるようになる。ソロを弾くために自分にとって最適なポジションを研究し考察する。</p> <p>2010年リーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大坂高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM Session 2016に出演。2017年NHK-FM Session 2017に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p> <p>2010年リーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大坂高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM Session 2016に出演。2017年NHK-FM Session 2017に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>ベースレジェンド達のベースソロを聴いて音とリズムが採譜できる。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音の分析ができる。各部分を練習し演奏できる。練習したベースソロをベースの異なるポジションで弾いてみて自分にあったポジションを検討できる。映像等でオリジナルの演奏が確認できるものについては自分で検討したポジションと比較・検討できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	課題曲1のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
2回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
3回目	課題曲2のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
4回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
5回目	課題曲3のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
6回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
7回目	課題曲4のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
8回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
9回目	課題曲5のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
10回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
11回目	課題曲6のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
12回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションにて弾いてみて自分に合ったポジションを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	丹羽肇
	Bassline ConceptsⅧ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>実際の演奏現場を想定して音源を基に自分がステージ上で使用するための情報を全て網羅した譜面を作成する。キー、イントロ、テーマ、間奏、エンディング、ユニゾン、リズムキメ、リフそして曲の進行等を無駄なくわかり易く表記し演奏する。</p> <p>【講師プロフィール】 2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズトリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズトリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっちもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）が譜面にできる。音源を聴いてキーを特定できる。音源のルート特定できる。特定したルートと学習した音楽理論からコード進行を確定できる。ドラム等のリズムパターンを採譜できる。ベースラインを音・リズムの両面から特定できる。ベースのフィルインを採譜できる。各所での他の楽器の特徴的なフレーズを採譜できる。ユニゾン、リズムキメを採譜し演奏できる。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏できる。曲の構成、実際の進行を簡潔な表現で譜面に書ける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	課題曲1 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
2回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
3回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
4回目	課題曲2 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
5回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
6回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
7回目	課題曲3 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
8回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
9回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
10回目	課題曲4 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
11回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
12回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期の期間で指板上の音の位置を覚え、譜面上のRoot音(+5th)を即座に演奏可能になること。							

授業計画・内容	
1回目	楽器(ベース)についての基礎知識とフォームについて
2回目	8ビート(8beat)のルート弾き①
3回目	8ビート(8beat)のルート弾き②
4回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①(上の5thのみ)
5回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン②(上の5thのみ)
6回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン③(上の5thのみ)
7回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
8回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
9回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①
10回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+6thによるベースライン②
11回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+7thによるベースライン③
12回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①②③(ワンプポジション)
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルベジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期に続き後期ではコードの3rd、7thをプラスした演奏を可能になること。 また16beatにも触れ、より細かいリズムの中での安定した演奏、グループを生み出す。							

授業計画・内容	
1回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①
2回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン②
3回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン③
4回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
5回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
6回目	Sample song 1-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
7回目	Sample song 1-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
8回目	Sample song 2-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
9回目	Sample song 2-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
10回目	Sample song 3-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
11回目	Sample song 3-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習 (授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい)。
評価方法	期末テスト (60%) 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループと一緒に生み出していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅢ Groove AnalyzeⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせること、様々なリズムパターンを用いたグルーブ鍛錬を目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期でアルペジオの理解やジャンルごとのリズムパターンに沿ったフレーズの構築ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ①と符割感覚トレーニング
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ②とゴーストノート
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ③と16裏トレーニング
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ③と16裏トレーニング
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑤とポリリズム
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑥と変拍子フレーズ
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑦とハーモニクス
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑧と速い弦跳び
9回目	アルペジオ復習
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール①とBluesフレーズ
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
12回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度（40%）
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅣ Groove AnalyzeⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせることと、様々なリズムパターンを用いてのグループ鍛錬を目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 曲中に使えるリックの作り方、ウォーキングベース等のベースラインの構成を即座に作る知識と演奏できる技術、アドリブ演奏時の対応力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール②[ワンポジション]とFUNKSlapフレーズ
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール③と高速Slapフレーズ[サムダウン、ロータリー奏法]
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール③[ワンポジション]とMetalリフ
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール④と高速Metalリフ
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール④[ワンポジション]とコード弾き
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑤とコード弾き
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑤[ワンポジション]とコード弾き
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑥とソロベースについて
9回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑥[ワンポジション]とソロベースについて
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑦とベースアンサンブル
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡm7、Ⅱm7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑦[ワンポジション]とベースアンサンブル
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループと一緒に生み出していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズV Groove Analyze V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(リ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	Donald "Duck" Dunn Cコード1発・6thへ繋ぐスライドテクニク・ブルーススタイルグループ。
2回目	Donald "Duck" Dunn C7コード1発・テンポ速めの8beat。
3回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。コードチェンジのとき、少し下の音からスライドさせるグループ。
4回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。左手で休符。休符でリを作る。ピック弾き。
5回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する① メジャースケール
6回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する② ストレッチポジション
7回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する③ 音使いとグループの関係
8回目	Tom Hamilton(Aero Smith) 8beatロックンロール。開放弦を混じえたライン。左手と右手のコンビネーション。
9回目	Tom Hamilton(Aero Smith) シャッフルビート。ブルースロックのウォーキングベース。メトロノームと合わせられる技術。
10回目	Robert "Kool" Bell ディスコグループ。16分音符を混じえた定番リズム。音の止め方。ミュート。音価コントロール。
11回目	Robert "Kool" Bell ディスコ風ライン。マンネリ化したベースラインにアイデアを。マイナーペンタトニックスケール。
12回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。
13回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。オクターブライン。弦跳び。オクターブ上の音のスタッカート他。
14回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク①。左手ミュート。2フィンガーの強化。
15回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク②。左手ミュート。2フィンガーの強化。

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組む姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	グループアナライズVI Groove AnalyzeVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	Roscoe Beck ファンキーなR&Bグループ。ドラムとのコンビネーション。休符・16分音符の引っ掛け。
2回目	Roscoe Beck 4beat風ブルース。
3回目	Darryl Jones Cm1発コードリフ。メディアムテンポの16th。
4回目	Darryl Jones ブルース系シャッフルパターン。ブルース12小節コード進行の確認。
5回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Paul McCartney ロックロールリフ。Day Tripper。
9回目	Paul McCartney ロックブルースリフ。I Saw Her Standing There
10回目	グループとサウンドメイク(音色)、技術の関係。②
11回目	Tommy Shannon 7th系シャッフルビート。
12回目	Tommy Shannon 8beatファンクブルース。
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組み姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	グループアナライズⅦ Groove AnalyzeⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(リ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	Anthony Jackson ピック弾きでハーフタイムシャッフル。正確なオルタネイトピッキングとグルーブ。
2回目	Anthony Jackson ラテンブラジルグルーブ。音価コントロール。2拍目と4拍目のスルド。
3回目	Chuck Rainey ダブルストップ奏法。ワンフィンガー奏法でのソウル・ファンク・R&Bグルーブ。
4回目	Chuck Rainey 高速オクターブフレーズ。ポジションシフト。R & Bスタイル。
5回目	特殊テクニクとグルーブをかけ合わせる①ハーモニクス
6回目	Jaco Pastorius ベースソロ曲「Portrait Of Tracy」
7回目	Jaco Pastorius 16thファンクスタイル。ゴーストノートでリを作る。
8回目	スラップテクニク復習。サウンドメイク。定番16thファンクグルーブ。
9回目	Marcus Miller 16thファンクスタイルDmのグルーブ。マイナーペンタトニクスケールの定番フィル。
10回目	Marcus Miller Smooth Jazzスタイル。ハーフタイムシャッフルグルーブ。
11回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman①
12回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman②
13回目	Mark King フュージョン風指弾きベースライン。16beat 複雑。
14回目	Mark King 高速スラップ(サムピング)
15回目	スラップ奏法・2フィンガー・ハーモニクス等振り返り。

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組み姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	グループアナライズⅧ Groove AnalyzeⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(リ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	James Jemarson モータウン・ソウルR&Bグループ。プレジジョンベース・フラットワウンド。楽器とグループの関係。
2回目	James Jemarson モータウングループ②16th シンコペーションのグループ。
3回目	Willie Weeks ソウル・モータウン。マイナーペンタトニックスケールの定番曲・ベースライン。
4回目	Willie Weeks メロウなリズムミッドなライン。複雑なシンコペーション・レイキング。
5回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Sting ハーモニクス入りレゲエライン。
9回目	Sting 呼吸するレゲエグループ。Englishman in new york
10回目	Ray Brown ジャズ4beatグループ。Med Swing。スウィングとは。
11回目	Ray Brown ジャズBossa Nova。
12回目	Juan Formell ラテン。トウンバオ・アフロ・キューバンのグループ。
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組み姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	グループメイク I Groove Making I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」においてそれぞれのBPM120を目標とする。 基本的なドラム譜面の読み書き							

授業計画・内容	
1回目	基本となるリズム（4分音符、8分音符等）の考え方 譜面の読み方
2回目	8BeatのBasicパターン BPM=60~90 (High 120)
3回目	8BeatのAdvanceパターン BPM=90~120 (High 140)
4回目	8分音符のシンコペーションを使ったパターン、リズムキープ方法 左足でのテンポキープ
5回目	3連符の説明、リズム感の習得
6回目	Shuffle Beatの説明、右手のダウンアップ奏法の習得
7回目	Shuffle BeatのBasicパターン BPM=90 (High 120)
8回目	Shuffle BeatのAdvanceパターン BPM=120 (High 140) ブルースシャッフルの習得
9回目	3連符系のFill In、及び2拍3連の説明
10回目	2拍3連の習得、2拍3連を使ったパターンやFill In
11回目	16分音符の説明、16BeatのBasicパターン BPM=60~90 (High 120)
12回目	16BeatのAdvanceパターンとFill In BPM=90~120 (High 140)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト（50%） 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	ドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 ドラムキッドでの演奏ですのでリアルなサウンドメイクや表現方法を習得してください。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：Drum Groove Making 1：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅡ Groove Making Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」をさらに発展させたグルーブの習得 「Halftime Shuffle」BPM=70、「6/8拍子」BPM=60、「12/8拍子」BPM=75 パーカッションの基本的な演奏方法							

授業計画・内容	
1回目	16Beatにおけるゴーストノートについて (4つのストローク (Tap,Down,Up,Full) の確認と習得)
2回目	ゴーストノートを使ったパターン、Fill In BPM=75 (High 90)
3回目	Halftime ShuffleのBasicパターン BPM=60 (High 75)
4回目	Halftime ShuffleのAdvanceパターンとFill In BPM=70 (Hgh 85)
5回目	Halftime Shuffleと4拍3連
6回目	6/8拍子について カウンティング、基本的なリーディング
7回目	6/8拍子のパターン、Fill In BPM=60 (High 75)
8回目	12/8拍子について カウンティング、リーディング
9回目	12/8拍子のパターン、Fill in BPM=75 (High 90)
10回目	Percussion Cajon
11回目	Percussion Conga,Bongo
12回目	Percussion Shaker,Tambalineなど
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール、裏クリックでのリズムトレーニング 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	"前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなどみなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようにするためのクラスです。 後半ではパーカッションなども演奏できるようにしましょう。"
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅢ Groove Making Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックだけでなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得 Bossa Nova BPM=120、Samba BPM=105、4Beat Swin BPM=120、Reggae BPM=90 基本的なドラム譜面の読み書き ラテンパーカッションの奏法の習得							

授業計画・内容	
1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
5回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
6回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
7回目	4Beat Swing についての説明
8回目	4beat Swing Basicパターン BPM=90 (High 120)
9回目	4Beat Swing Advanceパターン BPM=120
10回目	4Beat Swingでの4way インディペンデンス
11回目	Reggae についての説明
12回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト(50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)"
受講生への メッセージ	"今までに習得したグルーブ以外の様々な演奏スタイルを習得して さらに幅広い技術、知識を身につけるクラスです。 まずは色々な音楽に触れてください。"
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクIV Groove Making IV	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 4 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得 また、Odd Meter (変拍子) やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築。 SPDなどサンプリングパッドの使い方、アナログとデジタルの混合パターンの習得							

授業計画・内容	
1回目	Aflo Cubanについて説明
2回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
3回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
4回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
5回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	サンプリングパッドの使い方
9回目	サンプリングパッドとアコースティックドラムとの混合パターン
10回目	リニアパターン Basic
11回目	Odd Meterの説明とカウンティング
12回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	"BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、1 6分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習"
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 後半では リズムの変形パターンや変拍子も演奏できるようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 : The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2 : 滋慶出版 Drum Groove Making 2 : 滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクV Groove Making V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜5時限目

【授業の学習内容】

FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。

様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、
テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。
その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。

【到達目標】

ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得
Bossa Nova BPM=120
Samba BPM=105
4Beat Swin BPM=120
Reggae BPM=90
基本的なドラム譜面の読み書き

授業計画・内容

1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Bossa Nova Song1
5回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
6回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
7回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
8回目	Samba Song1
9回目	Reggae についての説明
10回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
11回目	Reggae Advanceパターン BPM=70 (High 85)
12回目	Reggae Song1
13回目	Afro Cubanについて説明
14回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
15回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)

準備学習 BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、1 6分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール
時間外学習 テキスト及び授業内容の復習

評価方法 授業態度
参考楽曲等による習得度の確認

受講生への
メッセージ ポピュラーミュージック以外にもJazzなどよく使われるグルーブです。
ドラムセットだけではなくアコースティックスタイルの演奏方法も身につけて表現の幅を広げていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版

科目名 (英)	グループメイクVI Groove Making VI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得 また、Odd Meter (変拍子) やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築など							

授業計画・内容	
1回目	ポリリズムについて
2回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
3回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
4回目	ポリリズム Song1
5回目	メトリック モジューションについて
6回目	メトリック モジューション Basicパターン
7回目	メトリック モジューション Advanceパターン
8回目	メトリック モジューション Song1
9回目	リニアパターン Basic
10回目	Odd Meterの説明とカウンティング
11回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
12回目	変拍子 Song1
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、16分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	Jazz、Fusion、Latinなどポピュラーミュージック以外のスタイルを勉強することによって 幅広い音楽性を身につけていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅦ Groove Making Ⅶ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 リニアパターンやルーディメンツ（マーチング奏法）をドラムセットに応用したグルーブの習得							

授業計画・内容	
1回目	リニアパターン 説明
2回目	リニアパターン Basic
3回目	リニアパターン Advance
4回目	リニアパターン Song1
5回目	リニアパターン Song2
6回目	パラデイドルを使ったグルーブの説明
7回目	パラデイドルを使ったグルーブ Basic
8回目	パラデイドルを使ったグルーブAdvance
9回目	パラデイドルを使ったグルーブ Song1
10回目	パラデイドルを使ったグルーブ Song2
11回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブの説明
12回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Basic
13回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Advance
14回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Song1
15回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Song2
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確なシングルストローク、ダブルストローク、パラデイドルなどのスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	ルーディメンツのドラムセットへの応用することにより 複雑なグルーブを作ることだけでなく、様々なスタイルへ応用することができるので しっかり身につけていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅧ Groove Making Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 今までに習得したグルーブをつかっのオリジナルパターンやオリジナルSongの制作							

授業計画・内容	
1回目	オリジナルソング制作 1 Rock スタイル1
2回目	オリジナルソング制作2 Rock スタイル2
3回目	オリジナルソング制作3 Funk スタイル 1
4回目	オリジナルソング制作4 Funk スタイル2
5回目	オリジナルソング制作5 R&Bスタイル1
6回目	オリジナルソング制作6 R&Bスタイル2
7回目	オリジナルソング制作7 Swing スタイル1
8回目	オリジナルソング制作8 Swing スタイル2
9回目	オリジナルソング制作9 ラテンスタイル1
10回目	オリジナルソング制作10 ラテンスタイル2
11回目	オリジナルソング制作11 Fusionスタイル1
12回目	オリジナルソング制作12 Fusionスタイル2
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確なシングルストローク、ダブルストローク、パラディドルなどのスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	今までに習得した様々なスタイルをオリジナリティあふれるアプローチで 自分のスタイルを確立していきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	コントロールセオリー I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
	Control Theory I	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール
3回目	フットワーク
4回目	中間チェック。
5回目	アクセレーションコントロール16分音符 3種類
6回目	各自実践、フィードバック。
7回目	アクセレーションコントロール3連符 2種類
8回目	各自実践、フィードバック。
9回目	中間チェック。
10回目	ダブルストロークロール
11回目	5.7.9.11.13ストロークロール
12回目	バズ、バズ5、バズ7
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリー II Control Theory II	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	シングルパラディドル
3回目	実践練習とフィードバック。
4回目	ダブルパラディドル
5回目	実践練習とフィードバック。
6回目	トリプルパラディドル
7回目	実践練習とフィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	フラム、フラムアクセント16分&3連符
10回目	フラムパラディドル
11回目	フラムタップ、ラタマキュー
12回目	後期の振り返り
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
	Control TheoryⅢ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	ラフ、4.5ストロークラフ
3回目	ドラッグ
4回目	シングルドラッグ
5回目	ダブルドラッグ
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	ドラッグパラディドルNo.1.2
8回目	ラタマキュー
9回目	シングルラタマキュー
10回目	ダブルラタマキュー
11回目	トリプルラタマキュー
12回目	ルーディメンツ小テスト
13回目	チェンジアップ
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
	Control TheoryⅣ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメントを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニクの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	2拍3連、カウント、コンビネーション
3回目	課題の提示・実践練習。
4回目	実践発表とフィードバック。
5回目	4拍3連、カウント、コンビネーション
6回目	課題の提示・実践練習。
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	3拍4連、カウント、コンビネーション
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	3拍4連on4/4
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	5拍4連、カウント、コンビネーション・7拍フレーズの紹介
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリー V	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	星山哲也
	Control Theory VI	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエーターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーティンツのマーチングとしての応用。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するに当たり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	シングルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	トリプルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	ダブルパラディドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6
13回目	実践発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーVI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	星山哲也
	Control TheoryVI	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエリターメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーティンツのマーチングとしての応用。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	トリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	フラムダブルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	フラムトリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習
11回目	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11
12回目	実践発表とフィードバック。
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅦ Control TheoryⅦ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーディメンツのドラムセットへのオクストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーディメンツのマーチングとしての応用。オスティナートやリエンドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	3拍4連応用、オールアメリカンドラマーNo.13
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	ハイブリッドルーディメンツの紹介、オールアメリカンドラマーNo.14
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	サンバオスティナート、オールアメリカンドラマーNo.15
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	サンバオスティナートオールアメリカンドラマーNo.16
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	サンバオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.17
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.18
13回目	実践発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅧ Control TheoryⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメントのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーティメントのマーチングとしての応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.19
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.20
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	リニアエクササイズ・オールアメリカンドラマー復習
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	リニアエクササイズ・クレイジーアーミー
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	リニア応用・ダブルベースドラミング
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプト I Melodic Concepts I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	6弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
3回目	6弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
4回目	5弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
5回目	5弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生①
8回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生②
9回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート①
10回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート②
11回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート
12回目	ペンタトニック、ブルーススケールを使用したリックの実演
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプト II Melodic Concepts II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)①
3回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)②
4回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)①
5回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)②
6回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)①
7回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)②
8回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
9回目	ナチュラルマイナースケール 1 (5,6弦 人差し指、中指スタート)
10回目	ナチュラルマイナースケール 2 (5,6弦 小指スタート)
11回目	ナチュラルマイナースケール 3 (3 Note Per String、複合パターン)
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅢ Melodic ConceptsⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国ギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	メジャートライアド
3回目	マイナートライアド
4回目	オーギュメント、ディミニッシュトライアド
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4音のコードアルペジオ導入
7回目	課題曲での実践。
8回目	発表とフィードバック。
9回目	M7アルペジオ
10回目	7アルペジオ
11回目	課題曲での実践。
12回目	発表とフィードバック。
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅣ Melodic ConceptsⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	m7アルペジオ
3回目	実践とフィードバック。
4回目	m7b5アルペジオ
5回目	実践とフィードバック。
6回目	dim7アルペジオ
7回目	実践とフィードバック。
8回目	代理のアルペジオ
9回目	実践とフィードバック。
10回目	3,4和音のコードトーンアルペジオを使用したフレージング。
11回目	実践とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトV Harmonic Concept V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国ギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれ+A11:L16れのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	Major Mode Scaleの導入と使用方法、Ionian Scale(IM7)
3回目	Aeolian Scale(VIm7)
4回目	実践練習とフィードバック。
5回目	Dorian Scale(IIm7)
6回目	実践練習とフィードバック。
7回目	Mixolydian Scale(V7)
8回目	実践練習とフィードバック。
9回目	Lydian Scale(IVM7)
10回目	実践練習とフィードバック。
11回目	Phrygian Scale(IIIm7)
12回目	実践練習とフィードバック。
13回目	Locrian Scale(VIIIm7b5)
14回目	実践練習とフィードバック。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトVI Harmonic ConceptVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞ+A11:L16れのジャンルに適應したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	ソロ構築についての解説
3回目	IIm7-V7進行を用いたのソロ構築 (Dorian,Mixolydian)
4回目	課題曲のレクチャー。
5回目	実践と各自フィードバック。
6回目	中間チェック。
7回目	Jazz Blues進行でのソロ構築(Mixolydian,Dorian)
8回目	課題曲のレクチャー。
9回目	実践と各自フィードバック。
10回目	IM7-bIIIM7進行でのソロ構築(Ionian,Lydian)
11回目	課題曲のレクチャー。
12回目	実践と各自フィードバック。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅦ Harmonic ConceptⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メロディックマイナースケールとハーモニックマイナースケールから派生する各種スケールやシメトリカルスケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メロディックマイナーモードとハーモニックマイナーモードスケールの中から使用頻度が高いスケールを指板上のすべての位置で把握し代表的なJazz Standard進行でアドリブが出来るようになる。 転調があるコード進行上でメロディラインやソロを作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	Melodic Minor Mode導入、Melodic Minor Scale
3回目	Altered Scaleについて
4回目	実践と各自フィードバック。
5回目	Lydian b7 Scaleについて
6回目	実践と各自フィードバック。
7回目	Locrian 9 Scaleについて
8回目	実践と各自フィードバック。
9回目	Harmonic Minor Mode導入、Harmonic Minor Scaleについて
10回目	実践と各自フィードバック。
11回目	Hmp5 ↓ Scaleについて
12回目	実践と各自フィードバック。
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅧ Harmonic ConceptⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メロディックマイナースケールとハーモニックマイナースケールから派生する各種スケールやシメトリカルスケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国ギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メロディックマイナーモードとハーモニックマイナーモードスケールの中から使用頻度が高いスケールを指板上のすべての位置で把握し代表的なJazz Standard進行でアドリブが出来るようになる。 転調があるコード進行上でメロディラインやソロを作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	Half Whole Diminished ScaleとWhole Half Diminished Scaleについて
3回目	Whole Tone Scale
4回目	実践と各自フィードバック。
5回目	Jazz Standardsでのソロ構築1 Autumn Leaves
6回目	実践と各自フィードバック。
7回目	Jazz Standardsでのソロ構築2 The Days of Wine and Roses
8回目	実践と各自フィードバック。
9回目	Jazz Standardsでのソロ構築3 Stella by starlight
10回目	実践と各自フィードバック。
11回目	ソロ構築についてのまとめ。
12回目	後期振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
	Harmonic Concept I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	指板上の音名・ポジション
3回目	オクターブの位置関係
4回目	ルートだけコード進行を追う
5回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
6回目	パワーコードの仕組み
7回目	ルートの位置と5thの位置関係
8回目	パワーコードで楽曲を演奏①
9回目	パワーコードで楽曲を演奏②
10回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
11回目	インターバル、メジャーとマイナーの違い
12回目	トライアドの仕組み1
13回目	トライアドの仕組み2
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
	Harmonic Concept II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	3コードの理解①
3回目	3コードの理解②
4回目	3コードで楽曲演奏の解説。□
5回目	3コードで楽曲演奏の指導①
6回目	3コードで楽曲演奏の指導②
7回目	実践と発表、フィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード①
10回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード②
11回目	3和音のダイアトニックコード①
12回目	3和音のダイアトニックコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプトⅢ Harmonic ConceptⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのア イデアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	3和音のダイアトニックコードの復習。
3回目	4和音・7thコードの理解①
4回目	4和音・7thコードの理解②
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4和音のダイアトニックコード①
7回目	4和音のダイアトニックコード②
8回目	楽曲演奏・課題曲①
9回目	楽曲演奏・課題曲①の発表。
10回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
11回目	楽曲演奏・課題曲②
12回目	楽曲演奏・課題曲②の発表。
13回目	その他のコード(sus・6th・add9など)
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して 必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト IV	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
	Harmonic Concept IV	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	火曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイデアも加え応用する。 (講師プロフィール)</p> <p>これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー</p>							
【到達目標】							
<p>初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	楽曲演奏・課題曲③
3回目	楽曲演奏・課題曲③の発表。
4回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
5回目	楽曲演奏・課題曲④
6回目	楽曲演奏・課題曲④の発表。
7回目	前回のフィードバックと中間テストについて。
8回目	中間チェック。
9回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード①
10回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード②
11回目	その他（平行調など）
12回目	その他（平行調など）
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト V Harmonic Concept V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 1限
【授業の学習内容】							
<p>音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイデアも加え応用する。</p> <p>〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー</p>							
【到達目標】							
<p>初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。</p> <p>元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	4和音・7thコードの理解①
3回目	4和音・7thコードの理解②
4回目	4和音のダイアトニックコード①
5回目	4和音のダイアトニックコード②
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	4和音のマイナーダイアトニックコード①
8回目	4和音のマイナーダイアトニックコード②
9回目	カッティングパターン①
10回目	カッティングパターン②
11回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
12回目	アルペジオ奏法①
13回目	アルペジオ奏法②
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト VI Harmonic Concept VI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	コード進行に沿ったバックিং①
3回目	課題曲の指導
4回目	課題曲での実践①
5回目	中間チェック。
6回目	コード進行に沿ったバックিং②
7回目	課題曲の指導
8回目	課題曲での実践②
9回目	ナチュラルテンションコード①
10回目	ナチュラルテンションコード②
11回目	オルタードテンションコード①
12回目	オルタードテンションコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプトⅦ Harmonic Concept VII	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	R&Bスタイル
2回目	課題曲を使用しての実践。
3回目	発表とフィードバック。
4回目	Funkスタイル
5回目	課題曲を使用しての実践。
6回目	発表とフィードバック。
7回目	ボサノヴァ・ラテン スタイル
8回目	課題曲を使用しての実践。
9回目	発表とフィードバック。
10回目	ブルーススタイル①
11回目	ブルーススタイル②
12回目	課題曲を使用しての実践。
13回目	発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプトⅧ Harmonic Concept VIII	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	ジャズスタイル
3回目	課題曲を使用しての実践。
4回目	発表とフィードバック。
5回目	ソロギタースタイル①
6回目	課題曲を使用しての実践。
7回目	発表とフィードバック。
8回目	ソロギタースタイル②
9回目	課題曲を使用しての実践。
10回目	発表とフィードバック。
11回目	ソロギタースタイル③
12回目	発表とフィードバック。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ブレイングテクニック I Playing Techniques I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	宗正 恭平
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。 音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。 指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。自己紹介および授業内容の理解。
2回目	指の故障がない様、ストレッチエクササイズの仕方を指導。
3回目	ダイアトニックコードの仕組みを理解する①
4回目	ダイアトニックコードの仕組みを理解する②
5回目	中間チェック
6回目	基本的な譜面の書き方を指導しコードの仕組みを理解させる①
7回目	基本的な譜面の書き方を指導しコードの仕組みを理解させる②
8回目	復習とまとめ
9回目	一段譜を用いてコードを弾き分ける①
10回目	一段譜を用いてコードを弾き分ける②
11回目	復習とまとめ
12回目	音程の違いを理解し五線紙に完成させる。
13回目	全音符から16分音符までを聴き分け、五線紙に完成させる。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	宿題が出た時は、できる範囲でいいので挑戦してみてください。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	コードの性質を理解する事により、1年間で曲を幅広く学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックⅡ Playing Techniques Ⅱ	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	宗正 恭平
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。 音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。 指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。							

授業計画・内容	
1回目	ソロピアノ曲をレクチャー。
2回目	実演してもらい、チェックとフィードバック。
3回目	実演の最終チェック。
4回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける①
5回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける②
6回目	表現力を意識し、コードの特性を理解する①
7回目	表現力を意識し、コードの特性を理解する②
8回目	デュオのバックイングについて理解する②
9回目	デュオのバックイングについて理解する②
10回目	1年間を通しての復習。
11回目	学年末チェック。
12回目	まとめ
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作口
準備学習 時間外学 習	宿題が出た時は、できる範囲でいいので挑戦してみてください。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	コードの性質を理解する事により、1年間で曲を幅広く学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	宗正 恭平
	PlayingTechniquesⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。 音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。 指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。自己紹介および授業内容の理解。
2回目	それぞれの到達度及び理解度チェックとフィードバック。
3回目	ペナトニックを理解する①
4回目	ペナトニックを理解する②
5回目	実演と理解度チェック。
6回目	ブルーノートとブルーススケールを理解する①
7回目	ブルーノートとブルーススケールを理解する②
8回目	実演と理解度チェック。
9回目	ブルーススケールを使ったフレーズの耳コピー①
10回目	ブルーススケールを使ったフレーズの耳コピー②
11回目	実演と理解度チェック。
12回目	前期の復習①
13回目	前期の復習②
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	復習をできれば、たくさん行う事で理解力の向上がより期待できると思います。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	授業以外、プライベートでいろいろな曲を研究してみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	宗正 恭平
	PlayingTechniquesⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。 音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。 指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソルピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの共演などを行っている。							
【到達目標】 1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。							

授業計画・内容	
1回目	それぞれの到達度及び理解度チェックとフィードバック。
2回目	ブルースを理解する①
3回目	ブルースを理解する②
4回目	独奏でブルースソロを完成させる①
5回目	独奏でブルースソロを完成させる②
6回目	実践とフィードバック。
7回目	ソルピアナ曲をレクチャー。
8回目	実演してもらい、チェックとフィードバック。
9回目	実演の最終チェック。
10回目	今までの総合復習①
11回目	今までの総合復習②
12回目	学年末チェック
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	復習をできれば、たくさん行う事で理解力の向上がより期待できると思います。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	授業以外、プライベートでいろいろな曲を研究してみよう。
【使用教科書・教材・参考書】 ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックV	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	宗正 恭平
	PlayingTechniques V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。自己紹介および授業内容の理解。
2回目	指の故障がない様、全部のキーでストレッチエクササイズを行う。
3回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける。
4回目	ダイナミックマークの付いた楽譜を用いて指定されたとおりに実践する①
5回目	ダイナミックマークの付いた楽譜を用いて指定されたとおりに実践する②
6回目	楽曲の奏法をアナライズ。
7回目	楽曲の演奏と実践。
8回目	スタッカートとテヌートの違いを理解し弾き分ける①
9回目	スタッカートとテヌートの違いを理解し弾き分ける②
10回目	音を採譜し、五線紙上に完成させる①
11回目	音を採譜し、五線紙上に完成させる②
12回目	振り返り①
13回目	振り返り②
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	人の前で、心打つ演奏する事をこの1年間で意識する。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	心打つ演奏とは何なのかを自らよく、この1年間考えてください。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックVI PlayingTechniquesVI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	宗正 恭平
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度チェック。
2回目	コードの特性を理解し、いろいろなパターンでリハーモナイズを行う①
3回目	コードの特性を理解し、いろいろなパターンでリハーモナイズを行う②
4回目	ソロピアノ曲をアナライズとレクチャー。
5回目	ソロピアノ曲を指導とフィードバック。
6回目	ソロピアノ曲を完成。
7回目	ソロピアノ曲の実践と発表。
8回目	初見力を充実させ初心者の指導できる様、指導する①
9回目	初見力を充実させ初心者の指導できる様、指導する②
10回目	初見力を充実させ初心者の指導できる様、指導する③
11回目	今までの総合復習
12回目	実技テスト
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作口
準備学習 時間外学 習	人の前で、心打つ演奏する事をこの1年間で意識する。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	心打つ演奏とは何なのかを自らよく、この1年間考えてください。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックⅦ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	宗正 恭平
	PlayingTechniquesⅦ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏がたくさんできる事を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	到達度・理解度チェック。
2回目	ロングトーンアルペジオのエクササイズを指導。
3回目	ジャンルによるバックイングを理解する①
4回目	ジャンルによるバックイングを理解する②
5回目	ジャンルによるバックイングを実践する①
6回目	ジャンルによるバックイングを実践する②
7回目	ボーカルとのデュオの実践について。
8回目	課題曲①のレクチャー。
9回目	課題曲①の実践。
10回目	課題曲①のボーカルとのデュオ発表。
11回目	課題曲②のレクチャー。
12回目	課題曲②の実践。
13回目	課題曲②のボーカルとのデュオ発表。
14回目	振り返り。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	授業以外、プライベートでいろいろな曲の研究を希望します。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	できれば人の前で発表できる曲をたくさん集めて暗譜する事を希望します。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック曲集、プリント等	

科目名 (英)	ブレイングテクニックⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	宗正 恭平
	PlayingTechniquesⅧ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏がたくさんできる事を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	課題曲③のレクチャー。
3回目	課題曲③の実践。
4回目	課題曲③のボーカルとのデュオ発表。
5回目	課題曲④のレクチャー。
6回目	課題曲④の実践。
7回目	課題曲④のボーカルとのデュオ発表。
8回目	課題曲⑤のレクチャー。
9回目	課題曲⑤の実践。
10回目	課題曲⑤のボーカルとのデュオ発表。
11回目	初心者指導の実習①
12回目	初心者指導の実習②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作口
準備学習 時間外学 習	授業以外、プライベートでいろいろな曲の研究を希望します。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	できれば人の前で発表できる曲をたくさん集めて暗譜する事を希望します。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック曲集、プリント等	

科目名 (英)	楽曲制作技法 I Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3,4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 授業準備説明 作編曲のスキル向上の仕方
2回目	音高による抑揚 全音符課題
3回目	全音符と2分音符のみでのメロディ作成・休符も含めたリズム緩急
4回目	4分音符迄のメロディ作成・密と疎・順次進行と跳躍進行
5回目	8分音符迄のメロディ作成・リズムの反復
6回目	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来るようになる
7回目	起承転結と二部形式・唱歌課題
8回目	内音と外音・どうコードがメロと合うのか・協和音と不協和音
9回目	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし、変化のあるメロディを作れるようになる
10回目	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし、意外性のあるメロディを作れるようになる
11回目	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし、インパクトのあるメロディを作れるようになる
12回目	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつけられる様にする
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和音が付けられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者を脱するための基本的な作曲作法を身につけます
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅱ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3,4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる。</p> <p><実務者経験></p> <p>作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」</p>							

授業計画・内容	
1回目	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする
2回目	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする
3回目	ドミナントモーションと7thコード
4回目	四和音上での作曲と注意点
5回目	短音階上での作曲・ナチュラルマイナー
6回目	短音階上での作曲・ハーモニックマイナー
7回目	短音階上での作曲・メロディックマイナー
8回目	キーとは何か？キーの判別
9回目	sus4・sus2コードと解決
10回目	add9の使い方
11回目	6thコードの使い方
12回目	後期まとめ・自由課題
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和声が付けれられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者を脱するための基本的な作曲作法を身につけます
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅲ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1,2限
【授業の学習内容】 作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に合った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作る様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作る様になる							

授業計画・内容	
1回目	シババス及び到達目標の確認 授業概要説明 アベイラブルノートスケールの意味・ミクソリディアンの意味とドミナントモーションとの関係
2回目	セカンダリドミナント①・近親調とは何か?・属和音へのセカンダリドミナントIメジャーキーII7
3回目	セカンダリドミナント②・メジャー・マイナーでの下屬和音へのセカンダリドミナントI7・ミクソリディアンb6th
4回目	セカンダリドミナント③・平行調との行き来・IメジャーキーIII7・Hmp5
5回目	セカンダリドミナント④・メジャーキーVI7・マイナーキーI7
6回目	セカンダリドミナント⑤・メジャーキーVII7・マイナーキーII7
7回目	IIm7-V7・IIm7-5・ツーファイブモーション
8回目	テンション1_ドミナントV9&Vb9&V#9
9回目	テンション2_ドミナントV9sus4&V#11
10回目	テンション3_ドミナントV13sus4&Vb13
11回目	トニック・サブドミナントでのテンション
12回目	トライトーン・サブステイトーション
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅳ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜日1,2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に合った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作る様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。</p> <p><実務者経験> 作編曲から、Re-Mix・Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作る様になる</p>							

授業計画・内容	
1回目	パッシング・ディミニッシュ
2回目	b II9#11_ホルトーンスケール
3回目	ベース・ペダルポイント
4回目	モーダル・インターチェンジ-1
5回目	モーダル・インターチェンジ-2
6回目	モーダル・インターチェンジ-3
7回目	ソプラノ・ペダルポイント
8回目	ライン・クリシエ
9回目	Riffによる作曲実践
10回目	ドミナント転調・ピボットコード転調
11回目	dim7・augの読み替えによる転調
12回目	コモンノート転調・後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅴ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5限
【授業の学習内容】 楽曲の中核、リズム隊と言われる「Drum/Bass」についてこれまでよりさらに深く学びます。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に頼ることのない「生感」のあるリズムを表現できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	リズムのバリエーション 1 フレーズ
2回目	リズムのバリエーション 2 タイミング・ハネ
3回目	リズムのバリエーション 3 アクセント
4回目	リズムのバリエーション 4 ゴーストノート
5回目	Bass Line 1 root音と音域 Bassの役割
6回目	Bass Line 2 Groove1 デレーション
7回目	Bass Line 3 Groove 2 ゴーストノート
8回目	Bass Line 4 オクターブとアプローチノート
9回目	Bass Line 5 5thの使い方
10回目	Bass Line 6 7thと3rd
11回目	Bass Line 7 RiffとしてのBass
12回目	Bass Line 8 ジャンル毎の典型的なBass Line
13回目	リズム隊としてのBass 1 Drums と Bass のコンビネーション
14回目	リズム隊としてのBass 2 アクセントユニゾンと絡み合い
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学 習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技法VI Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜日5限
【授業の学習内容】 実際の楽曲制作やアレンジを通じてブラスセクション/ストリングスセクションについて学ぶ <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に囚われないブラスセクション/ストリングスセクションの構築ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	Brass Section 1 ブラスアレンジ面での楽器編成・奏法
2回目	Brass Section 2 音域とユニゾン
3回目	Brass Section 3 アーティキレーション
4回目	Brass Section 4 クローズドボイスイングとTopLine
5回目	Brass Section 5 Drop2
6回目	Brass Section 6 Drop2&4
7回目	Brass Section 7 Drop3
8回目	Brass Section 8 パッキングのバリエーション
9回目	Strings Arrange 1 Stringsの役割・編成・奏法
10回目	Strings Arrange 2 ユニゾンのバリエーション
11回目	Strings Arrange 3 奏法とエクスプレッション
12回目	Strings Arrange 4 四声体とオープンボイスイング
13回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 1
14回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 2
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学 習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	トラックメイク I Track Make I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2限
【授業の学習内容】							
音楽の三大要素「リズム、メロディー、ハーモニー」の中の「リズム」を学習し、適切なリズムを自身の楽曲制作に取り入れる。							
<実務者経験> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI 『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】							
・基礎的なリズムをDAW上で再現できるようになる ・各ジャンルごとのリズムパターンを学習し求められるジャンルを適切に制作できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、トラックメイク実演
2回目	各種ドラムのキットを理解する 8ビート、16ビートの打ち込み
3回目	4つ打ちの打ち込み
4回目	シャッフルビートの打ち込み
5回目	スイングビートの打ち込み
6回目	打ち込みのリアルタイムレコーディング
7回目	音楽ジャンルについて
8回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方①
9回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方②
10回目	Spliceの使い方
11回目	無料プラグイン紹介
12回目	トラックメイクの便利な手法紹介
13回目	新しい音楽の探し方
14回目	自分の好きな曲プレゼン大会
15回目	前期テスト
準備学習 時間外学 習	・Logicのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	現代の音楽はビートのパターンはメロディと同じくらい大事な要素です。リズムを徹底的に追い込みドラム打ち込みを極めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	トラックメイクⅡ Track MakeⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	緒方 嶺(yuzen)
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2限
【授業の学習内容】 前記に学習したリズムを更に発展させて、音色の加工について学習する							
<講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 ・各ジャンルに合った適切な音色を選択できるようになる ・商品にできるドラム音色の加工方法を習得する							

授業計画・内容	
1回目	生ドラムの音色について (3/10)
2回目	生ドラムの音色について (6/10)
3回目	生ドラムの音色について (10/10)
4回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (3/10)
5回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (6/10)
6回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (10/10)
7回目	ドラummマシンの音色について (3/10)
8回目	ドラummマシンの音色について(6/10)
9回目	ドラummマシンの音色について(10/10)
10回目	ドラummマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (3/10)
11回目	ドラummマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (6/10)
12回目	ドラummマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (10/10)
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクⅢ Track MakeⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前記
						曜日・時限	金2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用法、およびシンセサイザーの使用法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクIV Track MakeIV	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用したダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「もちもち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクV Track Make V	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前記
						曜日・時限	金3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用法、およびシンセサイザーの使用法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクVI Track MakeVI	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用したダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用法、およびシンセサイザーの使用法。 <実務者経験> 「もちろみストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	DAWオペレーション I DAW Operation I	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3.4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析①「課題曲はその時のチャートによります」
2回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析②「課題曲はその時のチャートによります」
3回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析③「課題曲はその時のチャートによります」
4回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析④「課題曲はその時のチャートによります」
5回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析⑤「課題曲はその時のチャートによります」
6回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる①
7回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる②
8回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる③
9回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる④
10回目	シンセ系のサウンドを研究する①
11回目	シンセ系のサウンドを研究する②
12回目	シンセ系のサウンドを研究する③
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面</p>	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅡ DAW Operation Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3.4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する①
2回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する②
3回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する③
4回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する④
5回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑤
6回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑥
7回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる①
8回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる②
9回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる③
10回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる④
11回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑤
12回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑥
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認しておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面</p>	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅢ DAW OperationⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3.4限
<p>【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。</p> <p><講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</p>							
<p>【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析①「課題曲はその時のチャートによります」
2回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析②「課題曲はその時のチャートによります」
3回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析③「課題曲はその時のチャートによります」
4回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析④「課題曲はその時のチャートによります」
5回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析⑤「課題曲はその時のチャートによります」
6回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる①
7回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる②
8回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる③
9回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる④
10回目	シンセ系のサウンドを研究する①
11回目	シンセ系のサウンドを研究する②
12回目	シンセ系のサウンドを研究する③
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面</p>	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅣ DAW OperationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3.4限
<p>【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。</p> <p><講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</p>							
<p>【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する①
2回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する②
3回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する③
4回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する④
5回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑤
6回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑥
7回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる①
8回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる②
9回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる③
10回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる④
11回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑤
12回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑥
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認しておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面</p>	

科目名 (英)	編集・ディレクション I・II Editing & Direction	必修 選択	必修 選択	年次	2,3年後期	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2,3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>主にボーカルミックスについて学びます。その他にもボーカルのディレクションや特殊なエフェクトの使い方等も同時に学びます。</p> <p><実務者経験></p> <p>黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーカルがしっかりと聞こえるようなミックスができるようになること ・製品レベルのミックスが行えるようになること 							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	ボーカルディレクションの心構え、ボーカルミックスの考え方について
3回目	ボーカルテイク選出、テイクフォルダの使用方法
4回目	①ピッチ修正 (メロダイナ使用方法)
5回目	②ピッチ修正 (ピッチ修正)
6回目	③ピッチ修正 (リズム修正)
7回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用方法①
8回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用方法②
9回目	ボーカルに対するEQの使用方法①
10回目	ボーカルに対するEQの使用方法②
11回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用方法①
12回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用方法②
13回目	ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法①
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	エフェクトの種類に対する理解
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ボーカルというパートは今も昔も変わらず主役になるパートです。その主役になる部分の音をしっかりと作れるようになり、自身の楽曲のレベルをあげていきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>Macbook, Logic Pro X メロダイナ</p>	

科目名 (英)	編集・ディレクションⅢ・Ⅳ Editing & Direction	必修 選択	必修 選択	年次	2.3年後期	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 前期で学んだ基本エフェクトを基盤にして、ジャンルごとに沿ったエフェクトを掛けられるようになる。							
＜実務者経験＞ 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 ジャンルに沿ったボーカルの音作りができるようになる。 特殊なエフェクト（ボコーダー等）が問題なく使用できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	前期のおさらい ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法②
3回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について①
4回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について②
5回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について③
6回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について①
7回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について②
8回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について③
9回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について①
10回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について②
11回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について③
12回目	テスト実施
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	歌モノの自作楽曲準備
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	ジャンルに沿ったボーカルの音作りについて学びます。自作楽曲で実際に"使える"ようなエフェクトを教えたいと考えていますので、今のうちに楽曲は作り貯めておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4.5限
【授業の学習内容】							
<p>本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。</p> <p>講師プロフィール：株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 <p>を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／オリエンテーション
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽のマネタイズについて
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽業界について
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：作詞について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：ミックスダウンについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：ルーツミュージックについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：ヒット曲の分析法
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：プラグインの考え方
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンペの考え方
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：SNS戦略について
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：メタバースについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：サブスクリプションサービスについて
13回目	オリジナル楽曲制作／講義：著作権について
14回目	配信リリースイベント
15回目	配信リリースイベント
準備学習 時間外学 習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4.5限
【授業の学習内容】 本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。 講師プロフィール：株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。							
【到達目標】 アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／講義：JASRAC/Nextoneについて
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽出版社について
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：NFTについて
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：セルフレコーディングについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：コライティングについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：EQについて
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンプレッサーについて
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：マスタリングについて
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：AIプラグインについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：確定申告について
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	アーティストディレクション I・II Artist Direction I・II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	戸田 清章
学科・コース	スーパー・e.エンターテインメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日2,3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界の実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ</p> <p><講師プロフィール> サウンドプロデューサー レコーディング&ミキシングエンジニア S.O.L.D. Sound Lab 代表 AI、安室奈美恵、ももいろクローバーZなど数々の有名アーティストのレコーディングを行っている。ゲーム音楽、映画音楽制作にも携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>音楽プロデューサーとして、音楽を制作する視点を養いながら、実際の作業方法も身を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	業界知識①
3回目	業界知識②
4回目	業界知識③
5回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス①
6回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス②
7回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス③
8回目	ヴォーカルレコーディング MIX・アドバンス
9回目	バンドレコーディング・アドバンス①
10回目	バンドレコーディング・アドバンス②
11回目	バンドレコーディング・アドバンス③
12回目	バンドレコーディング MIX・アドバンス
13回目	バンドレコーディング MIX・アドバンス
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	パイプロダクション、課題制作
評価方法	レコーディング技能
受講生への メッセージ	企業課題制作を通して、プロの制作現場を学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	アーティストディレクションⅢ・Ⅳ Artist DirectionⅢ・Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	戸田 清章
学科・コース	スーパーエエターテイメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日2,3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界の実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ</p> <p><講師プロフィール> サウンドプロデューサー レコーディング&ミキシングエンジニア S.O.L.D. Sound Lab 代表 AI、安室奈美恵、ももいろクローバーZなど数々の有名アーティストのレコーディングを行っている。ゲーム音楽、映画音楽制作にも携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>音楽プロデューサーとして、自らチームを牽引し課題制作が出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	企業課題制作 MIX①
3回目	企業課題制作 MIX②
4回目	企業課題制作 MIX③
5回目	企業課題制作 MIX④
6回目	企業課題制作 MIX⑤
7回目	作品制作 レコーディング①
8回目	作品制作 レコーディング②
9回目	作品制作 レコーディング③
10回目	作品制作 レコーディング④
11回目	作品制作 MIX①
12回目	実技テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	ライブプロダクション、課題制作
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	企業課題制作を通して、プロの制作現場を学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングゼミ I	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	濱本 真澄
	Recording Seminar I				90	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	(6)	曜日・時限	水曜日 2.3.4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジャーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>主にプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。</p> <p>楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。</p> <p>スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲①ベーシックレコーディング
2回目	オリジナル楽曲①ダビング
3回目	オリジナル楽曲①ミックス
4回目	オリジナル楽曲②ベーシックレコーディング
5回目	オリジナル楽曲②ダビング
6回目	オリジナル楽曲②ミックス
7回目	オリジナル楽曲③ベーシックレコーディング
8回目	オリジナル楽曲③ダビング
9回目	オリジナル楽曲③ミックス
10回目	オリジナル楽曲④ベーシックレコーディング
11回目	オリジナル楽曲④ダビング
12回目	オリジナル楽曲④ミックス
13回目	前期まとめ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	作曲学生とのプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングゼミⅡ Recording Seminar Ⅱ	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日 2.3.4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジャーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>主にプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。</p> <p>楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。</p> <p>スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作楽曲①ベーシックレコーディング
2回目	卒業制作楽曲①ダビング
3回目	卒業制作楽曲①ミックス
4回目	卒業制作楽曲②ベーシックレコーディング
5回目	卒業制作楽曲②ダビング
6回目	卒業制作楽曲②ミックス
7回目	卒業制作楽曲③ベーシックレコーディング
8回目	卒業制作楽曲③ダビング
9回目	卒業制作楽曲③ミックス
10回目	卒業制作楽曲④ベーシックレコーディング
11回目	卒業制作楽曲④ダビング
12回目	卒業制作楽曲④ミックス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	作曲学生とのプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミⅢ Recording Seminar Ⅲ	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アーティストのアルバムを完成させることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「Made in Japan2」 ミックス
2回目	「Made in Japan2」 ミックス
3回目	「Made in Japan2」 ミックス
4回目	「Made in Japan2」 ミックス
5回目	「Made in Japan2」 ミックス
6回目	「Made in Japan2」 ミックス
7回目	「Made in Japan2」 ミックス
8回目	「Made in Japan2」 ミックス
9回目	「Made in Japan2」 ミックス
10回目	「Made in Japan2」 ミックス
11回目	「Made in Japan2」 マスタリング
12回目	Sora & Reiya Project プリプロ
13回目	Sora & Reiya Project プリプロ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミⅣ Recording Seminar IV	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アーティストのアルバムを完成させることが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Sora & Reiya Project レコーディング
2回目	Sora & Reiya Project レコーディング
3回目	Sora & Reiya Project レコーディング
4回目	Sora & Reiya Project レコーディング
5回目	Sora & Reiya Project レコーディング
6回目	Sora & Reiya Project レコーディング
7回目	Sora & Reiya Project レコーディング
8回目	Sora & Reiya Project レコーディング
9回目	Sora & Reiya Project ミックス
10回目	Sora & Reiya Project ミックス
11回目	Sora & Reiya Project ミックス
12回目	Sora & Reiya Project マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	バンドアンサンブル I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① 授業概要説明。ステージマナーを身につけていこう！ 機材や楽器の基本的な使い方を覚えよう！
2回目	課題曲① カウントの出し方、曲の締め方のやり方を身につけよう！ アンサンブルにおける音量バランスを覚えよう！
3回目	課題曲② 基本的な譜面の読み方を理解して、演奏しよう！
4回目	課題曲② 共通譜面におけるリハーサルマーク、リピート記号や括弧、D・S等の記号の意味を理解し演奏しよう！
5回目	課題曲③ 演奏中にアイコンタクト等、演奏中にコミュニケーションを取ろう！
6回目	課題曲③ 鏡を使い、パフォーマンスを意識した演奏してみよう！
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう①
9回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう②
10回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう①
11回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう②
12回目	テスト週 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	テスト週 前期で学んだことを活かし、オリジナルバンドを組んで演奏しよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅡ Band Ensemble Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 3限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科						
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 様々なジャンルの楽曲より、バンドアレンジやデジタル機材を用いたアレンジ、ステージパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock①
2回目	課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock②
3回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート①
4回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート②
5回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感①
6回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感②
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げよう！
8回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう①
9回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう②
10回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう①
11回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう②
12回目	実演ライブに向けて 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	実演ライブ 本番 前期で学んだことを活かし最高のパフォーマンスをしよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅣ Band Ensemble Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 4 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用手法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜3・4限
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 							
【講師プロフィール】							
福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ボカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①I Wish：ボカカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
2回目	課題曲①I Wish：楽曲のサイズを変更して(XTime)、セクションの合図を出してみよう。ボカカルが安心できる演奏をしよう。
3回目	課題曲①I Wish：ボカカルが自然にノれる演奏をしよう
4回目	課題曲②ボカカルが自然にノれる演奏をしよう
5回目	課題曲②ボカカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
6回目	課題曲②ボカカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
7回目	課題曲③ボカカルが自然にノれる演奏をしよう
8回目	課題曲③ボカカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
9回目	課題曲③ボカカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
10回目	課題曲④ボカカルが自然にノれる演奏をしよう
11回目	課題曲④ボカカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
12回目	課題曲④ボカカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
13回目	課題曲⑤ボカカルが自然にノれる演奏をしよう
14回目	課題曲⑤ボカカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
15回目	課題曲⑤ボカカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜 	

科目名 (英)	バンドアンサンブルVI Band Ensemble VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて 楽曲担当振り割り
2回目	We Are FSMに向けて コーラス担当振り割り
3回目	We Are FSMに向けて 担当楽曲練習
4回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整①
5回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整②
6回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整③
7回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック①
8回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック②
9回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック③
10回目	全曲通しリハーサル①
11回目	全曲通しリハーサル②
12回目	全曲通しリハーサル③
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜 	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅦ Band Ensemble VII	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3・4限
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 							
【講師プロフィール】							
福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ボカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	課題曲①ルパート曲、ボーカルが楽器陣を先導してみよう
2回目	課題曲① 楽曲のサイズを変更して(XTime)、セクションの合図を出してみよう
3回目	課題曲①バンド全体でアイコンタクトを取りながら演奏してみよう
4回目	課題曲②譜面を書いてバンドメンバーと共有してみよう
5回目	課題曲②コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
6回目	課題曲②完成したアレンジを演奏しよう
7回目	課題曲③既存の楽曲のアレンジをしてみよう
8回目	課題曲③コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
9回目	課題曲③完成したアレンジを演奏しよう
10回目	課題曲④既存の楽曲のアレンジをしてみよう
11回目	課題曲④コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
12回目	課題曲④完成したアレンジを演奏しよう
13回目	課題曲⑤既存の楽曲のアレンジをしてみよう
14回目	課題曲⑤コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
15回目	課題曲⑤完成したアレンジを演奏しよう
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜 	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅧ Band Ensemble Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて 楽曲担当振り割り
2回目	We Are FSMに向けて コーラス担当振り割り
3回目	We Are FSMに向けて 担当楽曲練習
4回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整①
5回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整②
6回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整③
7回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック①
8回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック②
9回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック③
10回目	全曲通しリハーサル①
11回目	全曲通しリハーサル②
12回目	全曲通しリハーサル③
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	<p>ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客様や関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。</p>
【使用教科書・教材・参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具,iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜 	

科目名 (英)	アンサンブル I Ensemble I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	田原佑一郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
<p>楽曲を教え、準備していく過程の中で、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけではなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に行い、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパトリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることで経験値を積み重ねることができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに歌唱
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぶ
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表、配信を通して成果物を発表、振り返り
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぶ
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	前期最後の発表曲を歌唱指導
12回目	前期発表（試験）
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	音楽は、課題曲を通してその曲だけを歌えるようになっても成果は十分ではありません。大切なのは練習の仕方、ステージに立つ経験の中で得る学び、改善してまた次に臨むこと、このサイクルを学ぶことが重要です。練習の仕方を学び、どのような曲でもその習慣が活かされるような基礎力を見に付けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル II Ensemble II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	田原佑一郎
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
<p>楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリーの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけではなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に行い、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積み重ねることができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぶ
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぶ
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表会、配信にて成果物を発表、振り返り
8回目	男性 Perfect 女性 Some one like youを学ぶ
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	最終発表（後期試験）
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	成長に重要なのは、経験を活かすことです。前期に学んだことは後期に活かすこと、同じミスを繰り返さない、もし繰り返す場合はその原因をしっかりとみつけて改善していくことが大切です。成長をサイクルをつかみとっていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル Ⅲ Ensemble Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 3 限目
【授業の学習内容】							
<p>世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力をつける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカリストの基礎を築く。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池東信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かつよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Don't stop believin' 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲①1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②Careless whisper,Rehub 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲②1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Livin' la vida loca,Just missed the train 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④What's goin' on,I wanna dance with somebody 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Always,Stronger 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	課題曲⑥This love,I will survive 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
12回目	課題曲⑥1コーラス発表、フィードバック実践
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	<p>一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえたいと思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート</p>	

科目名 (英)	アンサンブル IV Ensemble IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日 3 限目
【授業の学習内容】 世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカリストの基礎を築く。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かつよく歌う自分を具体的にプランし表現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲①Just the way you are,Theme from Mahogany 1コーラスレクチャー (発音、リズム、音程)、発表
2回目	課題曲① 1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②All of me,Underdog 1コーラスレクチャー (発音、リズム、音程)、発表
4回目	課題曲② 1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Thousand miles 1コーラスレクチャー (発音、リズム、音程)、発表
6回目	課題曲③ 1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④Perfect,Roar 1コーラスレクチャー (発音、リズム、音程)、発表
8回目	課題曲④ 1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Endless love 1コーラスレクチャー (発音、リズム、音程)、発表
10回目	課題曲⑤ 1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	発表会リハーサル
12回目	後期発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえたいと思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブルV Ensemble V	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山口 涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストゥルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。 【講師プロフィール】山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ。JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝。JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。							
【到達目標】 課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Key=E 3コードのブルース(8th)」ステージマナーを養い、楽器・機材の基本的な使い方を覚える。
2回目	「Key=A 3コードのブルース(シャッフル)」カウントの出し方、曲の締め方を理解する。アンサンブルにおける音量バランスを覚える。□
3回目	「3コードのブルース(メロディあり)」基本的な楽譜の読み方を理解し、演奏する。□
4回目	「3コードのブルース(メロディ・ソロあり)」共通譜面におけるリポート記号や括弧、コーダ等の記号の意味を理解し演奏する。□
5回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。リハーサルマークの意味を理解し演奏する。□
6回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。楽曲を完成させる。□
7回目	「The Chicken」楽曲のリズムを演奏者全員が体の動きを通して共有し、Feelの合った演奏を学ぶ。□
8回目	「The Chicken」ストレートとスウィングの16beatの違いを理解し演奏する。楽曲を完成させる。□
9回目	「Sunny」楽曲における抑揚のつけかた、演奏の表現方法を学ぶ。□
10回目	「Sunny」イントロ、アウトロの作成方法を学ぶ。楽曲を完成させる。□
11回目	「Chameleon」楽曲のキメを理解し演奏する。キメ後の拍数をカウントする。□
12回目	「Chameleon」ソロを弾く。楽曲を完成させる。
13回目	ソロの作り方、アドリブのアイデア、バックিংやコードコンピングのアイデア講座
14回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル) □
15回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番) □
準備学習 時間外 学習	受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢 (40%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (30%) 自己実現力と演奏力の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	アンサンブルVI Ensemble VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山口 涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストゥルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。							
【講師プロフィール】山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ。JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝。JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。							
【到達目標】 課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Led Boots」リズムパターンのキメや変拍子を理解し演奏する。
2回目	「Led Boots」楽曲を完成させる。
3回目	「Footprints」4分の3拍子のリズムを理解し演奏する。
4回目	「Footprints」楽曲を完成させる。
5回目	「C Jam Blues」Swingのリズムを理解し演奏する。□
6回目	「C Jam Blues」4barsや8barsの受け渡しができるようになる。□
7回目	「Fly me to the moon」Ebsa Novaのリズムを理解し演奏する。□
8回目	「Fly me to the moon」定番のイントロやエンディング、セクションの変わり目のリズムパターンを理解し演奏する。□
9回目	「Isn't she lovely」リズムパターンのキメや拍子を理解し演奏する。
10回目	「Isn't she lovely」楽曲を完成させる。
11回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル) □
12回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番) □
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢 (40%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (30%) 自己実現力と演奏力の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	アンサンブルⅦ Ensemble Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	山野 修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。							
【講師プロフィール】山野修作(ギター) 2003年 NYに渡りジャズギター界の巨匠ジョン・アバークロムビー、ジーン・バートンシーニラに師事。 その後度々渡米し、世界的なドラマーであるビル・スチュアートらとNYで3枚のCDを製作。同時にNYのトップミュージシャンであるアダム・バートンバウム(ピアノ)、マット・クロシー(ベース)、マーク・ファーバー(ドラム)らとホールコンサートなどを含む全国ツアーを継続している。							
【到達目標】 現場での即戦力になるのはもちろん、より高いレベルでのアーティストになる為の下地作りをする。							

授業計画・内容	
1回目	ブルース
2回目	ブルース 2
3回目	Medium Swing
4回目	Medium Swing 2
5回目	Medium Fast Swing
6回目	Medium Fast Swing 2
7回目	Jazz Waltz
8回目	Jazz Waltz 2
9回目	Bossa Nova
10回目	Bossa Nova 2
11回目	Samba その他Latin
12回目	Samba その他Latin 2
13回目	まとめ
14回目	まとめ 2
15回目	中間テスト
準備学習 時間外 学習	各リズムパターン・ルーティメント
評価方法	中間テスト
受講生への メッセージ	周りから信頼されるミュージシャンになれるよう頑張りましょう。

科目名 (英)	アンサンブルⅧ Ensemble VIII	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	山野 修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜5限
【授業の学習内容】							
<p>ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。</p> <p>【講師プロフィール】山野修作(ギター) 2003年 NYに渡りジャズギター界の巨匠ジョン・アバークロムビー、ジーン・バートンシーニラに師事。 その後度々渡米し、世界的なドラマーであるビル・スチュアートらとNYで3枚のCDを製作。同時にNYのトップミュージシャンであるアダム・バートン(ピアノ)、マット・クロシー(ベース)、マーク・ファーバー(ドラム)らとホールコンサートなどを含む全国ツアーを継続している。</p>							
【到達目標】							
現場での即戦力になるのはもちろん、より高いレベルでのアーティストになる為の下地作りをする。							

授業計画・内容	
1回目	前期おさらい
2回目	Fast Swing
3回目	Fast Swing 2
4回目	Latin & Swing
5回目	Latin & Swing 2
6回目	Slow tempo
7回目	Slow tempo 2
8回目	5/4 7/4など変拍子
9回目	5/4 7/4など変拍子 2
10回目	おさらい
11回目	おさらい2
12回目	期末テスト
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	各リズムパターン・ルーティメンツ
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	周りから信頼されるミュージシャンになれるよう頑張りましょう

科目名 (英)	スタイルアナライズ I Style Analysis I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤勝
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】							
<p>・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロンアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぼう
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
7回目	田原先生の間発表会への予習 (歌唱指導・ステージでの心がけ)
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぼう
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
11回目	授業発表会に向けての指導・アドバイス
12回目	田原先生授業内発表会リハーサル
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	課題曲を通して、授業外でのプロセスの積み方を、学生の中に沢山経験してください。努力した分、必ず結果が出る事を信じて、頑張りましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅡ Style Analysis Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤勝
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】							
<p>・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積み重ねることができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぼう
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。対面での歌唱・アドバイス
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぼう
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
7回目	中間発表会へのリハーサル
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぼう
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
11回目	田原先生の授業内発表会リハーサル
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	1年後期を質の高さを意識したプロセスをふむことによって、2年次に向けて、モチベーションを高くもって迎える事ができます。音楽は積み重ねることで、表現が広がっていきます。後期も頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅢ Style Analyze Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 文字表や短い会話文でのハングルの基礎解説と実践、課題曲を用いての言葉の基礎と音楽的表現の解説と実践、歴史や文化の解説とエンターテイメントについての考察と歌唱への応用実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音の基礎を理解して歌えるようになろう♪ オギャンの基礎を理解して歌えるようになろう♪ 音楽的表現を理解し歌えるようになろう♪ 時代背景や文化を知りそれら理解して歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	ことば、歌唱的発音、楽曲や歌唱分析、時代背景や文化を学ぶことで広がる可能性を見つけよう、デュオの課題曲①
2回目	発音①(母音、ワ行、ヤ行)
3回目	発音②(ロ、レ、オ、エ、平音、パッチム①)
4回目	発音③(ハ、ヒ、フ、濃音、激音、パッチム②)、デュオの課題曲②
5回目	オギャン①(低中の基本)、発音を意識して歌えるようになろう
6回目	オギャン②(高中の基本)、リズムとグルーブと発音を意識して歌えるようになろう
7回目	小テスト、デュオの課題曲③
8回目	発音①バリエーション、ダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	発音②バリエーション、音色を意識して歌えるようになろう
10回目	発音③バリエーション、デュオの課題曲④
11回目	オギャン①バリエーション、韓国文化と歴史から学ぼう
12回目	オギャン②バリエーション、K-POPの歴史から学ぼう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルと一緒に見ていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅣ Style Analysis IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーティスト科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 課題曲や短いフレーズを用いて、歌唱のためのことばのアプローチ実践、ジャンルや年代ごとの歌唱解説と実践 コーラスワークの解説と実践、自身の歌唱スタイルを構築するための考察と実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音全般とオギャンを歌唱の中で活かせるようになろう♪ ジャンルや年代に対応した歌唱ができるようになろう♪ 少人数でのボーカルアンサンブルができるようになろう♪ 自分自身のスタイルを見つけ進化成長し続けられるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	発音①ラップMix、デュオ課題曲⑤
2回目	発音②ラップMix、ジャンル年代歌唱比較①
3回目	発音③ラップMix、ジャンル年代歌唱比較②
4回目	オギャン①ラップMix、デュオ課題曲⑥
5回目	オギャン②ラップMix、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ①
6回目	小テスト、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ②
7回目	課題曲⑦、課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ①
8回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ②
9回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ③
10回目	自分自身のアーティストスタイルについて考えてみよう
11回目	成果成長のために、学びを振り返ろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅤ Style Analysis Ⅴ	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 各種ジャンルのビートとコード進行を用いた分析と作曲メソッド 特殊和音の理解と活用 基本的な代理和音の理解とメロディーの生成 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 様々なジャンルでのモチーフとセクションでのリズムとメロディーとコードの差別化ができる 特殊な和音でのメロディーメイクができる シンプルなコード進行の中で作曲メソッドを活かすことができる							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、コードを用いたセクションの差別化
2回目	リズム、メロディー、コードを用いたモチーフの差別化
3回目	評価
4回目	4ビート、2ビート、コード進行とメロディーメイク
5回目	主要ジャンル、コード進行とメロディーメイク
6回目	副ジャンル、コード進行とメロディーメイク
7回目	評価
8回目	特殊三和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
9回目	特殊四和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
10回目	評価
11回目	ダイアトニックコードの代理和音を用いたコード進行、メロディーメイク
12回目	カデンツと終止でのメロディーメイク
13回目	We Are FSM RH
14回目	ツーコードでのメロディーメイク
15回目	総合評価
準備学習 時間外学 習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いた分析 各種メソッドを用いた試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズVI Style Analysis VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 ドミナント系コードでのスケール より高度なドミナントコードプロGRESSION 基本的なモジュレーション 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC家族のために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ドミナント系のコードスケールを楽曲制作に活用できる より高度なドミナント系のアプローチが理解し活用できる 基本的な転調の理解と活用ができる							

授業計画・内容	
1回目	ドミナントコードバリエーションのコードスケール
2回目	セカンダリドミナントのコードスケール
3回目	評価
4回目	サブスティテュートドミナント、クエスチョンアンドアンサーの応用
5回目	エクステンデッドドミナント、コールアンドレスポンスの応用
6回目	モーダルインターチェンジ、繰り返しのアプローチの応用
7回目	メロディックマイナー派生モード、リズムアプローチの応用
8回目	評価
9回目	モジュレーション、近親調、プレゼン思案
10回目	ダイレクトモジュレーション、プレゼン準備
11回目	ピボットモジュレーション、プレゼンリハ
12回目	総合評価
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅦ Style Analysis Ⅶ	必修 選択	必修 選択	年次	4	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】 作曲技法の音楽的アプローチ コードスケール モジュレーション 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマツナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 各種コードでのスケールを理解し活用できる モジュレーションを理解し活用できる 作曲メソッドを用いながら聴感での楽曲制作ができる							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、コードを用いたセクションとモチーフの差別化
2回目	各ジャンルにおける総合的なメロディーメイク
3回目	評価
4回目	サブスティテュートドミナント、ディミニッシュセブンス、オーギュメントのコードスケール
5回目	モーダルインターチェンジのコードスケール、コードワーク
6回目	評価
7回目	プライマリドミナント転調、クエスチョンアンドアンサーの活用
8回目	セカンダリドミナント転調、コールアンドレスポンスの活用
9回目	サブスティテュートドミナント転調、繰り返しのアプローチの活用
10回目	エクステンデッドドミナント転調、リズムアプローチの活用
11回目	評価
12回目	アヴェイラブルテンションとアヴォイド
13回目	ドミナントコードのアヴェイラブルテンション
14回目	マイナーキーのアヴェイラブルテンション
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する高度な知識と技術を、より本格的により个性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅧ Style Analysis Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】 作曲技法の多面的アプローチ リハーモナイズ 継続学習と発展 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 技術的、感覚的、演出的な作曲のアプローチを理解し実践できる コンパウンドコードの理解と活用ができる コード理論、作曲メソッドが自身の楽曲制作に反映し発展させることができる							

授業計画・内容	
1回目	魅力溢れるメロディーメイク
2回目	作曲力の永続的なトレーニング
3回目	評価
4回目	分数コードとその用法、クエスチョンアンドアンサーの実践
5回目	ハイブリッドコードとその選択方法、コールアンドレスポンスの実践
6回目	コードのハイブリッド化、繰り返しのアプローチの実践
7回目	ポリコードとその導入方法、リズムアプローチの実践
8回目	評価
9回目	テクニカルアプローチの多面的比較
10回目	センシブルアプローチの多面的比較
11回目	プロダクティブアプローチの多面的比較
12回目	総合評価
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する高度な知識と技術を、より本格的により個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	テクニク I	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	野口 真吾
	Drum Technique I	授業形態	演習	総時間 (単 位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ドラム譜の読み方、基本的なセッティングと操作方法、8ビート、8分音符の記譜を理解する
2回目	8ビート、4小節感覚を身につける、クリックを使った練習方法、カウティング、8分音符の記譜を理解する
3回目	8ビート、8小節感覚を身につける、オープンリムショットとクローズリムショット、16分音符の記譜を理解する
4回目	アクセント無しのシングルストローク、両手16ビート、オープンリムショット、16分音符の記譜を理解する
5回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ①
6回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ②
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ
8回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用①
9回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用②
10回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用②
12回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅡ	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	野口 真吾
	Drum Technique II	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】							
<p>ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。</p>							
【到達目標】							
<p>ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用②
2回目	8ビートシャッフルのリズムパターン、ハイハットのエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
3回目	8ビートシャッフルの8分裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
4回目	2拍3連符のエクササイズ、手順の振り分けとドラムセットへの応用
5回目	8ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ
6回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ①
7回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ②
8回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートとバスドラムの奏法
9回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート①
10回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート② ハイハットを16分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート
11回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートシャッフルとバスドラムの奏法
12回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビートシャッフル
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅢ Drum TechniqueⅢ	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	野口 真吾
		授業形態	演習	総時間 (単 位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエインターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】							
<p>ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。</p>							
【到達目標】							
ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート② 速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
3回目	速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート① ツインペダルの基礎練習 (8ビート応用)
4回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
5回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
6回目	ツインペダルの基礎練習 (オルタネイト)
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニク、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打
8回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
9回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
10回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用②
12回目	8分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインペダル) ①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅣ	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	野口 真吾
	Drum TechniqueⅣ	授業形態	演習	総時間 (単 位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエインターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインペダル) ②
2回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用①
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用② 8ビートシャッフルのシンコペーション02
4回目	ツインペダル基礎練習 (シャッフル、3連符)
5回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用② 速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
7回目	速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
8回目	シングル、ツインペダルの2ビート (HH表、裏)
9回目	シングル、ツインペダルの2ビート (HH表、裏) と手2足2のコンビネーション ツインペダルの16ビート (32分3打) ①
10回目	ツインペダルの16ビート (32分3打) ② ツインペダルの16ビート (32分4打) と手2足4、手4足4のコンビネーション
11回目	8シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート (手順の応用) シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
12回目	16シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート (手順の応用) シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックV Technique V	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	アップテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	アップテンポの8ビート、ゴーストノート②
3回目	アップテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
4回目	アップテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート②
5回目	ツインペダルの基礎練習 (8ビート応用) ①
6回目	ツインペダルの基礎練習 (8ビート応用) ②
7回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
8回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
9回目	ツインペダルの基礎練習 (オルタネイト) ①
10回目	ツインペダルの基礎練習 (オルタネイト) ②
11回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打①
12回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打②
13回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打③
14回目	期末試験
15回目	総復習
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布プリント	

科目名 (英)	テクニクVI TechniqueVI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール)</p> <p>専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
2回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
3回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル) ドラムセットへの応用①
4回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル) ドラムセットへの応用②
5回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→ツインペダル) ドラムセットへの応用①
6回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→ツインペダル) ドラムセットへの応用②
7回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル) ①
8回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (ツインペダル) ②
9回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (シングル) ①
10回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (シングル) ②
11回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (ツインペダル) ③
12回目	期末試験と復習
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>配布プリント</p>	

科目名 (英)	テクニックⅦ TechniqueⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	アップテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
2回目	アップテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in①
4回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in②
5回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in③
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
7回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用②
8回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in①
9回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in②
10回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in③
11回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート①
12回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート②
13回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート③
14回目	期末試験
15回目	総復習
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅧ TechniqueⅧ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	スウィング基礎①
2回目	スウィング基礎②
3回目	スウィング基礎③
4回目	スウィング基礎④
5回目	2ビート (シングル、ツインペダル) ①
6回目	2ビート (シングル、ツインペダル) ②
7回目	2ビート (シングル、ツインペダル) ③
8回目	16ビート (ツインペダル) ①
9回目	16ビート (ツインペダル) ②
10回目	16ビート (ツインペダル) ③
11回目	16ビート (ツインペダル) ④
12回目	期末試験と復習
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンス I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	池田祥子
	Vocal Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】							
<p>ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレーズやキー設定など、個々のスキルに沿った歌唱デザインが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①The Roseレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	①復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、コーラスワークレクチャー
3回目	①復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	②The long and winding road レクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	②復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
6回目	②復習、発表、フルコーラス仕上げ
7回目	③You light up my life, Now and foreverレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	③復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
9回目	③復習、発表、フルコーラス仕上げ
10回目	④I won't last a day without you, Honestyレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	④復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
12回目	④復習、発表、フルコーラス仕上げ
13回目	学期末発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅡ Vocal Performance Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】							
<p>ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレーズやキー設定など、個々のスキルに沿った歌唱デザインが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	⑤Colorblind,Sheレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	⑤復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
3回目	⑤復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	⑥Let it rain,Hard to say I'm sorryレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	⑥復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
6回目	⑥復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
7回目	⑦Bridge over troubled waterレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	⑦復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
9回目	⑦復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
10回目	⑧Let it beレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	⑧復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅢ Vocal Performance Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3限目
【授業の学習内容】 ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブを意識して歌えるようになりよう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになりよう♪ ダイナミクスを用いて音楽的に歌えるようになりよう♪ リズム、タイミング、ダイナミクスを用いたアンサンブルができるようになりよう♪							

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになりよう
3回目	グルーブを体感して躍動感のある歌を歌えるようになりよう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになりよう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになりよう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミクスを意識して歌えるようになりよう
9回目	楽曲のダイナミクスをコントロールして歌えるようになりよう
10回目	リズムとダイナミクスを意識して歌えるようになりよう
11回目	タイミングとダイナミクスを意識して歌えるようになりよう
12回目	リズムとタイミングとダイナミクスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅣ Vocal Performance Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】							
ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。							
〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになる♪ 伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになる♪ 合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになる♪ 自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになる♪
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになる♪
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになる♪
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになる♪
5回目	リズム、タイミング、ダイナミクス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになる♪
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになる♪
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになる♪
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになる♪
11回目	歌唱要素とアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	
歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスV Vocal Performance V	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブをコントロールして歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう♪ 音楽的コミュニケーションができるようになろう♪♪							

授業計画・内容	
1回目	テンポとリズムパターンをコントロールして歌えるようになろう
2回目	自由にテンポやパターン設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
3回目	評価
4回目	タイミングとダイナミクスをコントロールして歌ってみよう
5回目	自由にタイミングとダイナミクスを設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
6回目	評価
7回目	タイミングとダイナミクス、テンポとリズムパターンをコントロールして歌ってみよう
8回目	上記のを設定適応させ演奏しよう
9回目	評価
10回目	コールアンドレスポンスのチャレンジ
11回目	音楽的なコールアンドレスポンスの技法を学び、実践できるようになろう
12回目	評価
13回目	シチュエーショントレーニング、無関心への対応
14回目	困難な場面での対応法を検証し、効果的な雰囲気づくりができるようになろう
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスVI Vocal Performance VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 印象的なフレーズを組み込み、魅力的な演奏ができるようになる♪ コーラスワークを曲中で実践し、聴衆との一体感を演出できるようになる♪ アーティストとしての魅力的な世界観を形成できるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	モーメントを意識して歌ってみよう
2回目	モーメントのバリエーションを知り実践できるようになる
3回目	評価
4回目	曲中のコーラスワークにチャレンジ
5回目	決められたコーラスワークを理解し、提示歌唱できるようになる
6回目	評価
7回目	オーディエンスの情動やリアクションと音楽的な再現を意識して歌ってみよう
8回目	情動やリアクションに対しての音楽的アプローチを検証し、実践できるようになる
9回目	評価
10回目	アトモスフィアトレーニング、曲中での応対を意識して歌ってみよう
11回目	キャラクター設定、語調、身構え方などを検証し、効果的なインプレッションを与えるようになる♪
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	権藤 勝
	Vocal Performance Ⅶ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 魅力的で効果的な音楽的コミュニケーションの実践。歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんやEXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICスファミリーのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブを演奏中にコントロールして歌えるようになる♪ タイミングを演奏中にコントロールして歌えるようになる♪ ダイナミクスを演奏中にコントロールして歌えるようになる♪ フレキシブルな音楽的コミュニケーションができるようになる♪♪							

授業計画・内容	
1回目	テンポとリズムパターンをコントロールしたフラクチュエーティブな歌唱にチャレンジしよう♪
2回目	テンポキープを根本に、聴衆を感動させるための情動的で音楽的なリズムアプローチができるようになる♪
3回目	評価
4回目	タイミングとダイナミクスをコントロールしたフラクチュエーティブな歌唱にチャレンジしよう♪
5回目	音楽的なタイミングやダイナミクスを根本に、聴衆を感動させるための情動的で音楽的なリズムアプローチができるようになる♪
6回目	評価
7回目	タイミングとダイナミクス、テンポとリズムパターンをコントロールしたフラクチュエーティブな歌唱を完成させよう♪
8回目	上記を根本に、リズムアプローチを完成させよう♪
9回目	評価
10回目	コールアンドレスポンスの演奏中の生成にチャレンジしよう♪
11回目	効果的で音楽的なフレージングのアイデアの生成法を学び実践できるようになる♪
12回目	評価
13回目	シチュエーショントレーニング、フレキシブルな演奏ができるようになる♪
14回目	自分の表現したいことや在りたい姿をぶれずに再現できることと、空気感や聴衆の欲するものに対応できる術を身につけよう♪
15回目	総合評価
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	魅力的で質の高い音楽的要素とアーティスト性を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅧ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	権藤 勝
	Vocal Performance Ⅷ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 魅力的で効果的な音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 情動や聴衆の反応を読み取り印象的な変化を演奏中にプランし演奏できるようになる♪ 効果的で印象的なコーラスワークを演奏中にプランし演奏できるようになる♪ 空気や情動を読み取りフレキシブルに魅力的な世界観を形成できるようになる♪♪							

授業計画・内容	
1回目	効果的で印象的なモーメントを演奏しながら生成できるようになる♪
2回目	モーメントのバリエーションを駆使して空気感や自身の情動に応じて魅力的な演奏ができるようになる♪
3回目	評価
4回目	曲中のコーラスワークを演奏しながら生成できるようになる♪
5回目	コーラスワークのアイデアを駆使して空気感や自身の情動に応じて魅力的な演奏ができるようになる♪
6回目	評価
7回目	オーディエンスの情動やリアクションと音楽的な再現を演奏中に生成できるようになる♪
8回目	空気感、情動、コンディション、反応や熱量など、聴き手と演奏者自身の現在に集中して魅力的で音楽的な演奏ができるようになる♪
9回目	評価
10回目	アトモスフィアトレーニング、聴衆を魅了する術をフレキシブルに効果的に発信できるようになる♪
11回目	空気感、情動、コンディション、熱量などを読み取り、魅力的かつ個性的な雰囲気や世界観を形成できるようになる♪
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	魅力的で質の高い音楽的要素とアーティスト性を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1限目
【授業の学習内容】 譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング 譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践、課題曲や小節フレーズでのダイナミクスのトレーニング (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター・池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪ スケールを歌いこなせるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪ ダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を見つけよう
2回目	リズムとリズムパターンを聴き取れるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	3種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	3種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌えるようになろう
7回目	小テスト
8回目	3和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌ってみよう
10回目	2種類のダイナミクスを聴き取れるようになろう
11回目	2種類のダイナミクスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミクスを用いてシンプルなコード進行の中で歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1限目
【授業の学習内容】 課題曲や小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いた歌詞のアナライズ 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになろう♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	3種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	3種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	自由に歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	複雑な3和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な3和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌えるようになろう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになろう
11回目	自由に表現して歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
	Vocal Technique III	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 譜面や図を用いたリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いたグループワークトレーニング、譜面を用いたさまざまなスケールの解説と歌唱実践、 トラックを用いたグループワークトレーニング、リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 課題曲や小節フレーズでのダイナミクスのトレーニング (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター・池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪ スケールを歌いこなせるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪ ダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を広げよう
2回目	リズムとリズムパターン聴き取り、その主なジャンルが理解できるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	6種類のスケールを聞き取れるようになろう
5回目	6種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌いこなそう
7回目	小テスト
8回目	4和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌いこなせるようになろう
10回目	4種類のダイナミクスを聞き取れるようになろう
11回目	4種類のダイナミクスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミクスを用いてシンプルなコード進行の中で歌いこなそう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 課題曲や小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いた歌詞のアナライズ (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになる♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになる♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになる♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	5種類の音色を聴き取れるようになる♪
2回目	5種類の音色を再現できるようになる♪
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになる♪
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになる♪
5回目	ダイナミクスと音色を自由に歌いこなそう
6回目	小テスト
7回目	複雑な4和音を聴き取れるようになる♪
8回目	複雑な4和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌いこなそう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになる♪
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになる♪
11回目	自由に表現して歌えるようになる♪
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックV Vocal Technique V	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeインタータイムント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ボーカーリゼーションによる発声的歌唱の強化 スケルトレーニングによる音程の精度向上 インプロビゼーションによる音楽的表現度の自由化 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカーリゼーション担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICスファミリーのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ボーカーリゼーションを用いて柔軟な発声的歌唱ができるようになる♪ スケルトレーニングで音程の精度を上げよう♪ インプロビゼーションのアプローチを理解実践し自由なフレーズを歌唱できるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、和音感、インプロビゼーション、歌詞解釈の基礎を土台にした技術についての解説と実践
2回目	ボーカーリゼーション:得意な母音、苦手な母音の発見
3回目	ボーカーリゼーション:声門アタックと氣息音アタック回避のためのワーク
4回目	ボーカーリゼーション:アーティキュレーショントレーニング
5回目	評価
6回目	音程の精度:上昇アプローチによるピッチコントロール
7回目	音程の精度:下降アプローチによるピッチコントロール
8回目	評価
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのタイムストレッチ、リズムディスプレイメント
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのダブルタイム、ハーフタイム
11回目	評価
12回目	ジャンル別ボーカーリゼーション:ロックステップス、ロックシンコペーション
13回目	ジャンル別ボーカーリゼーション:マイナーオクターブ、ラテンオクターブ
14回目	ジャンル別ボーカーリゼーション: R & Bペンタトニックとパターン、ゴスペルスイング
15回目	評価
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 ○●●●● 図表 リズム、音源トラック 振り返しシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックVI Vocal Technique VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ジャンル別のコーラスワークでの知識と音楽力強化 高度なインプロビゼーションの理解と実践でのフレーズの自由化 総合的な歌唱のアプローチ 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマツナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ジャンル別のコーラスワークの特徴を理解し再現できるようになる♪ 高度なインプロビゼーションのアプローチを理解し歌唱できるようになる♪ 基礎を土台とした魅力的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ポップロック
2回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声カントリー
3回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ブルース
4回目	評価
5回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声R & Bポップ
6回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ファンク
7回目	評価
8回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、クロマティックスケール
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、トライトニックスケール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、テトラトニックスケール
11回目	自己評価と他者評価による音楽性の構築
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックⅦ Vocal Technique Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ボークリゼーションによる発声的歌唱の応用 リズム的なスケルトトレーニングによる音程の精度向上 インプロビゼーションによる音楽的表現の自由化と最適化 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボークルレス担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATIC familyのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ボークリゼーションを用いて柔軟な発声的歌唱の応用ができるようになる♪ スケルトトレーニングで躍動感のある歌唱ができるようになる♪ インプロビゼーションのアプローチを理解実践し自由なフレーズを歌いこなそう♪							

授業計画・内容	
1回目	基礎を土台にした技術向上の解説と実践
2回目	ボークリゼーション:得意な母音、苦手な母音の発見と活用
3回目	ボークリゼーション:バランスの取れたアタック
4回目	ボークリゼーション:アーティキュレーションと歌唱スタイルの融合
5回目	評価
6回目	音程の精度:リズム的な上昇アプローチによるピッチコントロール
7回目	音程の精度:リズム的な下降アプローチによるピッチコントロール
8回目	評価
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのタイムストレッチ、リズムディスプレイメントのピークポイントコントロール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのダブルタイム、ハーフタイムのピークのピークポイントコントロール
11回目	評価
12回目	ジャンル別ボークリゼーション:ロックペンタトニックアルペジオ、ロックボークリーズ
13回目	ジャンル別ボークリゼーション:ラテンロングトーン、ラテンボークリーズ
14回目	ジャンル別ボークリゼーション:ジャズスイング、ジャズワルツ、ジャズバラード
15回目	評価
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ 世界bに通用する歌唱を目指し、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図書 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックⅧ Vocal Technique Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ジャンル別のコーラスワークでの知識と音楽力強化と継続学習 高度なインプロビゼーションの理解と実践でのフレーズの自由化と最適化 総合的な歌唱のアプローチと音楽性の設定 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICスファミリーのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ジャンル別のコーラスワークの特徴を理解し自由に歌いこなそう♪ 高度なインプロビゼーションのアプローチを理解し歌いこなそう♪ 基礎を土台とし魅力的な歌唱の発展を継続させよう♪							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ポップロック
2回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声カントリー
3回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ブルース
4回目	評価
5回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声R & Bポップ
6回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ファンク
7回目	評価
8回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、クロマティックスケールのピークポイントコントロール
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、トライトニックスケールのピークポイントコントロール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、テトラトニックスケールのピークポイントコントロール
11回目	自己評価と他者評価による音楽性の適宜適応設定
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ 世界bに通用する歌唱を目指し、一緒に歩みましょう♪
~~~~~ <b>図書</b> リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ダンステクニック I Dance technic I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	行徳 紗智子
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】							
<p>踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランスカ・ターン・ジャンプカ・動きのキレなど。そういったものを結びつけていこうクラスを進めています。</p> <p>【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業</p>							
【到達目標】							
<p>まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力の大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランスカなどの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。</p>							

授業計画・内容	
1回目	『バレエ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どの筋肉が働いている？上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どの筋肉が働いている？上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	前期まとめ・試験
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学 習	ダンスの技術向上には、体が機能的に働くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランスカ、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランスカ、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプカ、怪我をしない体、これらの技術向上を目的としクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅡ Dance technicⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	行徳 紗智子
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】 前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけないため、「顔」の印象、踊り方など応用をクラスで身につけてもらいます。 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 ピルエット・ワルツ・アダジオ・フティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「パ」を行ってもらいます。							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには①
8回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには②
9回目	実践① 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます。そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「パ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋力トレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】  レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅢ Dance technicⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	行徳 紗智子
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	月1限
【授業の学習内容】							
踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランスカ・ターン・ジャンプカ・動きのキレなど。そういったものを結びつけていくようクラスを進めていきます。							
【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】							
まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力の大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランスカなどの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。							

授業計画・内容	
1回目	『バレエ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どこ筋肉が働いている？上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どこ筋肉が働いている？上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	ダンスの技術向上には、体が機能的に働くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランスカ、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランスカ、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプカ、怪我をしない体、これらの技術向上を目的としクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅣ Ballet Basic	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	行徳 紗智子
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	月1限
【授業の学習内容】 前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけな 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 ピルエット・ワルツ・アダジオ・フティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「パ」を行ってもらいます。							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラと顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上での表現や印象を与えるダンサー①
8回目	ダンサーとしての表現・表情の重要性を知ろう。ステージ上で観客は何を見ている？
9回目	実践① 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ・試験
13回目	ミュージカル実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます。そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「パ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋力トレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】  レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンス I Dance Technic Advance I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TOSHI
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 4 限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディコントロール。 ストリートダンス（フリースタイル）振り付け  (講師) USJ振付担当							
【到達目標】 ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。 ボディコントロールの幅を広げ、振り覚え能力UPを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーションでボディコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
2回目	アイソレーションでボディコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
3回目	アイソレーションでボディコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
4回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
5回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
6回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
7回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
8回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
9回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
10回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
11回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
12回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
13回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	ダンスを通して自分の得意分野、苦手分野、を知って、さらにレベルアップ出来るように一緒に楽しみながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】  動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンスⅡ Dance Technic Advance II	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TOSHI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日、4限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディコントロール。 ストリートダンス（フリースタイル）振り付け  (講師) USJ振付担当							
【到達目標】 ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。 ボディコントロールの幅を広げ、振り覚え能力UPを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
2回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
3回目	ボディコントロールとアクセント 振り付け
4回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
5回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
6回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
7回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
8回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
9回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
10回目	踊り方、表現の出し方、使い分け
11回目	踊り方、表現の出し方、使い分け
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	エンターテイナーとしてのスキルアップを一緒に目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】  動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンスⅢ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	横尾めぐみ
	Dance Technic AdvanceⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科					曜日・時限	火曜4時
【授業の学習内容】							
クラシックバレエ、ジャズダンスの基礎、筋肉トレーニング、柔軟、表現力							
【講師プロフィール】							
6歳よりクラシックバレエを始め15年間学ぶ。18歳よりジャズダンスを始める。							
20歳よりソフトバンクホークスダンスチーム「ハニーズ」に所属。北島三郎特別公演、出演							
23歳、ディズニーランド、シーのダンサーオーディション合格。6年間多数のショーやイベントに出演。							
【到達目標】							
テーマパークダンサーとしてのダンススキルが付く、オーディションに必要な表現力・対応力、オンステージでの体力、舞台人としての姿勢							

授業計画・内容	
1回目	基礎1：クラシックバレエを入れた基礎の動きの流れ
2回目	アイストレーション：身体の各部分を動かす
3回目	柔軟1：正しいストレッチ、何処の筋肉が伸びているか意識
4回目	柔軟2：怪我しにくい柔軟な身体作り、
5回目	パレードでも疲れない体力作り、筋肉トレーニング、腹筋、背筋、腕立て伏せ
6回目	体幹トレーニング、バランス感覚
7回目	リズムステップ：リズムに合わせてステップを踏む
8回目	ピルエット：綺麗にターンを回するには、たくさんターンを回するには
9回目	ステップと合わせたターンコンビネーション
10回目	テーマパークのターンコンビネーション
11回目	ジャンプの種類を知ろう
12回目	模擬オーディション
13回目	テスト
14回目	振り返り・まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	身だしなみを気を付ける、綺麗なスタイル作り、やる気の気持ち、柔軟、筋トレ
評価方法	実技試験：60 出席率：20 態度：20
受講生への メッセージ	夢や希望、感動を与える素敵なテーマパークダンサーをめざして、頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンスⅣ Dance Technic AdvanceⅣ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	横尾めぐみ
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4時
【授業の学習内容】							
クラシックバレエ、ジャズダンスの基礎、筋肉トレーニング、柔軟、表現力							
【講師プロフィール】							
6歳よりクラシックバレエを始め15年間学ぶ。18歳よりジャズダンスを始める。							
20歳よりソフトバンクホークスダンスチーム「ハニーズ」に所属。北島三郎特別公演、出演							
23歳、ディズニーランド、シーのダンサーオーディション合格。6年間多数のショーやイベントに出演。							
【到達目標】							
テーマパークダンサーとしてのダンススキルが付く、オーディションに必要な表現力・対応力、オンステージでの体力、舞台人としての姿勢							

授業計画・内容	
1回目	ジャンプを高く美しく飛ぶには
2回目	テーマパークのターン、ステップ、ジャンプのコンビネーション
3回目	オーディションに出る美しいバットマン華やかなバットマン
4回目	オーディションに出る正しいアチチュードのポディション
5回目	表現力：人を明るくさせる笑顔、元気を与えてくれる笑顔、表情豊かな顔
6回目	振り覚え：オーディションで自分の実力をしっかり発揮出来るように、早く振りを覚える！
7回目	どんな役にも対応出来るようにタップダンスの動き
8回目	どんな役にも対応できるようにヒップホップの動き
9回目	MCLレッスン
10回目	MCLレッスン
11回目	模擬オーディション
12回目	テスト
13回目	ミュージカル実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	身だしなみを気を付ける、綺麗なスタイル作り、やる気の気持ち、柔軟、筋トレ
評価方法	実技試験：60 主席率：20 態度：20
受講生への メッセージ	夢や希望、感動を与える素敵なテーマパークダンサーをめざして、頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンス I Dance Performance I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼 俊輔
学科・コース	スーパーエリタメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期 月2限
【授業の学習内容】							
ダンス&ヴォーカルではソロ+ダンサー～全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では与えられた振りや歌割りを短い時間の中で体現でき、デレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。							
【講師プロフィール】							
レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アムーズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】							
自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【目標①】【セクション1】1st TAからCTへのブリッジリトメント① 課題曲1振り落とし 1コーラス目+基礎作り (毎回) (+yuki)
2回目	【目標①】1st TAからCTへのブリッジリトメント② 課題曲1振り落とし 2コーラス目以降+パート分け歌唱 (+yuki)
3回目	【目標①】1st TA強化トレーニング 課題曲1振り落とし 構成+パート別け (+yuki)
4回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリトメント① 課題曲1パフォーマンス (+yuki)
5回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリトメント② 課題曲1パフォーマンス固め
6回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリトメント① 課題曲1パフォーマンス確認
7回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリトメント② 課題曲1パフォーマンス最終チェック
8回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリトメント③ 課題曲2振り落とし 1コーラス目+メロ確 (+yuki)
9回目	【目標①】【セクション2】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大① 課題曲2振り落とし 2コーラス目以降+パート分け歌唱 (+yuki)
10回目	【目標②】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大② 課題曲2振り落とし 構成+パート別け (+yuki)
11回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング① 課題曲2パフォーマンス
12回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング② 課題曲1と2パフォーマンス
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	(目標①) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標②) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼 俊輔
	Dance Performance II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科					曜日・時限	月2限
【授業の学習内容】 自分で考え、表現していくための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アムーズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【セクション2】3rd チェスト 課題曲③渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
2回目	3rd チェスト 課題曲③パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り
3回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③パート分け、構成作り 2コーラス分振り作り
4回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③構成作り 2コーラス分振り作り
5回目	【セクション3】1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス固め
6回目	1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス確認
7回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
8回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り (2グループ)
9回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④パート分け、自分達で②2コーラス分振り作り
10回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④構成作り 2コーラス分振り作り
11回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス固め
12回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 (目標②) 見解を広げるために普段から自分の好きな音楽以外も聴いたり歌ったりする必要があります。 (目標③) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】  ●iPad、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅢ Dance Performance Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼 俊輔
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	木2限

【授業の学習内容】

2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしています。

【講師プロフィール】

レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、  
千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アムーズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。

【到達目標】

歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。

〈具体的な目的〉

目標① 歌詞やアレンジなどからどう表現するべきか曲の意図を汲み取る力をつける

目標② 適正な音域などによるパート割りをする事により表現効果を増すテクニックを身につける

目標③ 課題曲に自分で振りを作り、構成をつける力を身につける事ができるようになる

授業計画・内容

1回目	(目標①②) オリジナル曲渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 パート割りの為の歌唱、1コーラス分振り作り
2回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
3回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	(目標①②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
5回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
6回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
7回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (男女グループ)
8回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
9回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
12回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	(目標①) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標②) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

- iPad、メモ用紙、ペン

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼 俊輔
	Dance PerformanceⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 木2限
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アミューズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
2回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
3回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
5回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
6回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
7回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
8回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
9回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
12回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) パートを割る事による表現効果の理解が不可欠ですのでヴォーカルが2人以上いるグループを聴く予習が必要です。 (目標②) 曲のジャンルやコンセプトによるキャッチーなキメ表現が必要になるので手振りなどの予習が必要です。 (目標③) 3度、5度などの理解が必要ですのでメロディーに対してどうハモっているのか予習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】  ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスV Dance Performance V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	Katsuki (甲木貴之)
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作、ソロパフォーマンス  (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 ダンスの知識や技術を使い自主制作やソロパフォーマンスが出来るようになる。また、自己プロデュースをする事が大事なので自分のダンスでの長所を見つける事が出来る様になる。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーション、リズムトレーニングベーシック
2回目	アップ、ダウンのリズムを軸にアイソレの確認
3回目	前後のリズム、リズムバリエーション
4回目	ブレイクダウンを使った軸の意識を確認
5回目	重心移動を意識したステップやムーブ
6回目	ハウス基礎
7回目	ハウスのリズムバリエーション
8回目	ヒップホップから派生したステップ
9回目	様々なステップのリズムバリエーション
10回目	フロアムーブのベーシック
11回目	フロアムーブの応用
12回目	ルーティーン自主作成
13回目	ルーティーン+ソロ
14回目	前期まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	ヒップホップやハウスのダンスのニュースクール中心のレッスンですが、オールドスクールの要素は必要な事が多くあるので柔軟に考えて取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスVI Dance PerformanceVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	Katsuki (甲木貴之)
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作  (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 授業で得た知識や技術を使って、自身でルーティーン制作やソロパフォーマンスが出来るようになる							

授業計画・内容	
1回目	ヒップホップ、オールドスクール要素を多めに
2回目	サイドワーク、バックスライド
3回目	ボディーウェーブ、ハンドウェーブ
4回目	ルーティーン+自主作成
5回目	ハウスダンスベーシック
6回目	ハウスダンスのステップ応用
7回目	ハウスダンス ターンを中心に様々なステップ
8回目	ルーティーン+自主作成
9回目	ヒップホップルーティーン
10回目	ハウスルーティーン
11回目	ルーティーン+ソロパフォーマンス
12回目	一年間のまとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出席率 (50%)</li> <li>●定期テスト (30%)</li> <li>●受講意欲 (20%)</li> </ul>
受講生への メッセージ	<p>普通の授業で得た知識や技術をしっかりと身につけて、将来自分自信がプレイヤー、教える立場になった時に役に立てるようにしよう。流行りに敏感な業界ですが、基礎の部分は大事なので自分の土台作りをしっかりとしよう。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅦ Dance PerformanceⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	MEG
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 3限
<b>授業の学習内容</b> ダンス全般に必要な基礎の土台を作る。ウォーミングアップ、リズムトレーニング、アイソレーション、筋トレ、応用、振り付け、各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていきたい。  (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
<b>【到達目標】</b>  継続出来れば、自然なリズムが取れるようになる。多様なリズムが体で表現出来るようになる。 様々なジャンルのダンスに必要なことが身に染みて分かるようになる。 やる気、頑張り次第で体力、筋力が付く。							

授業計画・内容	
1回目	正しい体の使い方や流れ、その他の説明 (ストレッチ、筋トレ) 個人チェック
2回目	確認、アイソレーションの意識
3回目	アイソレーション、リズムトレーニング、出来次第で進む。(以下、WUP、リズムトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須。)
4回目	それぞれの強化指導。出来てるかチェック。簡単なコレオ。
5回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
6回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
7回目	細かい指導。チェック。
8回目	グループに分かれて小テスト。
9回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
10回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
11回目	グループに分かれて構成。
12回目	夏の課題
13回目	テスト。後期に向けてのカウンセリング
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	次の授業に向けて復習。練習は必須。日々のストレッチ、筋トレの習慣はつける。=目標達成への近道です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出席率 (50%)</li> <li>●定期テスト (30%)</li> <li>●受講意欲 (20%)</li> </ul>
受講生への メッセージ	ただのダンスレッスンにならない様に、これは仕事というイメージを持つことが大切です。基礎とは幅広く奥が深いです。経験者、未経験者、様々ありますが出来る。出来た。で終わらず追求心を持って取り組んで欲しいです。日々の積み重ね、努力が夢への近道です。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>  特になし	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅧ Dance PerformanceⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	MEG
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 3限
【授業の学習内容】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていき表現できるような授業に近づけていきたい。ダンスの楽しさを感じ取る。サークルセッションやグループワーク有り。  (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。個人個人が踊れるようになることを目標に。 グループワークでチームワーク力を高める。団結力。ソロ力強化。							

授業計画・内容	
1回目	以下WUP,リズムトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須 基礎とコレオ
2回目	コレオ
3回目	コレオ小テスト
4回目	コレオ ジャンルmix、グループセッション (以下同文)
5回目	コレオ ジャンルmix
6回目	コレオ ジャンルmix
7回目	コレオ ジャンルmix
8回目	構成、グループワーク、発表
9回目	コレオ+フリーダンスグループワーク
10回目	小テスト 一人ずつ
11回目	自主コレオ課題
12回目	発表。集大成。
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	自主コレオを短くても出来るように踊れる準備をしておく。前期でした内容は必ず出来るようになっておく。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	前期の内容は忘れないように継続してやっていきます！レベルアップしていけるように積み重ねを忘れずに授業に取り組んで欲しいです。楽しく踊りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】  特になし。	

科目名 (英)	ダンスクリエイション I Dance Creation I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエエターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
<b>【授業の学習内容】</b> 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによっての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i x させたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
<b>【到達目標】</b> 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	舞台基礎知識
2回目	照明基礎知識
3回目	照明応用知識
4回目	音響知識と編集力
5回目	テーマをランダムに決めた振付
6回目	セクション分けをしたもの作り
7回目	プレゼン、直し
8回目	直しが入った後のプレゼン
9回目	上級テーマで制作
10回目	制作期間とスケジュール管理
11回目	発表
12回目	セッション
13回目	コンテスト
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅡ Dance CreationⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師)19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅢ Dance CreationⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
<p>案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによっての動き方を指導（プロデューサー、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。</p> <p>（講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i x させたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。</p>							
【到達目標】							
様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅣ Dance CreationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションV Dance Creation V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
<b>【授業の学習内容】</b> 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションよっての動き方を指導（プロデューサー、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
<b>【到達目標】</b> 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションVI Dance CreationVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅦ Dance CreationⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	te2
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
<p>案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションよっての動き方を指導（プロデューサー、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。</p> <p>（講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。</p>							
【到達目標】							
様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	3年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅧ Dance CreationⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	te2
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術 を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、 様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九 州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イメージクリエイション I Image Creation I	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分 曜日・時限	前期 金曜・3,4,5限
【授業の学習内容】 模擬実習ゲームです。実践形式で行い、世の中がどのようなスキームで流れているのかを身をもって体験するモノです。 クライアントの立場になり、制作会社の各役割の立場にもなる事で、それぞれの立場で何を求められているか、何を考えなければいけないのか、 立場による発言の違いなどを、チームで学んでいきます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。							
【到達目標】 PDCAサイクルの様な、思考が養える循環体験型の学習を2年通して習得。 それぞれの役割をすべてこなした場合、相手の気持ちを理解したり先読みしたりできる事で対応能力が養う。							

授業計画・内容	
1回目	映像演出方法について、その実現の仕方
2回目	スタッフワークの流れについて①（作品の生み出し方、スタッフワークについて、それを受けてグループに分かれて企画立案）
3回目	スタッフワークの流れについて②（プレゼンテーション、好評、制作）
4回目	スタッフワークの流れについて③（CM完成最後のコマで発表会、好評、反省会）
5回目	作品制作①（コンペ方式でお題を提示）グループワークでも個人でも可
6回目	作品制作②
7回目	作品制作③
8回目	作品制作④（完成好評、コンペ）
9回目	アーティストライブ制作①（企画を立案）
10回目	アーティストライブ制作②（プレゼンテーション）
11回目	アーティストライブ制作③
12回目	アーティストライブ制作④
13回目	アーティストライブ制作⑤（アーティストライブ本番）
14回目	学期末試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	
評価方法	出席 【 30% 】 授業態度 【 30% 】 実技テスト 【 40% 】
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】  特になし	

科目名 (英)	イメージクリエイションⅡ Image Creation Ⅱ	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分 曜日・時限	後期 金曜・3,4,5限
【授業の学習内容】 模擬実習ゲームです。実践形式で行い、世の中がどのようなスキームで流れているのかを身をもって体験するモノです。 クライアントの立場になり、制作会社の各役割の立場にもなる事で、それぞれの立場で何を求められているか、何を考えなければいけないのか、 立場による発言の違いなどを、チームで学んでいきます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。							
【到達目標】 PDCAサイクルの様な、思考が養える循環体験型の学習を2年通して習得。 それぞれの役割をすべてこなした場合、相手の気持ちを理解したり先読みしたりできる事で対応能力が養う。							

授業計画・内容	
1回目	逆プレゼン企画①仕事をゲットする流れ（外部に仕掛ける、仕事を取りに行く）
2回目	逆プレゼン企画②（企画立案）
3回目	逆プレゼン企画③（模擬プレゼンテーション、好評、アタックアポ？）
4回目	逆プレゼン企画④（結果報告）
5回目	MV制作①
6回目	MV制作②
7回目	MV制作③
8回目	MV制作④
9回目	MV制作⑤
10回目	MV制作⑥
11回目	作品発表会、振り返り
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席 【 30% 】 授業態度 【 30% 】 実技テスト 【 40% 】
受講生への メッセージ	バーチャルスタジオを使用した番組制作を通して、スタジオ技術（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）、 スタジオ制作（プロデューサー、企画、ディレクションなど）自分自身がどの分野を楽しんでいると感じたか、また学びたいと思ったか、目指すべき方向性をしっかりと見極めて下さい
【使用教科書・教材・参考書】  特になし	

科目名 (英)	イメージクリエイションⅢ Image Creation Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	3.4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	前期
						曜日・時限	土曜 3・4・5限
【授業の学習内容】							
<p>模擬実習ゲームです。実践形式で行い、世の中がどのようなスキームで流れているのかを身をもって体験するモノです。          クライアントの立場になり、制作会社の各役割の立場にもなる事で、それぞれの立場で何を求められているか、何を考えなければいけないのか、          立場による発言の違いなどを、チームで学んでいきます。          &lt;講師プロフィール&gt;          CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。</p>							
【到達目標】							
<p>映像制作を「仕事」として関わっていく者として、技術は元より、心構え等の仕事として映像を作る人材になる。          (具体的な目標)          目標① Adobe Premire Pro の基本編集が習得できる。          目標② Adobe After Effects の基本編集が習得できる。          目標③ 映像制作者としてのスキルと考え方を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	最新トレンドの分析と予測
2回目	インスピレーションの収集とビジュアルリサーチの手法
3回目	ブランドイメージの分析と戦略的な開発手法①
4回目	ブランドイメージの分析と戦略的な開発手法②
5回目	ブランドのビジュアルアイデンティティとコンシステンシーの確立①
6回目	ブランドのビジュアルアイデンティティとコンシステンシーの確立②
7回目	クライアントとのコミュニケーションとニーズの把握①
8回目	クライアントとのコミュニケーションとニーズの把握②
9回目	イメージコンサルティングのフレームワークとプロセス①
10回目	イメージコンサルティングのフレームワークとプロセス②
11回目	クライアントのブランドメッセージをビジュアルに翻訳する技術①
12回目	クライアントのブランドメッセージをビジュアルに翻訳する技術②
13回目	クライアントのブランドメッセージをビジュアルに翻訳する技術③
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番口
準備学習 時間外学習	卒業制作は学校で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率 30%</li> <li>■ 受講態度 30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】 40%</li> </ul>
受講生への メッセージ	映像制作に欠かせない「編集」を学ぶ授業です。編集ソフトの技能習得は元より、チームで制作するのに欠かせないコミュニケーションやデータ管理スキル、個人のセンスや感性もとても大切です。1日頃頃からアンテナを立てて生活して、授業で学んだ事を復習・反復学習する為にも体調管理には気をつけて、欠席しないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イメージクリエイションⅣ Image Creation Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	3.4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期
						曜日・時限	土曜 3・4・5限
<b>【授業の学習内容】</b> 模擬実習ゲームです。実践形式で行い、世の中がどの様なスキームで流れているのかを身をもって体験するモノです。 クライアントの立場になり、制作会社の各役割の立場にもなる事で、それぞれの立場で何を求められているか、何を考えなければいけないのか、 立場による発言の違いなどを、チームで学んでいきます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。							
<b>【到達目標】</b> 映像制作を「仕事」として関わっていく者として、技術は元より、心構え等の仕事として映像を作る人材になる。 <具体的な目標> 目標① Adobe Premire Pro の基本編集が習得できる。 目標② Adobe After Effects の基本編集が習得できる。 目標③ 映像制作者としてのスキルと考え方を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	イメージ制作におけるストーリーテリングと感情の表現①
2回目	イメージ制作におけるストーリーテリングと感情の表現②
3回目	ソーシャルメディアやウェブサイトにおけるイメージクリエイションの戦略とプラクティス①
4回目	ソーシャルメディアやウェブサイトにおけるイメージクリエイションの戦略とプラクティス②
5回目	インタラクティブなメディアとイメージの統合①
6回目	インタラクティブなメディアとイメージの統合②
7回目	ビジュアルアーティストやクリエイターとのコラボレーションの重要性と方法①
8回目	ビジュアルアーティストやクリエイターとのコラボレーションの重要性と方法②
9回目	アートディレクションとクリエイティブなコラボレーションのスキル①
10回目	アートディレクションとクリエイティブなコラボレーションのスキル②
11回目	実践的なイメージクリエイションプロジェクトの実施①
12回目	実践的なイメージクリエイションプロジェクトの実施②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	卒業制作は学校で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率 30%</li> <li>■ 受講態度 30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】 40%</li> </ul>
受講生への メッセージ	映像制作に欠かせない「編集」を学ぶ授業です。編集ソフトの技能習得は元より、チームで制作するのに欠かせないコミュニケーションやデータ管理スキル、個人のセンスや感性もとても大切です。1日頃からアンテナを立てて生活して、授業で学んだ事を復習・反復学習する為にも体調管理には気をつけて、欠席しないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴァーチャルコンテンツ制作 I Virtual Contents I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 ( 8 )	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜・4,5限
【授業の学習内容】							
<p>映像制作の特に編集に特化した授業を行います。編集作業や素材管理、進行、他部署との連携など実際の現場で行われている実例を元に、実践で使える技術を習得します。参考書、テキスト等ではだけでは分からない「仕事」として映像に関わる者としての心構えも学びます。</p> <p>&lt;講師プロフィール&gt;</p> <p>実務者経験：バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すばると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。</p>							
【到達目標】							
<p>劇場を利用する際のマナー約束事を理解して、作業が出来るようになる。</p> <p>安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。</p> <p>専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	映像業界の仕事紹介：テレビ業界を例に映像業界の仕事の説明
2回目	3分間自己PR：3分間±15秒以内という時間制限の中で自分をPR、尺を決めて表現する技術の習得を目指す
3回目	他己紹介PV制作：2人1組でお互いをプロデュースしてパートナーのプロモーション映像を制作、他人をプロモーションする楽しさを知る
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	他己紹介PV制作：撮影
6回目	他己紹介PV制作：編集①
7回目	他己紹介PV制作：編集②
8回目	他己紹介PV制作：作品発表、お互いの映像を見ながら良かった点、直すべきポイントなどを考察する
9回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習①：電源の立ち上げから撮影準備までを習得
10回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習②：電源の立ち上げから撮影準備までをグループ分けして実践
11回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習③：スタジオカメラ調整の基礎・クロマキー調整の習得
12回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習④：背景CGセットアップ基礎、番組制作背景の制作
13回目	学期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	卒業制作はがっこ王で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出席率 50%</li> <li>■【到達目標に対する達成度】 50%</li> </ul>
受講生への メッセージ	映像制作は普段から見る景色やイベントをいかに人に伝わりやすいように纏めることが出来るか意識することが上達への近道です。自分自身が楽しいと思えることが大切で、楽しさが人に伝わるように自由な発想を大切に下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	ヴァーチャルコンテンツ制作Ⅱ Virtual ContentsⅡ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 ( 8 )	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜・4,5限
【授業の学習内容】 映像制作の特に編集に特化した授業を行います。編集作業や素材管理、進行、他部署との連携など実際の現場で行われている実例を元に、実践で使える技術を習得します。参考書、テキスト等ではだけでは分からない「仕事」として映像に関わる者としての心構えも学びます。 <講師プロフィール> 実務者経験：バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すばると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 TV制作に係るスタッフワークの基礎から、グリーンバックを使用しているリアルタイム合成の技術を習得する。 また、モーションキャプチャーを使用するなど日々変化する映像業界の最先端技術も習得。							

授業計画・内容	
1回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習：グループに分かれてバーチャルスタジオセットアップを復習
2回目	バーチャルスタジオ番組企画①：番組タイトルとコーナー企画を考案
3回目	バーチャルスタジオ番組企画②：コーナー企画考案と役割分担を決める
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	バーチャルスタジオ番組企画⑤：コーナー企画②撮影
6回目	バーチャルスタジオ番組企画⑥：コーナー企画③撮影
7回目	バーチャルスタジオ番組企画⑦：コーナー企画編集
8回目	バーチャルスタジオ番組企画⑧：バーチャルスタジオ番組MC撮影口
9回目	バーチャルスタジオ番組企画⑨：バーチャルスタジオ番組MC撮影
10回目	バーチャルスタジオ番組企画⑩：番組編集完パケ仕上げ
11回目	作品鑑賞会
12回目	学期末テスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	卒業制作はがっこ王で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	バーチャルスタジオを使用した番組制作を通して、スタジオ技術（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）、スタジオ制作（プロデューズ、企画、ディレクションなど）自分自身がどの分野を楽しんでいると感じたか、また学びたいと思ったか、目指すべき方向性をしっかりと見極めて下さい
【使用教科書・教材・参考書】  特になし	

科目名 (英)	ヴァーチャルコンテンツⅢ Virtual ContentsⅢ	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 ( 8 )	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜・2,3限
【授業の学習内容】							
<p>映像制作の特に編集に特化した授業を行います。編集作業や素材管理、進行、他部署との連携など実際の現場で行われている実例を元に、実践で使える技術を習得します。参考書、テキスト等ではだけでは分からない「仕事」として映像に関わる者としての心構えも学びます。</p> <p>&lt;講師プロフィール&gt;</p> <p>実務者経験：バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すばると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。</p>							
【到達目標】							
<p>TV制作に係るスタッフワークの基礎から、グリーンバックを使用しているリアルタイム合成の技術を習得する。</p> <p>また、モーションキャプチャーを使用するなど日々変化する映像業界の最先端技術も習得。</p>							

授業計画・内容	
1回目	バーチャルスタジオセットアップ基本講習：グループに分かれてバーチャルスタジオセットアップを復習
2回目	バーチャルスタジオ番組企画①：番組タイトルとコーナー企画を考案
3回目	バーチャルスタジオ番組企画②：コーナー企画考案と役割分担を決める
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	バーチャルスタジオ番組企画⑤：コーナー企画②撮影
6回目	バーチャルスタジオ番組企画⑥：コーナー企画③撮影
7回目	バーチャルスタジオ番組企画⑦：コーナー企画編集
8回目	バーチャルスタジオ番組企画⑧：バーチャルスタジオ番組MC撮影口
9回目	バーチャルスタジオ番組企画⑨：バーチャルスタジオ番組MC撮影
10回目	バーチャルスタジオ番組企画⑩：番組編集完パケ仕上げ
11回目	プロジェクションマッピング①
12回目	プロジェクションマッピング②
13回目	学期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	卒業制作はがっこ王で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率 50%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】 50%</li> </ul>
受講生への メッセージ	バーチャルスタジオを使用した番組制作を通して、スタジオ技術（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）、スタジオ制作（プロデューサー、企画、ディレクションなど）自分自身がどの分野を楽しんでいると感じたか、また学びたいと思ったか、目指すべき方向性をしっかりと見極めて下さい
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	ヴァーチャルコンテンツIV Virtual ContentsIV	選択 必修	選択必修	年次	4	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 ( 8 )	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜・2,3限
【授業の学習内容】 映像制作の特に編集に特化した授業を行います。編集作業や素材管理、進行、他部署との連携など実際の現場で行われている実例を元に、実践で使える技術を習得します。参考書、テキスト等ではだけでは分からない「仕事」として映像に関わる者としての心構えも学びます。 <講師プロフィール> 実務者経験：バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すばると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 TV制作に係るスタッフワークの基礎から、グリーンバックを使用しているリアルタイム合成の技術を習得する。 また、モーションキャプチャーを使用するなど日々変化する映像業界の最先端技術も習得。							

授業計画・内容	
1回目	VR,ARの概念
2回目	VR作品制作①
3回目	VR作品制作②
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	バーチャルスタジオ番組企画①：番組タイトルとコーナー企画を考案
6回目	バーチャルスタジオ番組企画②：コーナー企画考案と役割分担を決める
7回目	バーチャルスタジオ番組企画④：コーナー企画①撮影
8回目	バーチャルスタジオ番組企画⑤：コーナー企画②撮影
9回目	バーチャルスタジオ番組企画⑥：コーナー企画編集
10回目	バーチャルスタジオ番組企画⑦：バーチャルスタジオ番組MC撮影口
11回目	バーチャルスタジオ番組企画⑧：バーチャルスタジオ番組MC撮影
12回目	学期末テスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	卒業制作はがっこ王で学んだことの集大成です。 卒業制作を始めるまでに各自がいろいろなテーマに取り組み、様々なジャンルの映像制作を経験する必要があります。
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	バーチャルスタジオを使用した番組制作を通して、スタジオ技術（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）、スタジオ制作（プロデューサー、企画、ディレクションなど）自分自身がどの分野を楽しんでいると感じたか、また学びたいと思ったか、目指すべき方向性をしっかりと見極めて下さい
【使用教科書・教材・参考書】  特になし	

科目名 (英)	オペレーション技法 I Manipulation Technique I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 1・2限
【授業の学習内容】 映像制作や映像編集において使用される基本的なオペレーション技法を学びます。 <講師プロフィール> バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼと!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 映像制作のプロセスを理解し、映像表現のための技術を習得することを目指します。							
授業計画・内容							
1回目	授業の概要の説明						
2回目	映像オペレーション技法の重要性の紹介						
3回目	映像オペレーション技法の応用範囲の紹介						
4回目	カメラの基本操作と設定①						
5回目	カメラの基本操作と設定②						
6回目	カメラの基本操作と設定③						
7回目	カメラのアングルや動きの種類①						
8回目	カメラのアングルや動きの種類②						
9回目	カメラのパンニング技法						
10回目	カメラのトラッキング技法①						
11回目	カメラのトラッキング技法②						
12回目	カメラのズーム技法①						
13回目	カメラのズーム技法②						
14回目	ミュージカル演習						
15回目	ミュージカル演習口						
準備学習 時間外学 習	機材に興味を持ち、カタログやメーカーのホームページを見る。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>						
受講生へ の メッセージ	映像作品を作る上でカメラや機材の取り扱いはとても重要です。 頑張って機材に強くなりましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	オペレーション技法Ⅱ Manipulation Technique Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜 1・2限
【授業の学習内容】 映像制作や映像編集において使用される基本的なオペレーション技法を学びます。 <講師プロフィール> バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 映像制作のプロセスを理解し、映像表現のための技術を習得することを目指します。							
授業計画・内容							
1回目	照明の役割と効果						
2回目	自然光と人工光の違い①						
3回目	自然光と人工光の違い②						
4回目	照明の配置と調整の基本①						
5回目	照明の配置と調整の基本②口						
6回目	映像編集ソフトウェアの紹介						
7回目	タイムラインの使い方と基本的な編集操作①						
8回目	タイムラインの使い方と基本的な編集操作②						
9回目	タイムラインの使い方と基本的な編集操作③						
10回目	カットやトランジションの適用方法①						
11回目	カットやトランジションの適用方法②						
12回目	カットやトランジションの適用方法③						
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	機材に興味を持ち、カタログやメーカーのホームページを見る。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>						
受講生への メッセージ	映像作品を作る上でカメラや機材の取り扱いはとても重要です。 頑張って機材に強くなりましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	オペレーション技法Ⅲ Manipulation Technique Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeインターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 3・4限
【授業の学習内容】 映像制作や映像編集において使用される基本的なオペレーション技法を学びます。 <講師プロフィール> バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 映像制作のプロセスを理解し、映像表現のための技術を習得することを目指します。							
授業計画・内容							
1回目	スローモーションの作成方法と効果的な使用法						
2回目	タイムラプスの撮影手法						
3回目	タイムラプスの編集手法						
4回目	映像にエフェクトやフィルターを適用する方法①						
5回目	映像にエフェクトやフィルターを適用する方法②						
6回目	カラーグレーディングの基本と効果の演出①						
7回目	カラーグレーディングの基本と効果の演出②						
8回目	音声の録音の基礎①						
9回目	音声の録音の基礎②						
10回目	音声の編集の基礎①						
11回目	音声の編集の基礎②						
12回目	BGMの追加と音声効果の調整①						
13回目	BGMの追加と音声効果の調整②						
14回目	ミュージカル演習						
15回目	ミュージカル演習						
準備学習 時間外学習	機材に興味を持ち、カタログやメーカーのホームページを見る。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>						
受講生への メッセージ	映像作品を作る上でカメラや機材の取り扱いはとても重要です。頑張って機材に強くなりましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	オペレーション技法Ⅳ Manipulation Technique Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜 3・4限
【授業の学習内容】 映像制作や映像編集において使用される基本的なオペレーション技法を学びます。 <講師プロフィール> バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】 映像制作のプロセスを理解し、映像表現のための技術を習得することを目指します。							
授業計画・内容							
1回目	映像制作プロジェクト①						
2回目	映像制作プロジェクト②						
3回目	映像制作プロジェクト③						
4回目	映像制作プロジェクト④						
5回目	映像制作プロジェクト⑤						
6回目	卒業制作①						
7回目	卒業制作②						
8回目	卒業制作③						
9回目	卒業制作④						
10回目	卒業制作⑤						
11回目	卒業制作⑥						
12回目	卒業制作⑦						
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	機材に興味を持ち、カタログやメーカーのホームページを見る。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>						
受講生への メッセージ	映像作品を作る上でカメラや機材の取り扱いはとても重要です。 頑張って機材に強くなりましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	映像マーケティングビジネス I Video Marketing Business I	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜 1限
【授業の学習内容】 映像を活用して商品やサービスを宣伝し、顧客に訴求するための戦略や手法について学びます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションを行う。							
【到達目標】 映像を使用したマーケティングの効果やメリットを学び、 映像マーケティングの基本的な概念、原則、戦略を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	映像マーケティングの概要
2回目	映像マーケティングの重要性の理解
3回目	映像マーケティングの成功事例の紹介
4回目	映像制作の基礎知識と技術（カメラ操作）
5回目	映像制作の基礎知識と技術（照明）
6回目	映像制作の基礎知識と技術（撮影技法）
7回目	映像編集ソフトウェアの使用方法和基本的な編集手法
8回目	効果的なストーリーテリングの要素とテクニック
9回目	映像プランニング
10回目	プリプロダクションのプロセス
11回目	ターゲットオーディエンスの特定
12回目	顧客インサイトの把握
13回目	ブランドメッセージの開発と映像に組み込む方法
14回目	YouTube、ソーシャルメディアなどのプラットフォームの活用方法
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習・復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%□</li> </ul>
受講生へ の メッセージ	業界に出るの必要な知識を身につけます。しっかり勉強してください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像マーケティングビジネスⅡ Video Marketing BusinessⅡ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜 1限
【授業の学習内容】 映像を活用して商品やサービスを宣伝し、顧客に訴求するための戦略や手法について学びます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションを行う。							
【到達目標】 映像を使用したマーケティングの効果やメリットを学び、 映像マーケティングの基本的な概念、原則、戦略を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	映像広告の作成と配信戦略
2回目	映像マーケティングキャンペーンの成果を評価するための指標とデータ分析手法
3回目	成果を改善するためのアクションプランの作成
4回目	映像マーケティングに関連する著作権の理解
5回目	映像マーケティングに関連するプライバシー、広告規制の理解
6回目	エシカルな映像マーケティングの考慮事項
7回目	映像マーケティングキャンペーンの企画と制作①
8回目	映像マーケティングキャンペーンの企画と制作②
9回目	映像マーケティングキャンペーンの企画と制作③□
10回目	映像マーケティングキャンペーンの企画と制作④□
11回目	グループプロジェクトの成果物の発表と評価
12回目	フィードバックを通じた成長と改善の機会
13回目	技術の進化や消費者の動向に関連する最新のトピックの紹介
14回目	映像マーケティング業界の将来展望とキャリアの可能性
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習・復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%□</li> </ul>
受講生へ の メッセージ	業界に出るの必要な知識を身につけます。しっかり勉強してください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	特殊映像技術 I Special Video Technology I	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分 曜日・時限	後期 月曜 2・3・4限
【授業の学習内容】							
AR/VR/XRからメタバースでの新たな映像制作基本をVJ背景映像制作、プロジェクションマッピング、モーションキャプチャーを通じて学ぶ <講師プロフィール> バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、 テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。 「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】							
自己紹介・自分プロモーションから人に伝える能力の基本を習得 VJステージ演出・背景映像演出の習得 プロジェクションマッピング演出から自由に創造性の高い映像演出能力を育む 映画鑑賞から世界の最先端の映像制作技術とプロアマチュアの違いを学ぶ モーションキャプチャーの基本を学ぶ							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・自分プロモーション基本計画
2回目	自分プロモーション発表
3回目	映像音響業界の仕事内容・分業・最近の動向について
4回目	VJステージ演出・背景映像演出基本講習
5回目	VJステージ演出・背景映像演出制作実習①
6回目	VJステージ演出・背景映像演出制作実習②
7回目	VJステージ演出・背景映像演出制作発表
8回目	プロジェクションマッピング映像演出基本講習
9回目	プロジェクションマッピング映像演出制作実習①
10回目	プロジェクションマッピング映像演出制作実習②
11回目	プロジェクションマッピング映像演出制作実習③
12回目	プロジェクションマッピング映像演出制作発表
13回目	映画鑑賞・映像制作テクニカル講習
14回目	映像制作技術講習
15回目	モーションキャプチャー基本講習
準備学習 時間外学 習	テレビやYouTubeを見るときも授業で学んだことを意識して番組構成やカメラのカット割りを自分なりに考えながら見る 普段撮影する映像を自分の好きな音楽などに合わせて短編集するなど日常生活も映像を意識する
評価方法	自分プロモーション発表 VJステージ演出・背景映像演出制作発表 プロジェクションマッピング映像演出制作発表
受講生へ の メッセージ	映像制作は普段から見る景色やイベントをいかに人に伝わりやすいように纏めることが出来るか意識することが上達への近道です。 自分自身が楽しいと思えることが大切で、楽しさが人に伝わるように自由な発想を大切に下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
カメラ照明テクニック、音響映像設備マニュアル、放送技術 映画鑑賞：2001年宇宙の旅、インターステラー、This is it、シェフのいづれか	

科目名 (英)	特殊映像技術Ⅱ Special Video Technology Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3.4	担当教員	安田 裕治
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 2・3・4限
【授業の学習内容】							
番組制作を通して、スタジオ技術、スタジオ制作の基本を学ぶ。番組の企画制作を通して映像制作のワークフローと役割分担を学ぶ。							
<講師プロフィール>							
バーチャルスタジオ、オーグメント・リアリティ等の最先端技術を使い、							
テレビ番組の制作にCGを絡めた新しい技術を組み込んでいるシステムインテグレーター。							
「ニュースステーション」「選挙ステーション」を初め「PRIDE」「熱闘甲子園」「すぼると!」他、多数の番組のバーチャルセットを担当。							
【到達目標】							
番組制作を通じて役割分担（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）を学び習得							
YouTubeを通して見せること、視聴者からの評価など実践力を習得							

授業計画・内容	
1回目	モーショキャプチャー技術講習・キャリブレーション
2回目	モーショキャプチャー制作体験実習
3回目	番組制作・グループ学習基本講習
4回目	番組制作企画実習
5回目	番組制作実習撮影①
6回目	番組制作実習撮影②□
7回目	番組制作実習編集①
8回目	番組制作実習編集②□
9回目	番組制作実習発表
10回目	外ロケ撮影実習
11回目	YouTube実習・制作と収益の仕組みについて
12回目	YouTube番組制作実習・企画
13回目	YouTube番組制作実習・撮影
14回目	YouTube番組制作実習・発表
15回目	卒業進級企画
準備学習 時間外学 習	テレビやYouTubeを見る時も授業で学んだことを意識して番組構成やカメラのカット割りを自分なりに考えながら見る 普段撮影する映像を自分の好きな音楽などに合わせて短編編集するなど日常生活も映像を意識する
評価方法	番組制作実習発表 YouTube番組制作実習・発表
受講生へ の メッセージ	番組制作を通して、スタジオ技術（カメラ・スイッチャー・ミキサー、V/E、クロマキー合成、照明など）、スタジオ制作（プロデュース、企画、ディレクションなど）自分自身がどの分野を楽しく感じたか、また学びたいと思ったか、目指すべき方向性をしっかりと見極めて下さい
【使用教科書・教材・参考書】	
カメラ照明テクニック、音響映像設備マニュアル、放送技術 映画鑑賞：2001年宇宙の旅、インターステラー、This is it、シェフのいずれか	

科目名 (英)	クリエイティブワーク I Creative Work I	必修 選択	必修	年次	3.4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義/実演	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜 2・3・4限
【授業の学習内容】 創造性を発揮してアイデアを生み出し、それを具現化するためのスキルやプロセスについて学びます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションを行う。							
【到達目標】 クリエイティブな発想やチームワーク、問題解決能力などを養う。							

授業計画・内容	
1回目	クリエイティブワークの基礎① クリエイティブワークの定義
2回目	クリエイティブワークの基礎② クリエイティブワークの重要性
3回目	クリエイティブワークの基礎③ 創造性の理論と研究の概要
4回目	創造的な思考の促進法① ブレインストーミング
5回目	創造的な思考の促進法② マインドマップ
6回目	創造的な思考の促進法③ アイデアの結合と変容の技法
7回目	問題解決とデザイン思考① デザイン思考の原則とフェーズ
8回目	問題解決とデザイン思考② ユーザー中心の問題解決の手法
9回目	問題解決とデザイン思考③ ユーザー中心の問題解決の手法
10回目	クリエイティブなプロジェクト管理① クリエイティブプロジェクトの計画とスケジュール管理
11回目	クリエイティブなプロジェクト管理② チームワークとコラボレーションの促進
12回目	クリエイティブなプロジェクト管理③ チームワークとコラボレーションの促進
13回目	プレゼンテーション技術① クリエイティブなアイデアの伝え方とストーリーテリング
14回目	プレゼンテーション技術② ビジュアルデザインとプレゼンテーションの質の向上
15回目	プレゼンテーション技術③ プレゼンテーション実習
準備学習 時間外学 習	テレビやYouTubeを見る時も授業で学んだことを意識して番組構成やカメラのカット割りを自分なりに考えながら見る。 普段撮影する映像を自分の好きな音楽などに合わせて短編編集するなど日常生活も映像を意識する、
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>
受講生へ の メッセージ	映像制作は普段から見る景色やイベントをいかに人に伝わりやすいように纏めることが出来るか意識することが上達への近道です。 自分自身が楽しいと思えることが大切で、楽しさが人に伝わるように自由な発想を大切に下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	クリエイティブワークⅡ Creative Work Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3.4	担当教員	白瀬 隆之
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義/実演	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 2・3・4限
【授業の学習内容】 創造性を発揮してアイデアを生み出し、それを具現化するためのスキルやプロセスについて学ぶことができます。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションを行う。							
【到達目標】 クリエイティブな発想やチームワーク、問題解決能力などを養う。							

授業計画・内容	
1回目	クリエイティブな表現とコミュニケーション① クリエイティブな表現の手法
2回目	クリエイティブな表現とコミュニケーション② メディアやプラットフォームを活用したクリエイティブなコミュニケーション
3回目	イノベーションとディスラプション① イノベーションのプロセスと成功事例
4回目	イノベーションとディスラプション② 技術の進化とクリエイティブな業界への影響
5回目	イノベーションとディスラプション③ 技術の進化とクリエイティブな業界への影響
6回目	クリエイティブなビジネスモデル① クリエイティブ産業とビジネスモデルの特徴
7回目	クリエイティブなビジネスモデル② 収益モデルと価値提供の創造
8回目	クリエイティブなビジネスモデル③ 収益モデルと価値提供の創造
9回目	クリエイティブエチックと社会的責任① クリエイティブな業界における倫理的な問題
10回目	クリエイティブエチックと社会的責任② クリエイティブな業界における倫理的な対応策
11回目	クリエイティブワークのキャリア展望① クリエイティブな職業とキャリアパスの紹介
12回目	クリエイティブワークのキャリア展望② クリエイティブポートフォリオの作成と職業探索の戦略
13回目	クリエイティブワークのキャリア展望③ 職業探索の戦略
14回目	プロジェクト実習①
15回目	プロジェクト実習②
準備学習 時間外学 習	テレビやYouTubeを見る時も授業で学んだことを意識して番組構成やカメラのカット割りを自分なりに考えながら見る。 普段撮影する映像を自分の好きな音楽などに合わせて短編編集するなど日常生活も映像を意識する、
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率：40%</li> <li>■ 受講態度：30%</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】：30%</li> </ul>
受講生へ の メッセージ	映像制作は普段から見る景色やイベントをいかに人に伝わりやすいように纏めることが出来るか意識することが上達への近道です。 自分自身が楽しいと思えることが大切で、楽しさが人に伝わるように自由な発想を大切に下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト Composition Songwriting Project	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデューサー科 (レコーディング専攻者)	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3.4.5限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。</p> <p>1年生は主に楽曲制作スピードの向上</p> <p>2年生は主に楽曲クオリティの向上</p> <p>3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける</p>							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／オリエンテーション
2回目	企業課題制作／コンペティション分析①
3回目	企業課題制作／プレゼンテーション基礎
4回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション①
5回目	企業課題制作／コンペティション分析②
6回目	企業課題制作／セルフコーディング基礎
7回目	企業課題制作／ライティング基礎
8回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション②
9回目	企業課題制作／コンペティション分析③
10回目	企業課題制作／コードワーク基礎
11回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション③
12回目	企業課題制作／コンペティション分析④
13回目	企業課題制作／ミックスダウン基礎
14回目	Jikei Composer GP
15回目	Jikei Composer GP
準備学習 時間外学 習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト Composition Songwriting Project	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデューサー科 (レコーディング専攻者)	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3.4.5限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。</p> <p>1年生は主に楽曲制作スピードの向上</p> <p>2年生は主に楽曲クオリティの向上</p> <p>3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける</p>							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／コンペティション分析⑤
2回目	企業課題制作／マスタリング基礎
3回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑤
4回目	企業課題制作／コンペティション分析⑥
5回目	企業課題制作／楽曲アレンジ基礎
6回目	企業課題制作／サウンドエフェクト基礎
7回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑦
8回目	企業課題制作／コンペティション分析⑥
9回目	企業課題制作／ボーカルディレクション基礎
10回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑧
11回目	企業課題制作／コンペティション分析⑨
12回目	企業課題制作／プロデューサーワーク基礎
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>（講師プロフィール）  マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」  それらを体感し信じられること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、ケイティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
【授業の学習内容】							
<p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>（講師プロフィール）  マサチューセッツ州にあるパークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
【到達目標】							
<p>心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。  それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。</p>							
授業計画・内容							
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー						
2回目	楽曲復習						
3回目	海外研修						
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、動き復習						
6回目	ケイティワーク、2曲新曲						
7回目	楽曲復習、動き復習						
8回目	楽曲復習						
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習						
10回目	イベント演習						
11回目	イベント演習						
12回目	イベント演習						
13回目	ミュージカル演習						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	3,4	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>（講師プロフィール） マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、ケイティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	3,4	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>（講師プロフィール）</p> <p>マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー
2回目	楽曲復習
3回目	海外研修
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、動き復習
6回目	ケイティワーク、2曲新曲
7回目	楽曲復習、動き復習
8回目	楽曲復習
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習
10回目	イベント演習
11回目	イベント演習
12回目	イベント演習
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	



科目名 (英)	ショーケースプロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	井戸川誠
	Showcase Project	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	通年
学科・コース	スーパーエリタメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアーツ科					曜日・時限	水曜日4限目
【授業の学習内容】							
<p>Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス(選曲→和訳→楽曲分析→ポエム(和訳読み)→英語読み→パフォーマンス→振り回り)①選曲：無理のない曲でコントロールできる曲を勧める、選んできてもらう②和訳、楽曲分析、ポエム：楽曲の意味、言葉を深く曲に自分の中に落とし込む③英語読み：発音④パフォーマンス：歌唱、目線、表現、ポジショニング⑤振り回り：録音、録画による自己評価(講師プロフィール)</p> <p>年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
【到達目標】							
レパートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪							

授業計画・内容	
1回目	前期と夏休みの集大成♪ 発表会
2回目	客観的な選曲ができるようになろう♪ 受容型、克服型、強化型の選曲について 自由曲①
3回目	アンサンブルのためにどんな音楽が演奏形態か探してみよう♪ ヴォーカル以外の楽曲分析 自由曲①
4回目	楽曲や歌唱に客観性をもって歌ってみよう♪ パフォーマンス→振り回り 自由曲①
5回目	意味を理解して歌おう♪ 楽曲分析、和訳 自由曲②
6回目	更に深く意味を理解して歌おう♪ ポエム 自由曲②
7回目	世界観と感情表現で歌ってみよう♪ パフォーマンス→振り回り 自由曲②
8回目	目線、表現、ポジショニングでステージングを強化しよう♪ 自由曲③
9回目	表情、メイク、衣装でステージングを更に強化しよう♪ 自由曲③
10回目	歌とステージングでイキイキとパフォーマンスしよう♪ パフォーマンス→振り回り 自由曲③
11回目	テスト/振り回り
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、歌唱の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト(各自課題曲の実演発表にて総合評価)
受講生への メッセージ	ステージは皆さんの個性が輝く場所です。コピーを徹底し、技術を身に付ける事で、皆さんの個性を輝かせ方を学んでいきましょう。人前に立つ事で緊張する人も、不安要素を一つ一つ克服する事と、楽曲と自分を繋げることで克服できます。気持ちよくステージに立てよう、沢山勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3限目
【授業の学習内容】							
<p>ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。          〈講師プロフィール〉          200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、特別課題曲レクチャー、発表
2回目	自由曲①1コーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲①フルコーラス発表、フィードバック
4回目	自由曲①トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
5回目	自由曲②1コーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲②フルコーラス発表、フィードバック
7回目	自由曲②トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
8回目	自由曲③1コーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲③フルコーラス発表、フィードバック
10回目	自由曲③トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
11回目	自由曲発表会 リハーサル①
12回目	自由曲発表会 リハーサル②
13回目	総合発表会
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	<p>自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3限目
【授業の学習内容】							
<p>ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。          〈講師プロフィール〉          200曲以上をレパートリーに持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自由曲④1コーラス発表、フィードバック
2回目	自由曲④フルコーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲④トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
4回目	自由曲⑤1コーラス発表、フィードバック
5回目	自由曲⑤フルコーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲⑤トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
7回目	自由曲⑥1コーラス発表、フィードバック
8回目	自由曲⑥フルコーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲⑥トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
10回目	自由曲⑦フルコーラス発表、フィードバック
11回目	自由曲⑦トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率</li> <li>■ 受講態度</li> <li>■ 【到達目標に対する達成度】</li> </ul>
受講生への メッセージ	<p>自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ミュージカルプロジェクト Musical Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3	担当教員	竹田 昌広
学科・コース	テイメント科・音楽プロデュース科・パフォ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 ( 24 )	開講区分 曜日・時限	通年 4.5限
【授業の学習内容】 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。  ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 「生きることの素晴らしさ」をそれぞれの学習分野を通して伝える。 ミュージカル・イベント制作に必要なスキルを学ぶ。 エンターテイナー・パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	稽古の振り返り
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出席率 40%</li> <li>■ 授業へ取り組み姿勢 30%</li> <li>■ 各課題曲の目標の達成度、実践度 30%</li> </ul>
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	